

第2期大田原市国民健康保険保健事業実施計画  
(データヘルス計画) 中間評価

大田原市国民健康保険

令和3(2021)年3月



|                    |                             |    |
|--------------------|-----------------------------|----|
| <b>第1章 基本的事項</b>   |                             |    |
|                    | 1. 背景                       | 1  |
|                    | 2. 計画期間及び中間評価について           | 1  |
|                    | 3. 実施体制・関係者連携               | 2  |
|                    | 4. データ分析について                | 2  |
| <b>第2章 現状と課題把握</b> |                             |    |
|                    | 1. 保険者の特性把握                 | 3  |
|                    | (1) 基本情報                    | 3  |
|                    | (2) 医療費等の状況                 | 5  |
|                    | (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況  | 6  |
|                    | ① 特定健康診査                    | 6  |
|                    | ② 特定保健指導                    | 8  |
|                    | (4) 介護保険の状況                 | 10 |
|                    | (5) 主たる死因の状況                | 13 |
|                    | 2. 第2期データヘルス計画の目標管理（達成状況）   | 14 |
|                    | 3. 第2期データヘルス計画の各事業実施状況      | 15 |
|                    | ① 特定健康診査事業                  | 15 |
|                    | ② 特定保健指導                    | 16 |
|                    | ③ 重症化予防事業                   | 17 |
|                    | ④ 糖尿病性腎症重症化予防事業             | 18 |
|                    | ⑤ 二次検診                      | 19 |
|                    | ⑥ 健診結果説明会                   | 20 |
|                    | ⑦ がん検診                      | 21 |
|                    | ⑧ 喫煙対策                      | 22 |
|                    | ⑨ 歯科保健事業                    | 23 |
|                    | ⑩ 受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬） | 24 |
|                    | ⑪ 後発医薬品差額通知事業               | 25 |
|                    | 4. 医療情報分析結果                 | 26 |
|                    | (1) 基礎統計                    | 26 |
|                    | (2) 高額レセプトの件数及び医療費          | 28 |
|                    | ① 高額レセプトの件数及び割合             | 28 |
|                    | ② 高額レセプト発生患者の疾病傾向           | 29 |
|                    | (3) 疾病別医療費                  | 32 |
|                    | ① 大分類による疾病別医療費統計            | 32 |
|                    | ② 中分類による疾病別医療費統計            | 36 |
|                    | (4) 生活習慣病に係る医療費             | 41 |

|                     |                                |    |
|---------------------|--------------------------------|----|
|                     | 5. 保健事業実施に係る分析結果               | 45 |
|                     | (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析 | 45 |
|                     | (2) 特定健康診査結果分析                 | 46 |
|                     | (3) 特定健康診査質問票に係る分析             | 55 |
|                     | (4) 特定保健指導に係る分析                | 68 |
|                     | (5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析           | 72 |
|                     | (6) 受診行動適正化に係る分析               | 76 |
|                     | (7) 後発医薬品普及率に係る分析              | 78 |
|                     | (8) 服薬情報に係る分析                  | 80 |
| <b>第3章 中間評価のまとめ</b> |                                |    |
|                     | 1. 分析結果から見た課題と対策               | 82 |
|                     | 2. 見直し後の新たな目標と指標               | 84 |
| <b>第4章 その他</b>      |                                |    |
|                     | 1. データヘルス計画の評価・見直し             | 85 |
|                     | (1) 評価                         | 85 |
|                     | (2) 評価時期                       | 85 |
|                     | 2. 中間評価結果の公表・周知                | 85 |
|                     | 3. 個人情報の取扱い                    | 86 |
|                     | 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項       | 86 |
| <b>参考資料</b>         |                                |    |
|                     | 1. 疾病分類表（2013年版）               | 87 |
|                     | 2. 分析方法                        | 91 |

# 第1章 基本的事項

## 1. 背景

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報（健康診査の結果やレセプト等から得られる情報）を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できるものを明確にし、優先順位を付けて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日閣議決定）においては、「健康経営やデータヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて本市では第1期データヘルス計画、第2期データヘルス計画を策定し、被保険者の健康維持増進を図ってきた。

## 2. 計画期間及び中間評価について

第2期データヘルス計画は、本市が保健事業を総合的に企画し、より効果的かつ効率的に実施できるようにするため、保健事業の中核をなす特定健康診査及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めた「第3期大田原市特定健康診査等実施計画」とともに、平成30年度から令和5年度までの6年間の計画期間として平成29年度に策定した。

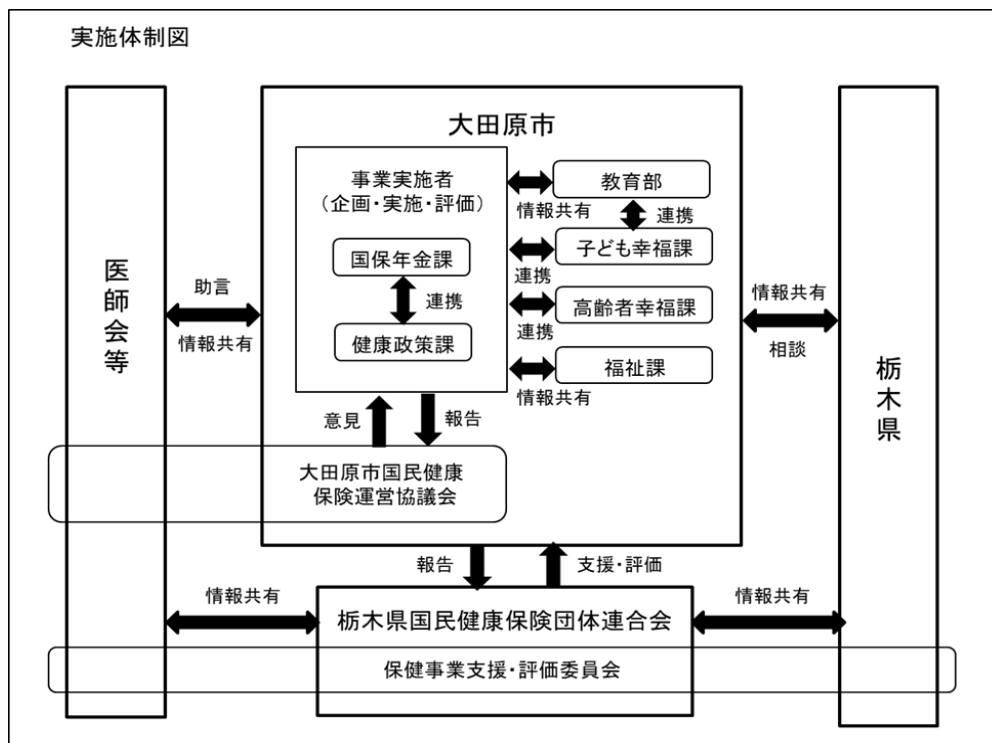
今回、第2期データヘルス計画の中間年度において、前期3年間の事業の評価を行い、後期3年間の事業内容及び目標の見直しを行った。

### ■ 計画期間

| 平成30年度        | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度  | 令和6年度 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 第2期データヘルス計画期間 |       |       |       |       |        |       |
|               |       | 中間評価  |       |       | 最終評価   |       |
|               |       |       |       |       | 次期計画策定 | 第3期計画 |

### 3. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、国保年金課が主体となり、庁内関係部局の保健師・管理栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有し、一体となって保健事業の実施に当たる。また、外部有識者等との連携・協力により計画の実効性を高めている。



### 4. データ分析について

中間評価に用いるデータは、国保データベース (KDB) システム、レセプト及び健康診査データなどの分析データとする。

- 国保データベース (KDB) システムデータ
  - 平成 29 年度～令和元年度 (3 年分)
- 入院 (DPC を含む)、入院外、調剤の電子レセプト
  - ・単年分析
    - 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (12 か月分)
  - ・年度分析
    - 平成 29 年度 … 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月診療分 (12 か月分)
    - 平成 30 年度 … 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月診療分 (12 か月分)
    - 令和元年度 … 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (12 か月分)
- 健康診査データ
  - ・単年分析
    - 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (12 か月分)
  - ・年度分析
    - 平成 29 年度 … 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月健診分 (12 か月分)
    - 平成 30 年度 … 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月健診分 (12 か月分)
    - 令和元年度 … 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (12 か月分)

## 第2章 現状と課題把握

### 1. 保険者の特性把握

#### (1) 基本情報

本市、県及び国の人口構成概要を以下に示す。

本市の高齢化率（65歳以上）は28.3%であり、国・県とほぼ等しい。また、国民健康保険被保険者数は18,023人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は24.2%であり、国民健康保険被保険者の平均年齢は54.1歳である。

#### ■人口構成概要（令和元年）

|             | 人口総数<br>(人)   | 高齢化率<br>(65歳以上) | 国保被保険<br>者数<br>(人) | 国保<br>加入率    | 国保被保険者<br>平均年齢(歳) | 出生率         | 死亡率          |
|-------------|---------------|-----------------|--------------------|--------------|-------------------|-------------|--------------|
| <b>大田原市</b> | <b>73,508</b> | <b>28.3%</b>    | <b>18,023</b>      | <b>24.2%</b> | <b>54.1</b>       | <b>6.1%</b> | <b>11.6%</b> |
| 県           | 1,942,313     | 28.3%           | 525,708            | 26.8%        | 51.6              | 6.6%        | 11.6%        |
| 国           | 126,167,000   | 28.4%           | 29,893,491         | 23.8%        | 51.6              | 7.0%        | 11.1%        |

出典：人口総数・高齢化率（大田原市・県）：栃木県/とちぎの統計情報（令和元年10月1日現在）

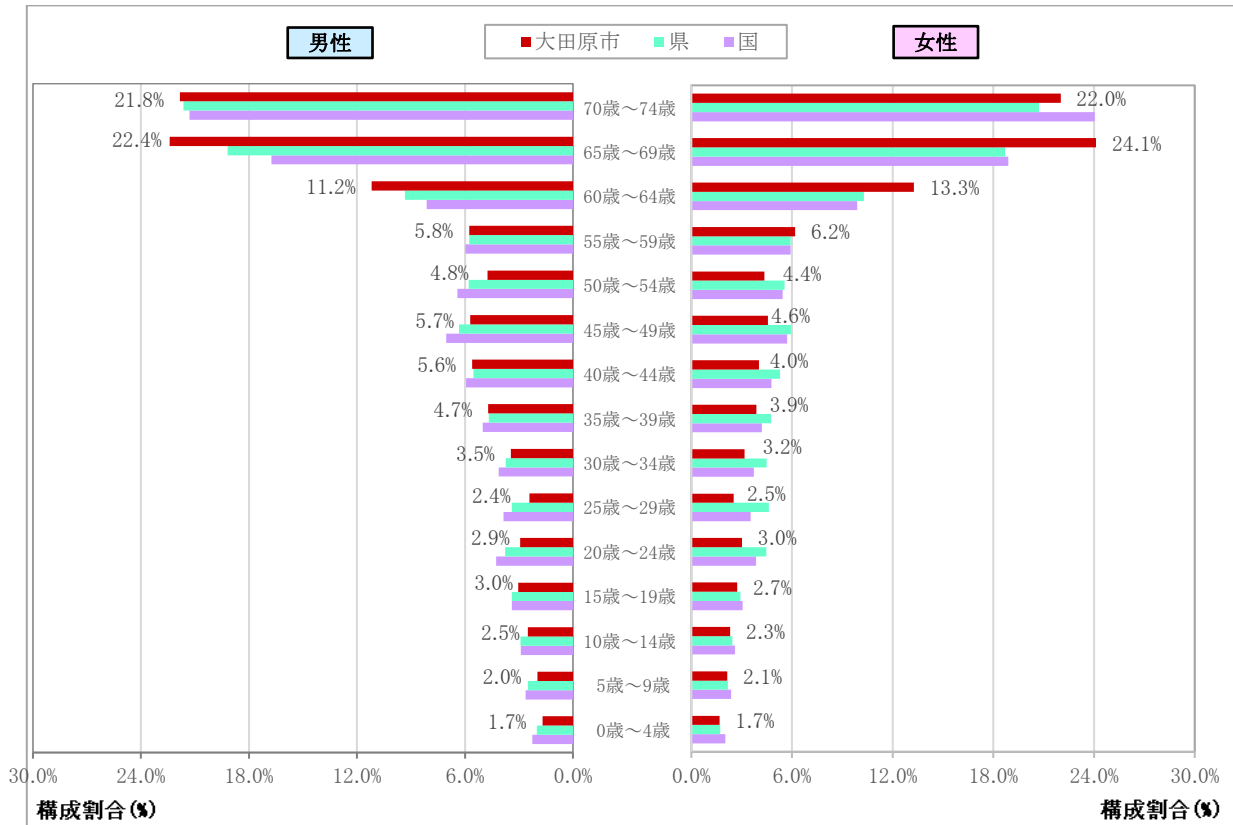
人口総数・高齢化率（国）：総務省統計局HP「e-Stat」各年10月1日現在人口

国保被保険者数・国保加入率・国保被保険者平均年齢：KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

出生率・死亡率（大田原市・県）：令和元（2019）年栃木県人口動態統計（確定数）の概況

出生率・死亡率（国）：令和元（2019）年人口動態統計の年間推計

#### ■男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド（令和元年度）



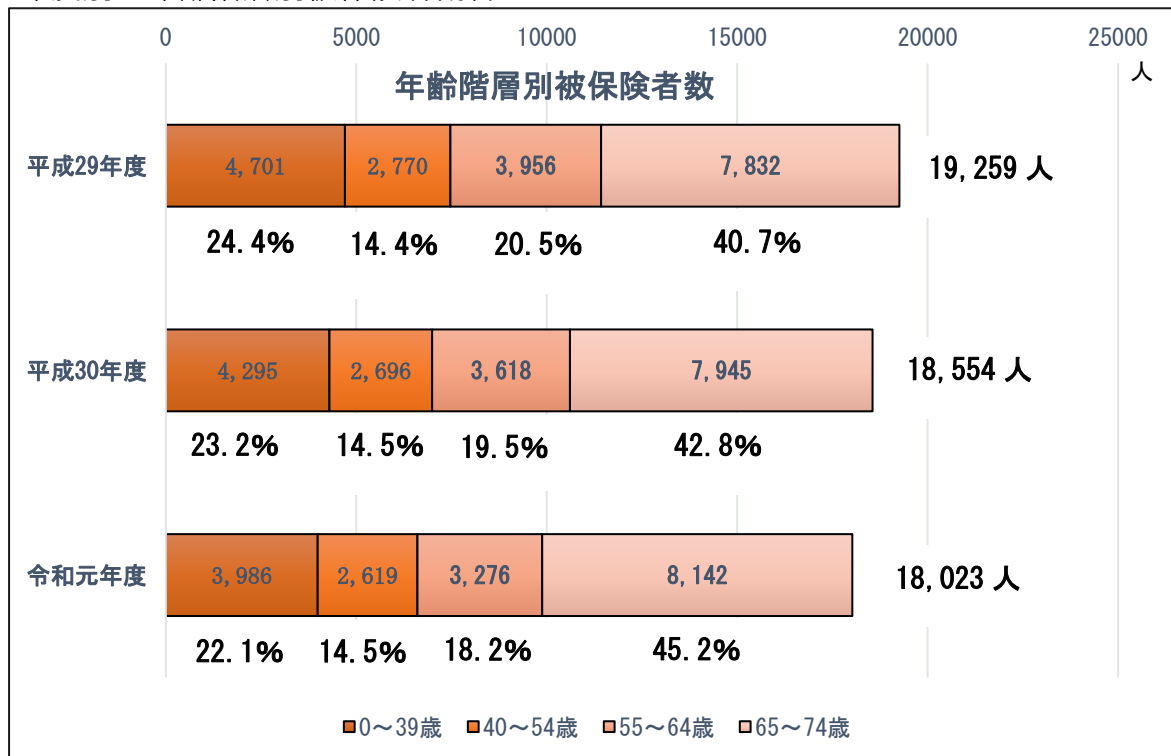
出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

平成 29 年度から令和元年度における、本市国民健康保険被保険者の年齢階層別割合を年度別に示す。

令和元年度を平成 29 年度と比較すると、国民健康保険被保険者数 18,023 人は平成 29 年度 19,259 人より 1,236 人減少しており、国民健康保険被保険者の平均年齢 54.1 歳は、平成 29 年度の 52.7 歳より 1.4 歳上昇した。

年々、国民健康保険者の全数は減少しているが、65～74 歳が占める割合は増え続け、平成 29 年度 40.7%から令和元年度 45.2%へと 4.5 ポイント増加している。

■年度別 年齢階層別被保険者割合



出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」



## (2) 医療費等の状況

本市の、令和元年度における医療基礎情報を以下に示す。

### ■医療基礎情報（令和元年度）

| 医療項目           | 大田原市    | 県       | 同規模     | 国       |
|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 千人当たり          |         |         |         |         |
| 病院数            | 0.2     | 0.2     | 0.3     | 0.3     |
| 診療所数           | 2.8     | 2.7     | 3.2     | 3.4     |
| 病床数            | 49.3    | 40.1    | 55.7    | 52.0    |
| 医師数 (人)        | 10.2    | 8.6     | 8.6     | 10.7    |
| 外来患者数 (人)      | 720.1   | 679.6   | 709.6   | 682.3   |
| 入院患者数 (人)      | 19.8    | 16.8    | 20.5    | 18.7    |
| 受診率 (%)        | 739.9   | 696.4   | 730.1   | 701.0   |
| 1件当たり医療費 (円)   | 37,360  | 34,820  | 38,060  | 37,230  |
| 一般 (円)         | 37,350  | 34,820  | 38,060  | 37,230  |
| 退職 (円)         | 45,550  | 35,030  | 35,390  | 36,040  |
| 外来             |         |         |         |         |
| 外来費用の割合 (%)    | 58.5    | 61.5    | 58.7    | 59.4    |
| 外来受診率 (%)      | 720.1   | 679.6   | 709.6   | 682.3   |
| 1件当たり医療費 (円)   | 22,450  | 21,940  | 22,990  | 22,710  |
| 一人当たり医療費 (円)   | 16,170  | 14,910  | 16,320  | 15,500  |
| 1件1日当たり医療費 (円) | 15,440  | 14,940  | 15,250  | 14,960  |
| 1件当たり受診回数 (回)  | 1.5     | 1.5     | 1.5     | 1.5     |
| 入院             |         |         |         |         |
| 入院費用の割合 (%)    | 41.5    | 38.5    | 41.3    | 40.6    |
| 入院率 (%)        | 19.8    | 16.8    | 20.5    | 18.7    |
| 1件当たり医療費 (円)   | 580,250 | 556,200 | 559,530 | 567,030 |
| 一人当たり医療費 (円)   | 11,480  | 9,340   | 11,470  | 10,600  |
| 1日当たり医療費 (円)   | 35,770  | 34,870  | 34,450  | 36,070  |
| 1件当たり在院日数 (日)  | 16.2    | 16.0    | 16.2    | 15.7    |

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

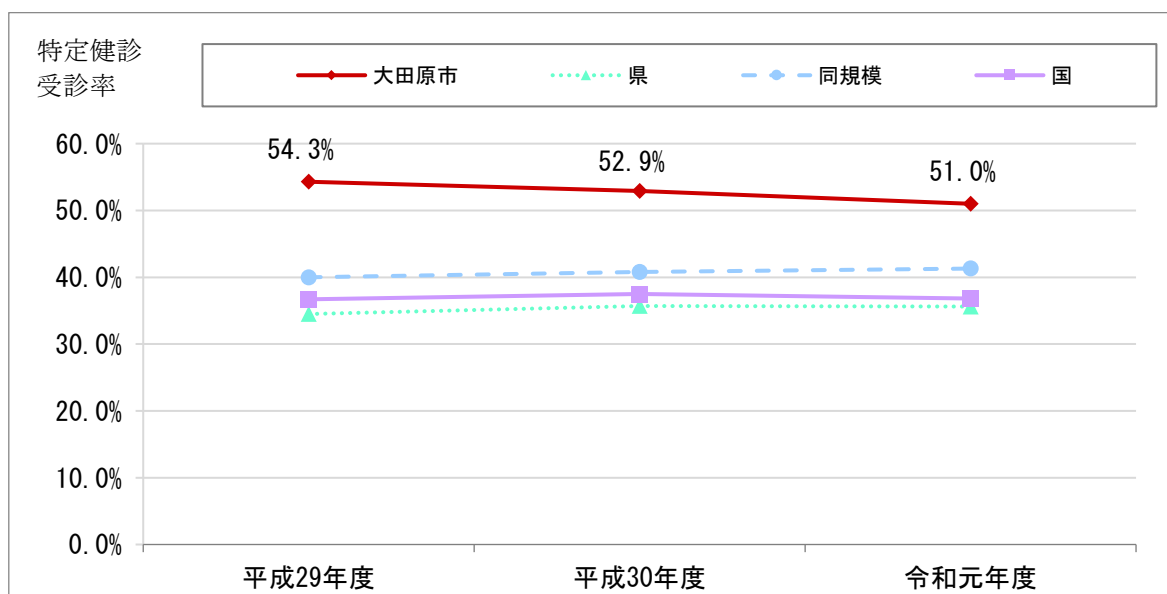
#### ① 特定健康診査

本市の平成 29 年度から令和元年度における、40 歳から 74 歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。国や県と比較すると本市の特定健康診査受診率は 15 ポイント程度高い状況であるが、平成 29 年度をピークにわずかに減少傾向となり、令和元年度の特定健康診査受診率 51.0%は平成 29 年度 54.3%より 3.3 ポイント低下した。

また、本市では平成 29 年度策定の第 3 期大田原市特定健康診査等実施計画の中で、特定健康診査実施率(受診率)目標を令和 5 年度 60%と設定している。

#### ■年度別 特定健康診査受診率

|             | 特定健診受診率      |              |              |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
|             | 平成 29 年度     | 平成 30 年度     | 令和元年度        |
| <b>大田原市</b> | <b>54.3%</b> | <b>52.9%</b> | <b>51.0%</b> |
| 県           | 34.5%        | 35.7%        | 35.6%        |
| 同規模         | 40.0%        | 40.8%        | 41.3%        |
| 国           | 36.7%        | 37.5%        | 36.8%        |



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

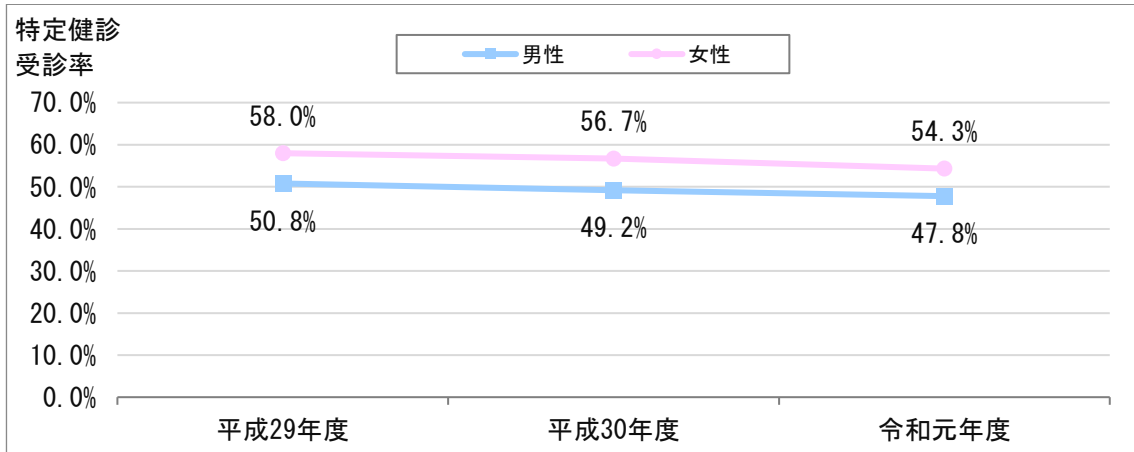
#### ■第 3 期（平成 30 年度～令和 5 年度）の大田原市特定健康診査等実施計画目標

|           | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|-----------|----------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 特定健康診査実施率 | 52%      | 54%   | 56%     | 58%     | 59%     | 60%     |

出典：第 3 期大田原市特定健康診査等実施計画

男女別の特定健康診査の受診率を見ると、男性の令和元年度受診率 47.8% は平成 29 年度 50.8% より 3.0 ポイント低下しており、女性の令和元年度受診率 54.3% は平成 29 年度 58.0% より 3.7 ポイント低下している。

■ 年度別 特定健康診査受診率（男女別）

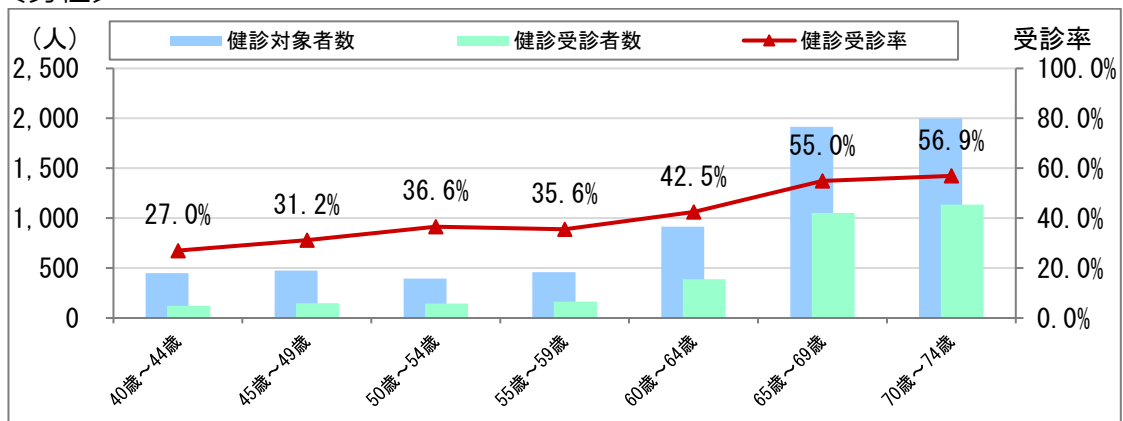


出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

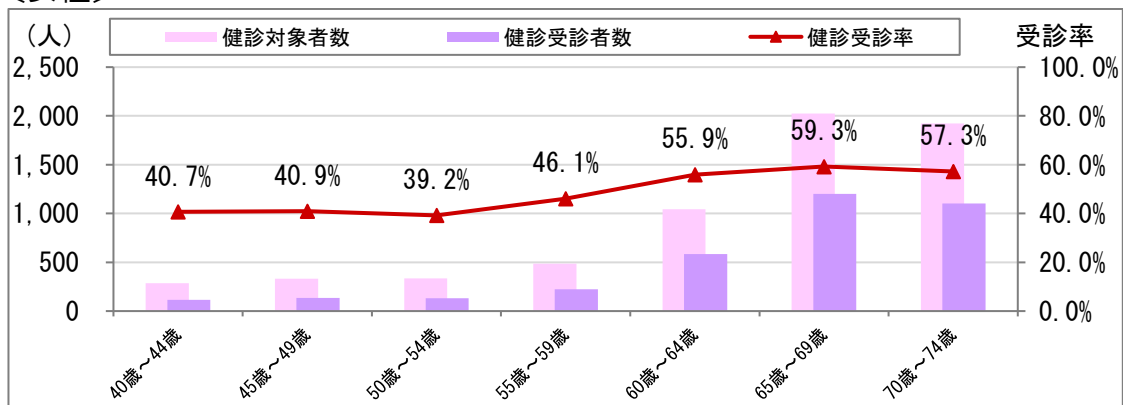
年齢別特定健康診査受診率によると、男女ともに 40～59 歳の受診率が低く特に男性の場合は 40% に達していない状況である。

■ 年齢別特定健康診査受診率（令和元年度）

〔男性〕



〔女性〕



出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ② 特定保健指導

本市の平成 29 年度から令和元年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。

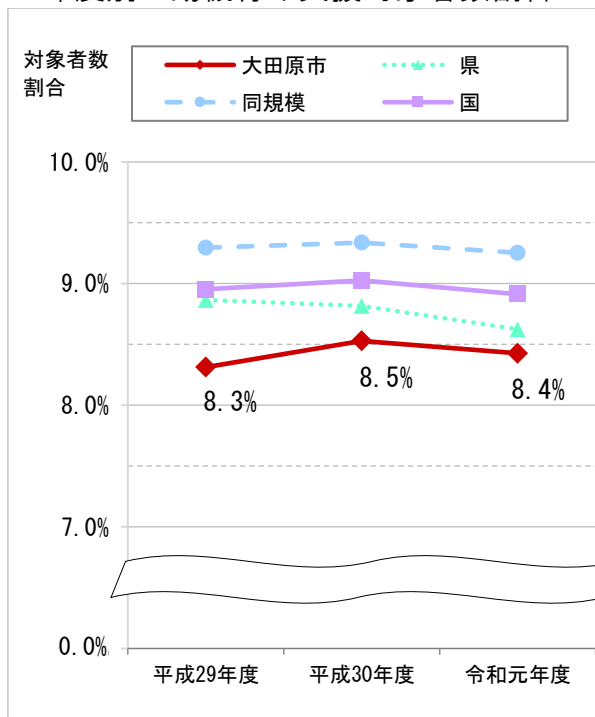
動機付け支援の対象者割合は、平成 29 年度から大きな変化がなく 8.5%前後となっている。一方、積極的支援の対象者割合は、平成 29 年度 3.5%から平成 30 年度 2.9%と低下傾向にあり、令和元年度についても同等の結果であった。

### ■年度別 特定保健指導実施状況

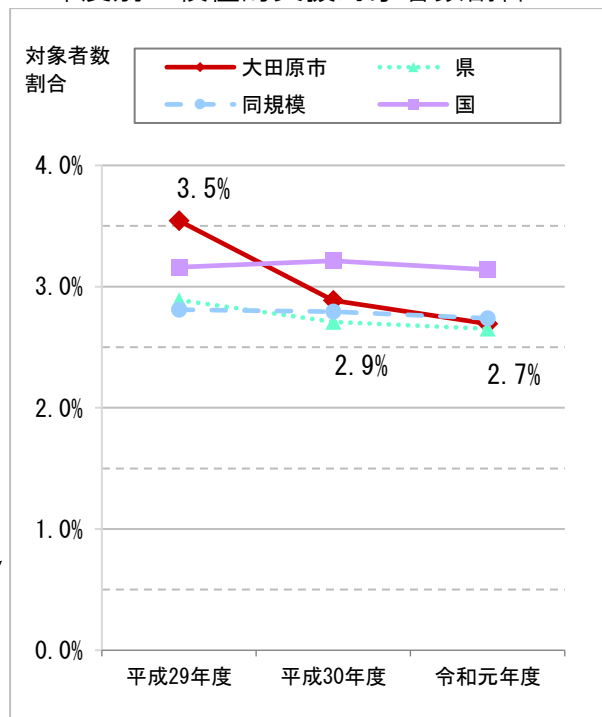
|             | 動機付け支援<br>対象者数割合 |             |             | 積極的支援<br>対象者数割合 |             |             | 支援対象者数割合     |              |              | 特定保健指導実施率    |              |              |
|-------------|------------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|             | 平成 29<br>年度      | 平成 30<br>年度 | 令和元<br>年度   | 平成 29<br>年度     | 平成 30<br>年度 | 令和元<br>年度   | 平成 29<br>年度  | 平成 30<br>年度  | 令和元<br>年度    | 平成 29<br>年度  | 平成 30<br>年度  | 令和元<br>年度    |
| <b>大田原市</b> | <b>8.3%</b>      | <b>8.5%</b> | <b>8.4%</b> | <b>3.5%</b>     | <b>2.9%</b> | <b>2.7%</b> | <b>11.9%</b> | <b>11.4%</b> | <b>11.1%</b> | <b>39.3%</b> | <b>48.8%</b> | <b>37.3%</b> |
| 県           | 8.9%             | 8.8%        | 8.6%        | 2.9%            | 2.7%        | 2.7%        | 11.8%        | 11.5%        | 11.3%        | 28.2%        | 29.3%        | 26.8%        |
| 同規模         | 9.3%             | 9.3%        | 9.3%        | 2.8%            | 2.8%        | 2.7%        | 12.1%        | 12.1%        | 12.0%        | 30.9%        | 34.9%        | 35.8%        |
| 国           | 9.0%             | 9.0%        | 8.9%        | 3.2%            | 3.2%        | 3.1%        | 12.1%        | 12.2%        | 12.1%        | 21.2%        | 23.8%        | 24.2%        |

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合 … 特定健康診査を受診した人に対する割合  
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」※ 法定報告値とは異なる。

### ■年度別 動機付け支援対象者数割合



### ■年度別 積極的支援対象者数割合

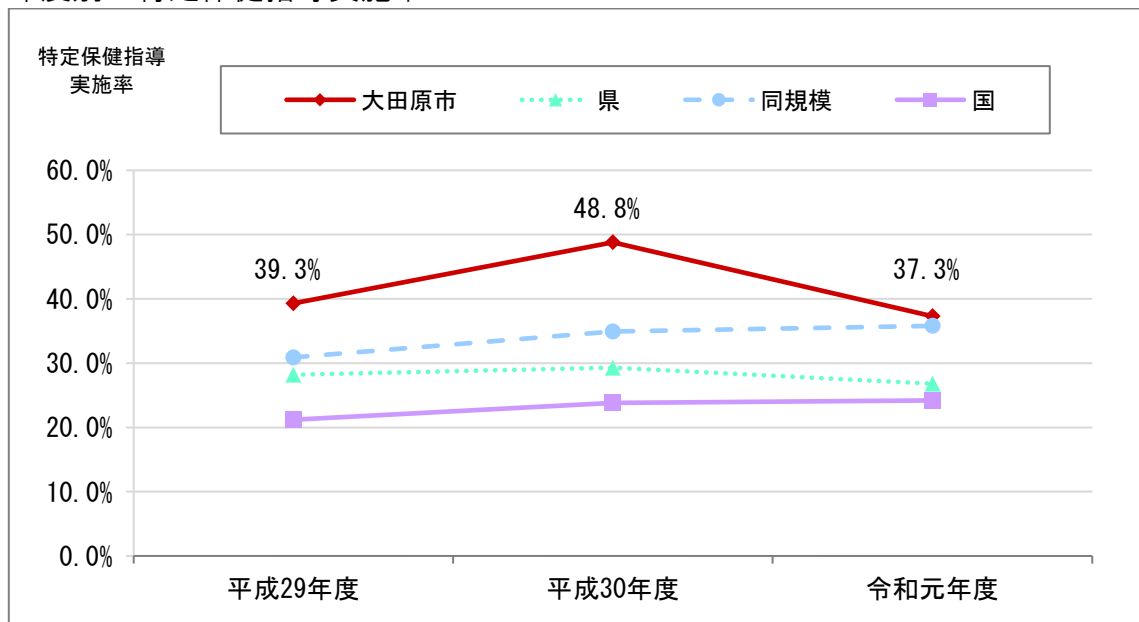


出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率は、平成 29 年度 39.3%から平成 30 年度 48.8%に 10 ポイント近く上昇したが、令和元年度は 37.3%に低下している。

また、本市では平成 29 年度策定の第 3 期大田原市特定健康診査等実施計画の中で、特定保健指導実施率の目標を令和 5 年度 60%としている。

■年度別 特定保健指導実施率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

■第 3 期（平成 30 年度～令和 5 年度）の大田原市特定保健指導等実施計画目標

|           | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|-----------|----------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 特定保健指導実施率 | 40%      | 44%   | 48%     | 52%     | 56%     | 60%     |

出典：第 3 期大田原市特定健康診査等実施計画

#### (4) 介護保険の状況

本市における、認定率の状況を以下に示す。

これまでは、高齢者人口の増加が前期高齢者に偏っていたため、令和2年度までの認定率は減少傾向だったが、令和3年度以降は後期高齢者人口が増加に転じるため、全体の認定率が増加傾向になると推計される。

##### ■認定者数及び認定率の年次推移（平成29年度～令和2年度）

| 区分   | 平成29年度      |       | 平成30年度      |       | 令和元年度       |       | 令和2年度       |       |
|------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
|      | 認定者数<br>(人) | 認定率   | 認定者数<br>(人) | 認定率   | 認定者数<br>(人) | 認定率   | 認定者数<br>(人) | 認定率   |
| 合計   | 3,715       | 18.7% | 3,730       | 18.4% | 3,720       | 18.0% | 3,734       | 17.8% |
| 要支援1 | 433         | 2.2%  | 405         | 2.0%  | 406         | 2.0%  | 427         | 2.0%  |
| 要支援2 | 557         | 2.8%  | 571         | 2.8%  | 568         | 2.7%  | 519         | 2.5%  |
| 要介護1 | 691         | 3.5%  | 675         | 3.3%  | 708         | 3.4%  | 758         | 3.6%  |
| 要介護2 | 647         | 3.3%  | 712         | 3.5%  | 728         | 3.5%  | 692         | 3.3%  |
| 要介護3 | 514         | 2.6%  | 497         | 2.5%  | 470         | 2.3%  | 503         | 2.4%  |
| 要介護4 | 534         | 2.7%  | 529         | 2.6%  | 514         | 2.5%  | 506         | 2.4%  |
| 要介護5 | 339         | 1.7%  | 341         | 1.7%  | 326         | 1.6%  | 329         | 1.6%  |

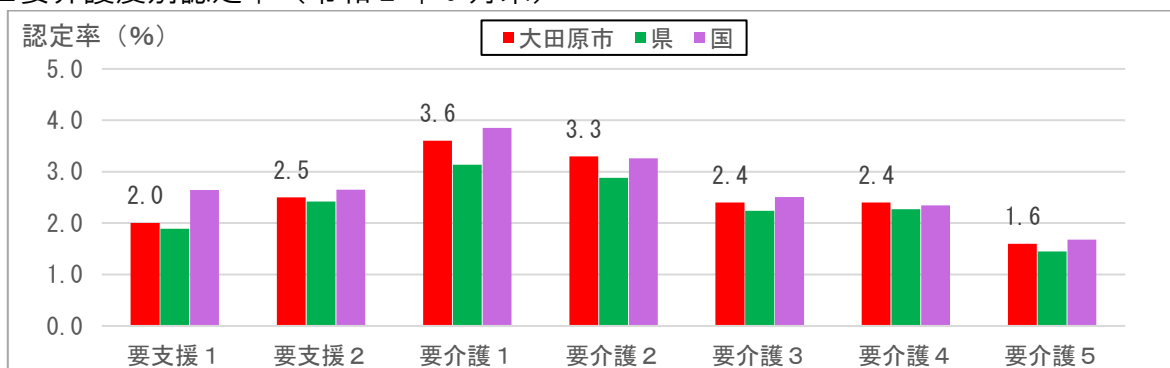
出典：介護保険事業状況報告 各年9月末日現在

##### ■認定者数及び認定率の状況（令和2年9月末）

| 区分   | 大田原市        |       | 栃木県         |       | 国           |       |
|------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
|      | 認定者数<br>(人) | 認定率   | 認定者数<br>(人) | 認定率   | 認定者数<br>(人) | 認定率   |
| 合計   | 3,734       | 17.8% | 91,270      | 16.3% | 6,759,856   | 18.9% |
| 要支援1 | 427         | 2.0%  | 10,581      | 1.9%  | 943,960     | 2.6%  |
| 要支援2 | 519         | 2.5%  | 13,558      | 2.4%  | 946,587     | 2.7%  |
| 要介護1 | 758         | 3.6%  | 17,580      | 3.1%  | 1,374,977   | 3.9%  |
| 要介護2 | 692         | 3.3%  | 16,138      | 2.9%  | 1,163,931   | 3.3%  |
| 要介護3 | 503         | 2.4%  | 12,543      | 2.2%  | 895,038     | 2.5%  |
| 要介護4 | 506         | 2.4%  | 12,739      | 2.3%  | 836,135     | 2.3%  |
| 要介護5 | 329         | 1.6%  | 8,131       | 1.5%  | 599,228     | 1.7%  |

出典：介護保険事業状況報告 各年9月末日現在

##### ■要介護度別認定率（令和2年9月末）



出典：介護保険事業状況報告 各年9月末日現在

疾病別では、心臓病、高血圧症、筋・骨格系疾患の順に有病率が高い。

第2期大田原市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）策定のために、平成28年度に分析した介護認定の要因は、脳血管疾患等の血管疾患が多い状況であったが、今回の調査でも、認定者は血管疾患のリスクとなる高血圧症、心臓病を持つ者が上位を占めていた。

筋・骨格系疾患についても、要介護者の有病状況に一定の割合を占めていたため、本市の課題として引き続き注視する必要がある。

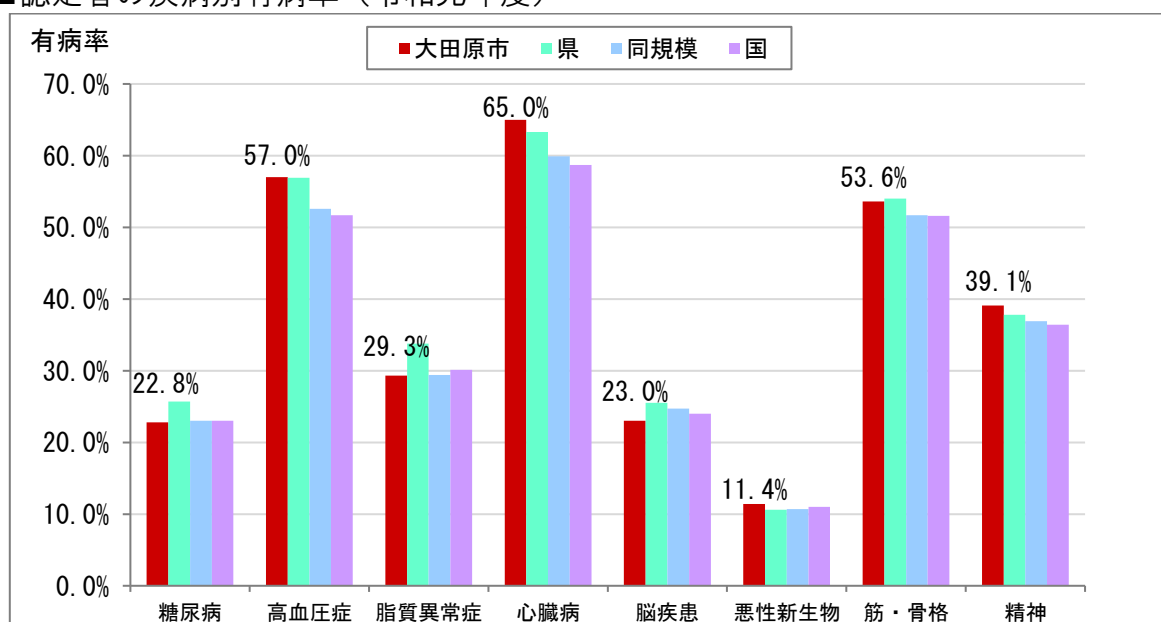
### ■認定者の疾病別有病状況（令和元年度）

※項目ごとに上位5疾病を 網掛け 表示する。

| 区分      | 大田原市   | 順位    | 県      | 順位 | 同規模     | 順位 | 国         | 順位 |
|---------|--------|-------|--------|----|---------|----|-----------|----|
| 認定者数（人） | 3,777  |       | 91,559 |    | 933,707 |    | 6,620,276 |    |
| 糖尿病     | 実人数(人) | 866   | 23,446 | 6  | 219,055 | 7  | 1,537,914 | 7  |
|         | 有病率    | 22.8% | 25.7%  | 6  | 23.0%   | 7  | 23.0%     | 7  |
| 高血圧症    | 実人数(人) | 2,151 | 51,820 | 2  | 500,783 | 2  | 3,472,146 | 2  |
|         | 有病率    | 57.0% | 56.9%  | 2  | 52.6%   | 2  | 51.7%     | 2  |
| 脂質異常症   | 実人数(人) | 1,145 | 31,057 | 5  | 281,872 | 5  | 2,036,238 | 5  |
|         | 有病率    | 29.3% | 33.8%  | 5  | 29.4%   | 5  | 30.1%     | 5  |
| 心臓病     | 実人数(人) | 2,449 | 57,728 | 1  | 568,770 | 1  | 3,939,115 | 1  |
|         | 有病率    | 65.0% | 63.3%  | 1  | 59.9%   | 1  | 58.7%     | 1  |
| 脳疾患     | 実人数(人) | 840   | 22,967 | 7  | 231,954 | 6  | 1,587,755 | 6  |
|         | 有病率    | 23.0% | 25.5%  | 7  | 24.7%   | 6  | 24.0%     | 6  |
| 悪性新生物   | 実人数(人) | 447   | 9,662  | 8  | 101,679 | 8  | 739,425   | 8  |
|         | 有病率    | 11.4% | 10.6%  | 8  | 10.7%   | 8  | 11.0%     | 8  |
| 筋・骨格    | 実人数(人) | 2,009 | 48,954 | 3  | 490,471 | 3  | 3,448,596 | 3  |
|         | 有病率    | 53.6% | 54.0%  | 3  | 51.7%   | 3  | 51.6%     | 3  |
| 精神      | 実人数(人) | 1,501 | 34,423 | 4  | 349,972 | 4  | 2,437,051 | 4  |
|         | 有病率    | 39.1% | 37.8%  | 4  | 36.9%   | 4  | 36.4%     | 4  |

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### ■認定者の疾病別有病率（令和元年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

本市の平成 29 年度から令和元年度における、認定者の疾病別有病状況を年度別に示す。

令和元年度の認定者が有している平均疾病数は 3.0 疾病であり、平成 29 年度から同様である。

また、疾病別有病率については平成 29 年度から令和元年度までほぼ横ばいであり順位に変化はなく、心臓病 65%、高血圧症 57%、筋・骨格系疾患 54% 前後で推移している。しかし、同規模自治体及び国と比較すると、本市及び県では、有病率 2 位の高血圧症と 3 位の筋・骨格系疾患の差が大きく、高血圧症が本市及び栃木県の特徴的な課題であることがわかる。

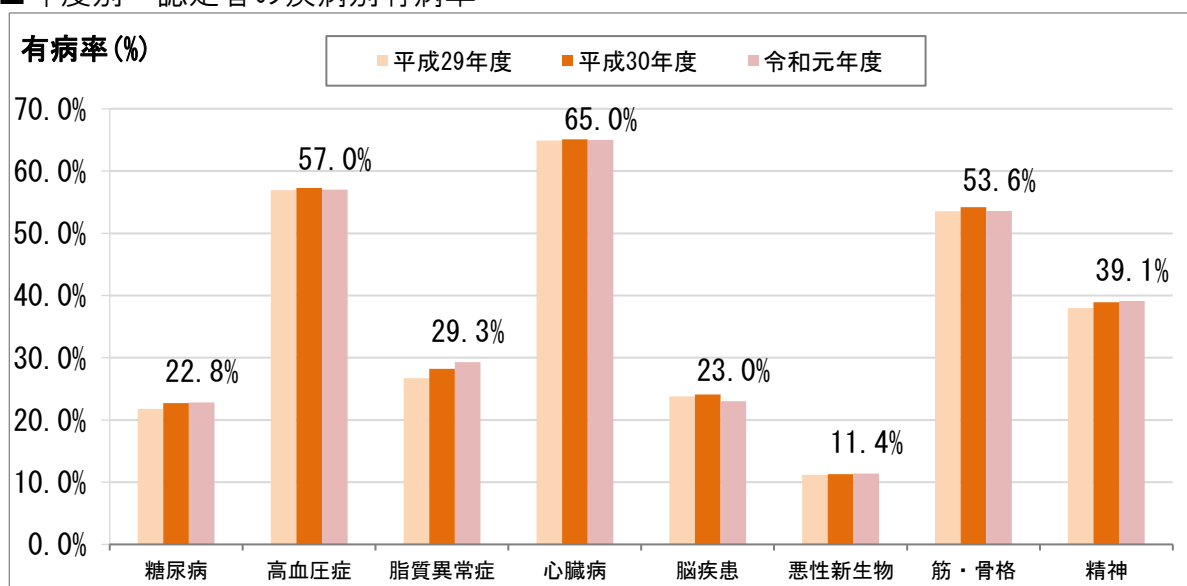
### ■認定者の疾病別有病状況（令和元年度）

※項目ごとに上位 5 疾病を **網掛け** 表示する。

| 区分      | 大田原市     |       |          |       |       | 県     |          |          | 同規模    |          |          | 国       |           |           |           |           |
|---------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|----------|----------|--------|----------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|         | 平成 29 年度 | 順位    | 平成 30 年度 | 順位    | 令和元年度 | 順位    | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度  | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度   | 平成 29 年度  | 平成 30 年度  | 令和元年度     |           |
| 認定者数(人) | 3,677    |       | 3,736    |       | 3,777 |       | 87,714   | 89,749   | 91,559 | 916,998  | 925,059  | 933,707 | 6,208,699 | 6,482,704 | 6,620,276 |           |
| 糖尿病     | 実人数(人)   | 829   | 7        | 846   | 7     | 866   | 6        | 22,195   | 23,045 | 23,446   | 207,681  | 210,730 | 219,055   | 1,396,109 | 1,470,196 | 1,537,914 |
|         | 有病率      | 21.8% |          | 22.7% |       | 22.8% |          | 25.0%    | 25.4%  | 25.7%    | 22.2%    | 22.6%   | 23.0%     | 22.2%     | 22.4%     | 23.0%     |
| 高血圧症    | 実人数(人)   | 2,101 | 2        | 2,154 | 2     | 2,151 | 2        | 50,208   | 51,304 | 51,820   | 482,405  | 484,193 | 500,783   | 3,176,320 | 3,318,793 | 3,472,146 |
|         | 有病率      | 56.9% |          | 57.3% |       | 57.0% |          | 56.7%    | 56.9%  | 56.9%    | 51.9%    | 52.1%   | 52.6%     | 50.8%     | 50.8%     | 51.7%     |
| 脂質異常症   | 実人数(人)   | 1,001 | 5        | 1,069 | 5     | 1,145 | 5        | 28,913   | 30,106 | 31,057   | 261,572  | 267,492 | 281,872   | 1,804,586 | 1,915,551 | 2,036,238 |
|         | 有病率      | 26.7% |          | 28.2% |       | 29.3% |          | 32.5%    | 33.1%  | 33.8%    | 27.9%    | 28.6%   | 29.4%     | 28.7%     | 29.2%     | 30.1%     |
| 心臓病     | 実人数(人)   | 2,397 | 1        | 2,466 | 1     | 2,449 | 1        | 55,884   | 57,070 | 57,728   | 549,760  | 550,835 | 568,770   | 3,612,547 | 3,770,674 | 3,939,115 |
|         | 有病率      | 64.9% |          | 65.1% |       | 65.0% |          | 63.1%    | 63.3%  | 63.3%    | 59.2%    | 59.4%   | 59.9%     | 57.8%     | 57.8%     | 58.7%     |
| 脳疾患     | 実人数(人)   | 903   | 6        | 897   | 6     | 840   | 7        | 23,644   | 23,343 | 22,967   | 235,921  | 229,651 | 231,954   | 1,540,429 | 1,563,143 | 1,587,755 |
|         | 有病率      | 23.8% |          | 24.1% |       | 23.0% |          | 26.8%    | 26.2%  | 25.5%    | 25.6%    | 25.1%   | 24.7%     | 24.9%     | 24.3%     | 24.0%     |
| 悪性新生物   | 実人数(人)   | 421   | 8        | 416   | 8     | 447   | 8        | 9,043    | 9,393  | 9,662    | 95,571   | 97,246  | 101,679   | 657,405   | 702,800   | 739,425   |
|         | 有病率      | 11.2% |          | 11.3% |       | 11.4% |          | 10.0%    | 10.3%  | 10.6%    | 10.2%    | 10.4%   | 10.7%     | 10.4%     | 10.7%     | 11.0%     |
| 筋・骨格    | 実人数(人)   | 1,978 | 3        | 2,027 | 3     | 2,009 | 3        | 47,378   | 48,775 | 48,954   | 473,492  | 475,600 | 490,471   | 3,150,734 | 3,305,225 | 3,448,596 |
|         | 有病率      | 53.5% |          | 54.2% |       | 53.6% |          | 53.5%    | 54.0%  | 54.0%    | 51.0%    | 51.2%   | 51.7%     | 50.4%     | 50.6%     | 51.6%     |
| 精神      | 実人数(人)   | 1,439 | 4        | 1,487 | 4     | 1,501 | 4        | 33,263   | 34,013 | 34,423   | 336,084  | 339,723 | 349,972   | 2,222,308 | 2,339,782 | 2,437,051 |
|         | 有病率      | 38.0% |          | 38.9% |       | 39.1% |          | 37.3%    | 37.7%  | 37.8%    | 36.1%    | 36.5%   | 36.9%     | 35.5%     | 35.8%     | 36.4%     |

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### ■年度別 認定者の疾病別有病率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」



## (5) 主たる死因の状況

本市の平成 29 年度から令和元年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。

令和元年度を平成 29 年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数 226 人は平成 29 年度 199 人より 27 人増加している。また、心臓病を死因とする人数 148 人は平成 29 年度 121 人より 27 人増加しており、死因割合 31.6%は平成 29 年度 27.3%より 4.3 ポイント増加している。

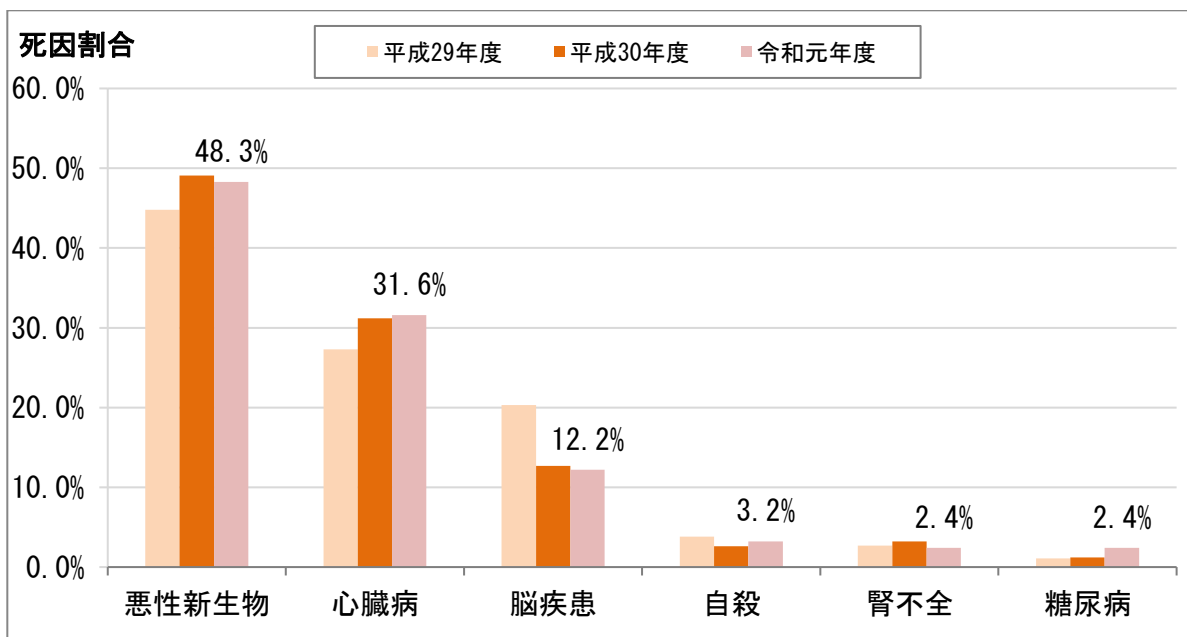
一方、脳疾患を死因とする人数 57 人は平成 29 年度 90 人より 33 人減少しており、死因に占める割合 12.2%は平成 29 年度 20.3%より 8.1 ポイント減少した。

### ■年度別 主たる死因の状況

| 疾病項目  | 大田原市     |          |       |          |          |       | 県        |          |       | 同規模      |          |       | 国        |          |       |
|-------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|
|       | 人数(人)    |          |       | 割合       |          |       | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|       | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |          |          |       |          |          |       |          |          |       |
| 悪性新生物 | 199      | 247      | 226   | 44.8%    | 49.1%    | 48.3% | 45.4%    | 46.7%    | 45.8% | 48.0%    | 49.0%    | 48.6% | 50.1%    | 50.5%    | 49.9% |
| 心臓病   | 121      | 157      | 148   | 27.3%    | 31.2%    | 31.6% | 27.9%    | 27.5%    | 28.5% | 27.5%    | 27.3%    | 28.0% | 26.5%    | 26.8%    | 27.4% |
| 脳疾患   | 90       | 64       | 57    | 20.3%    | 12.7%    | 12.2% | 18.5%    | 17.6%    | 17.7% | 16.2%    | 15.7%    | 15.5% | 15.2%    | 14.8%    | 14.7% |
| 自殺    | 17       | 13       | 15    | 3.8%     | 2.6%     | 3.2%  | 3.1%     | 2.9%     | 2.8%  | 3.1%     | 2.8%     | 2.7%  | 3.1%     | 2.8%     | 2.7%  |
| 腎不全   | 12       | 16       | 11    | 2.7%     | 3.2%     | 2.4%  | 3.4%     | 3.3%     | 3.2%  | 3.3%     | 3.3%     | 3.3%  | 3.3%     | 3.3%     | 3.4%  |
| 糖尿病   | 5        | 6        | 11    | 1.1%     | 1.2%     | 2.4%  | 1.8%     | 1.9%     | 2.0%  | 1.8%     | 1.9%     | 1.9%  | 1.8%     | 1.8%     | 1.9%  |
| 合計    | 444      | 503      | 468   |          |          |       |          |          |       |          |          |       |          |          |       |

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### ■年度別 主たる死因の割合



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

## 2. 第2期データヘルス計画の目標管理（達成状況）

|      |   |                                     |
|------|---|-------------------------------------|
| 判定区分 | A | ほぼ目標を達成<br>(90%以上)                  |
|      | B | 目標は達成できていないが達成の可能性が高い<br>(80~90%未満) |
|      | C | 目標の達成は難しいがある程度の効果はある<br>(60~80%未満)  |
|      | D | 達成は困難で効果があると言えない<br>(60%未満)         |
|      | E | 評価困難                                |

|             | 課題を解決するための指標                          | ベース   | 現状    | 目標値   | 評価 |
|-------------|---------------------------------------|-------|-------|-------|----|
|             |                                       | H28   | R1    | R5    |    |
| 特定健診・特定保健指導 | 特定健診受診率                               | 51.4% | 51.0% | 60%   | B  |
|             | 40~50歳代男性の特定健診受診率                     | 33.8% | 32.5% | 40%   | B  |
|             | 特定保健指導実施率                             | 36.3% | 37.7% | 60%   | C  |
|             | 特定保健指導対象者の減少率（H20対比）                  | 27.2% | 29.7% | 30.2% | A  |
| 短期目標        | メタボ該当・予備群の割合                          | 31.0% | 32.9% | 28%   | B  |
|             | 健診受診者の高血圧者の割合減少<br>(160/100以上)        | 4.9%  | 5.6%  | 4%    | C  |
|             | 健診受診者の脂質異常者の割合の減少<br>(男性LDL140以上)     | 24.3% | 19.8% | 24%   | A  |
|             | 健診受診者の糖尿病患者の割合減少<br>(HbA1c6.5%以上)     | 9.1%  | 10.2% | 8.5%  | B  |
|             | 糖尿病未治療者を治療に結び付ける割合<br>(HbA1c7%)       | 31%   | 38.6% | 45%   | B  |
|             | 糖尿病の保健指導を実施した割合                       | 90%   | 91.8% | 97%   | A  |
| 中長期目標       | 高額になる疾患（100万円以上レセ）における<br>脳血管疾患の費用額割合 | 3.2%  | 4.3%  | 2.2%  | D  |
|             | 高額になる疾患（200万円以上レセ）における<br>虚血性心疾患の件数   | 11件   | 5件    | 8件    | A  |
|             | 人工透析費用額における糖尿病性腎症割合<br>の減少            | 43.9% | 62.1% | 39.9% | D  |
|             | 人工透析新規導入人数の減少                         | 9人    | 16人   | 8人    | D  |
| 保険者努力支援制度   | 市民健康診査の受診率                            | 52.7% | 49.8% | 60%   | B  |
|             | がん検診受診率（肺がん検診）                        | 49%   | 45.0% | 53%   | B  |
|             | がん検診受診率（大腸がん検診）                       | 48%   | 44.8% | 52%   | B  |
|             | 後発医薬品の使用割合                            | 68.0% | 75.2% | 80%   | A  |

### 3. 第2期データヘルス計画の各事業実施状況

第2期データヘルス計画に基づき平成30年度から令和2年度に実施した事業の詳細は以下のとおりである。(令和2年度の実施状況については年度途中のため記載していない事業もある。)

#### ① 特定健康診査事業

【事業目的】 メタボリックシンドロームに着目し生活習慣病の発症及び重症化を予防する。

【事業概要】 高齢者の医療の確保に関する法律第20条により40歳から74歳の国民健康保険加入者(被保険者・被扶養者)を対象とし特定健康診査を集団健診・個別(医療機関)健診で実施する。また、受診率を上げるために健診未受診者に対し受診勧奨を実施する。

#### 【実施状況】

##### 〔特定健康診査〕

|              | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度 |
|--------------|--------|--------|-------|
| 集団健診実施回数 (回) | 81     | 80     | 58    |
| 対象者数 (人)     | 13,291 | 13,019 | -     |
| 受診者数 (人)     | 7,038  | 6,645  | -     |
| 受診率(法定報告)    | 53.0%  | 51.0%  | -     |

##### 〔未受診者勧奨〕

|               | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------|--------|-------|-------|
| 未受診者勧奨延人数 (人) | 14,914 | 7,216 | 6,000 |
| うち受診者延人数 (人)  | 4,335  | 1,923 | 1,668 |
| 受診率           | 29.1%  | 26.6% | 27.8% |

#### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | ・ 目標とする受診率60%の受診者を受け入れられる健診回数(集団健診)を確保した。   |
| プロセス評価    | ・ 健診の申込みはWEBや郵送など様々な方法で申し込みができるようにした。<br>・ 集団健診の実施日程・場所・スタッフ数等は充足していた。<br>・ 対象者の健診受診状況に応じた受診勧奨を行った。 |
| アウトプット評価  | ・ 受診率は上記のとおりで、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診率の増加は難しい。  |

#### 【考察】

特定健康診査の受診率は、県内では上位を維持しているが50%前半で頭打ち状態であり、目標の60%を達成するためには約1,200人の新規受診者が必要である。

受診者を確保するために、未受診者勧奨を毎年度実施しているが、平成30年度はAIを使用した未受診者勧奨を実施したため人数が多くなっている。

新規受診者の確保を効果的に行うことが、今後の課題である。特に40~50歳代は働き盛り世代とも呼ばれ受診習慣が定着しづらい。しかし、生活習慣病は自覚症状が現れるまでに時間がかかり、重症化してからの治療は患者本人のQOLだけでなく、医療費への影響が大きくなる。

早期発見・早期治療のためにも、40~50歳代の特定健康診査受診率を向上させていきたい。

## ② 特定保健指導

【事業目的】 特定健診によって抽出された対象者に保健指導を実施し、その要因となる生活習慣を改善し、生活習慣病を予防する。

【事業概要】 特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を選定し、専門職による面接や電話、メールで保健指導を行い、生活習慣の改善を支援する。

### 【実施状況】

|         | 平成 30 年度 |              |       | 令和元年度 |        |       |
|---------|----------|--------------|-------|-------|--------|-------|
|         | 積極的支援    | 動機付け支援       | 合計    | 積極的支援 | 動機付け支援 | 合計    |
| 実施方法    | 個別支援     | 集団指導<br>個別支援 |       | 個別支援  | 個別支援   |       |
| 対象者数（人） | 203      | 601          | 804   | 178   | 559    | 737   |
| 終了者数（人） | 72       | 311          | 383   | 48    | 230    | 278   |
| 実施率     | 35.5%    | 51.7%        | 47.6% | 27.0% | 41.1%  | 37.7% |

### 【評価】

|           |  |
|-----------|--|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導に従事する職員の体制づくり（職種・職員数、予算の確保、職員の資質の向上のための学習会）を実施した。</li> <li>スタッフ間で打ち合わせを行い、効果的な支援ができるよう内容を検討し、スムーズに実施できる体制づくりをした。</li> </ul> |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団指導では、71歳から74歳への支援を強化し、教材等を使用して効果的な指導が実施できた。</li> <li>個別支援では、利用者が最終評価まで継続できるよう、時間帯や場所など本人の状況に合わせて支援した。</li> </ul>              |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施率は上記のとおり。</li> </ul>  |

### 【考察】

特定保健指導の初回面接については、ほぼ全員に結果を説明し保健指導ができていますが、特定保健指導の実施率は目標を達成できていない。利用しない方の最も多い理由は、「自分で取り組む」(40.9%)であったため、利用してもらえようような支援の工夫が必要である。また、経年継続利用者に対しても、モチベーションが維持できるよう効果的な支援を検討していく必要がある。

支援体制としては、平成30年は集団指導を実施したが、参加者が少ないことから事業効果を考慮し個別支援に切り替えた。現在は、管理栄養士を中心に個別対応で効果的な支援ができているため、今後も継続しながら対象者に適切な支援ができるよう取り組んでいく。

### ③ 重症化予防事業

【事業目的】 健診結果に基づき保健指導を行い、脳血管疾患や心疾患、人工透析などの重症化を予防する。

【事業概要】 集団健診受診者のうち、高血糖・CKD（慢性腎臓病）・高血圧・心房細動・脂質異常のハイリスク者に対して、医療機関受診を働きかけ、治療中の者には受診や服薬状況、生活状況を確認しながら継続受診を勧め、生活改善に向けた保健指導を行う。

#### 【実施状況】

|                             | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-----------------------------|----------|-------|
| 対象者数 (人)                    | 957      | 963   |
| 訪問・結果説明会・窓口・電話による保健指導者数 (人) | 846      | 917   |
| 保健指導率                       | 88.4%    | 95.2% |

#### 【評価】

|           |  |
|-----------|--|
| ストラクチャー評価 | ・保健指導に従事する職員と、目的や内容、使用する資料、記録用紙等について打合せを行い、保健指導の体制構築を図り実施することができた。   |
| プロセス評価    | ・事前に健診データの読み取りやレセプトで受診状況を確認し、結果に基づいた適切な保健指導を実施した。<br>・電話でも連絡のつかなかった対象者については、健診結果と一緒にパンフレットを郵送し情報提供を行った。<br>・心房細動有所見者の管理台帳を作成し経過を把握しているが、累積対象者数が増大している。 |
| アウトプット評価  | ・実施状況のとおり、保健指導率は上昇している。  |

#### 【考察】

「自覚症状がないから大丈夫」という思い込みや薬への抵抗感から未受診になっているケースが多く、特に脂質異常では未受診者の割合が多い状況であった。支援後に治療につながった者では改善がみられているが、糖尿病では治療中であってもコントロール不良者が多かった。支援方法については、健診データから自分の体の状態を正しく理解して治療につながるように、対象者に合わせた支援を考えて取り組んだ。

心房細動管理台帳により、心房細動有所見者の医療機関受診率が約 8 割と高く高齢になってからも治療を継続しているという実態が把握できた。しかし、追跡者数の累積により、管理に時間とマンパワーがかかりタイムリーな保健指導に活用できなくなってきたため、台帳による追跡確認を終了とする。今後も心原性脳梗塞の予防は重要であり、健診結果から心房細動有所見者には重症化予防事業で保健指導を行っていく。

#### ④ 糖尿病性腎症重症化予防事業

【事業目的】 糖尿病の発症や重症化の予防、人工透析への移行を防止する。

【事業概要】 特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者の状況に応じて、情報提供や受診勧奨、医療と連携した保健指導に振り分けて保健指導を実施し、生活習慣の改善や医療機関での治療に結びつける。

#### 【実施状況】

|                | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------------|----------|-------|
| 情報提供対象者数 (人)   | 3,947    | 3,541 |
| 情報提供実施者数 (人)   | 3,947    | 3,541 |
| 受診勧奨対象者数 (人)   | 303      | 452   |
| 受診勧奨実施者数 (人)   | 303      | 452   |
| 保健指導対象者数 (人)   | 79       | 77    |
| 保健指導参加意向者数 (人) | 26       | 22    |
| 実施者数 (人)       | 26       | 22    |

#### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病重症化予防プログラムで使用する、資料や指導媒体及び保健指導実施分の管理栄養士の予算を、ヘルスアップ事業として確保した。</li> <li>・医療機関へ事業説明を行い、連携体制を構築した。</li> </ul> |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理については、台帳作成方法を見直し、栃木県国民健康保険団体連合会から提供される対象者リストを活用することとした。</li> <li>・対象者に合わせた資料を作成し、保健指導を実施した。</li> </ul>  |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供、受診勧奨対象者へは 100%の実施ができた。</li> <li>・保健指導対象者へは、かかりつけ医と連携した保健指導につながらない者へもできる限り個別に保健指導を行った。</li> </ul>       |

#### 【考察】

プログラムの開始からより早期の重症化予防を目指して、情報提供や受診勧奨を多くの対象者に実施した。

自覚症状がないため、すぐには受療につながらない者も多いが、継続して関わることが重要である。

糖尿病と合併症について広く啓発し、境界域の段階から生活習慣を改善させることが予防につながることを、引き続き周知していく必要がある。

保健指導対象者数に対して実施者数が少ない点については、一つの要因として本人が治療の必要性を認識していない事が考えられるため、治療は食事・運動療法が基本であることを対象者に理解してもらうとともに、保健指導の必要性を医療機関からも伝えてもらえるように、医療機関へは引き続き協力を仰いでいきたい。

## ⑤ 二次検診

【事業目的】 特定健康診査・若年健康診査で保健指導の利用者を対象とし、健康課題である循環器病及び糖尿病等の予防可能な生活習慣病を早期発見、早期介入することによって予防する。

特に、隠れ糖尿病や早期の動脈硬化性血管変化、早期腎機能変化を捉えることで、生活習慣の改善を目指し、生活習慣病への進行・重症化を抑制する。

【事業概要】 保健指導の対象になった者のうち、高血圧や糖尿病などで治療をしておらず、血糖値が受診勧奨判定値に達していない者に、75g糖負荷検査・インスリン検査、頸動脈超音波検査、微量アルブミン尿検査を実施し、5年間継続して保健指導を実施する。

### 【実施状況】

|              | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|--------|-------|-------|
| 実施回数 (回)     | 3      | 2     | 3     |
| 二次検診対象者数 (人) | 214    | 315   | —     |
| 二次検診受診者数 (人) | 31     | 46    | —     |
| 受診率          | 14.5%  | 14.6% | —     |

### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田原市国民健康保険二次検診実施要綱に基づき、栃木県保健衛生事業団に委託して実施した。</li> <li>・検診実施機関と連携し、より効果的な実施方法について検討、改善した。</li> </ul>                      |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の目的に沿った対象者が受診できるよう、対象者の条件を見直し、実施した。</li> </ul>  |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数は年々増加しており、早い段階で生活習慣病の発症予防のための支援につながる人が増加している。</li> <li>・令和元年度は、年間3回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止した。</li> </ul> |

### 【考察】

保健事業から見えた課題をもとに、対象者の条件を検討し見直したことで、より早期の段階で生活習慣病のリスクを把握し、介入することができるようになった。

二次検診は、血糖値の経時的変化や頸動脈の肥厚画像などを確認することが出来るため、血管変化の状態を対象者自身が実感し、生活習慣の改善につながりやすい。

今後は必要性が高い人が検査を受診できるよう、関係機関と連携を図りながら事業内容を検討していく。

## ⑥ 健診結果説明会

【事業目的】 健診結果に基づき、自分自身の健康状態を認識した上で、身体のメカニズムと生活習慣との関係を理解し、主体的に生活習慣の改善ができるよう支援する。

【事業概要】 概ね健診会場ごとに開催し、健診結果に基づいた生活習慣の改善や受診勧奨等の保健指導を行う。  
健診時に周知し、健診結果についての健康相談を行っている。

### 【実施状況】

|         | 平成30年度   | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|--|-------|-------|
| 対象者     | 特定健診・基本健診の受診者<br>(要指導者や特定保健指導対象者・重症化予防対象者等のハイリスク者は結果説明会で結果返却する。) |       |       |
| 実施回数(回) | 71   | 64    | 51    |
| 実施人数(人) | 1,959  | 1,836 | -     |

### 【評価】

|           |  |
|-----------|--|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施する上で必要な予算(専門職・消耗品等)を確保した。</li> <li>・実施会場は対象者が来場しやすいよう健診会場を主とした。</li> <li>・関係機関と随時打ち合わせを行い、改善点の検討や実施方法の共有を図った。</li> <li>・健康づくりに関連する運動、歯科、お薬相談を取り入れた。</li> </ul>  |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導により、個々の結果に応じた保健指導ができている。</li> <li>・令和元年度から、対象者に電話や通知での来場勧奨を実施した。</li> <li>・健診結果説明会日に来場できない場合は、窓口・訪問・電話での対応も可能とする等、結果返却方法に多様性を持たせた。</li> <li>・運動、歯科、お薬相談は、実施前にチェックシートを記入することで、健診結果の数値や治療状況を踏まえた指導ができる。</li> </ul> |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した回数分を全て実施できた。</li> <li>・対象者への電話や通知の取り組みにより、来場率が増加した。</li> </ul>   |

### 【考察】

事前の個別アプローチにより結果説明会来場率が増加したことは、当事業への対象者の関心を高めるのに効果的であったので、今後も実施していく。

また、対象者の状況に合わせて健診結果返却方法を多様化することで、一人でも多くの対象者に保健指導を実施できるよう努めていく。

生活習慣病の発症及び重症化予防は、食事や運動のみならず、歯科保健や服薬管理などの視点からのアプローチも重要である。

来場した者がより健康への意識づけができる場となるよう、関係職種との連携を継続する。



## ⑦ がん検診

【事業目的】 早期発見・早期治療により、がんによる死亡者数の減少を目的とする。

【事業概要】 健康増進法第19条の2、「がん予防重点健康教育及びがん検診のための指針」を基に実施。受診率の目標は50%としている。検診項目は、国指針で定めている胃がん検診、子宮頸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診と、市が独自に実施している、前立腺がん検診、30代の乳がん検診、子宮頸がん（HPV検査）検診を、特定健診と併せて集団健診で実施している。

また、子宮がん検診及び乳がん検診は、集団健診の他に医療機関へ委託して個別（医療機関）検診として実施している。

### 【実施状況】

| 検査項目    | 内容                              | 平成30年度                | 令和元年度                 | 令和2年度 |
|---------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|-------|
| 胃がん検診   | 胃部エックス線検査                       | 81回・5,364人<br>・23.3%  | 80回・5,014人<br>・21.8%  | 58回   |
| 子宮がん検診  | 診察・頸部検査（細胞診）<br>HPV検査（25歳から45歳） | 81回・5,091人<br>・35.5%  | 73回・4,750人<br>・34.3%  | 57回   |
| 肺がん検診   | 胸部エックス線検査・喀痰検査                  | 81回・10,634人<br>・46.2% | 80回・10,358人<br>・45.0% | 58回   |
| 乳がん検診   | 超音波検査・乳房エックス線検査                 | 81回・6,505人<br>・50.4%  | 73回・6,304人<br>・48.9%  | 57回   |
| 大腸がん検診  | 便潜血検査                           | 81回・10,576人<br>・45.9% | 80回・10,315人<br>・44.8% | 58回   |
| 前立腺がん検診 | 血液検査                            | 67回・4,007人<br>・44.8%  | 66回・3,880人<br>・43.4%  | 48回   |

個別（医療機関）検診については、子宮がん検診は7機関、乳がん検診は4機関で実施した。（受診者数・受診率は上記数字に含む）

### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | ・検診機関（集団委託・個別委託）における実施体制は十分であり、受診希望者の意に沿った形で受診してもらうことができた。  |
| プロセス評価    | ・集団検診の実施日程・場所・スタッフ数等は充足していた。また、各がん検診の全対象者へ通知をしたのに加え、随時勧奨通知を送付した。<br>・申込方法についてもWEB予約を導入し、より申し込みをしやすい環境を整えた。                            |
| アウトプット評価  | ・がん検診全体における受診者数及び受診率の低下が続いており、全ての検診項目で受診率50%を達成するのが難しい状況である。<br>・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、集団検診の回数が減っているため、受診者数の減少及び受診率低下へ影響は大きい。 |

### 【考察】

がん検診の受診者数・受診率が年々低下している。（ただし、子宮頸がん検診については、HPV併用検診を導入しているため比較はできない。）

受診者が、集団検診、子宮がん・乳がんの個別医療機関検診を受ける機会は充足されていると思われることから、今後、啓発等により受診率にいかん反映できるかが、大きな検討材料である。

## ⑧ 喫煙対策

【事業目的】 市民が喫煙と健康問題について理解を深め、健康行動が起こせるよう、普及啓発を行う。

【事業概要】 たばこは、がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、歯周病などの多くの疾患、流早産など妊娠に関連した異常の危険因子であることを普及啓発する。喫煙者に対しては、健康診査時などにおいて肺年齢測定を実施し、禁煙の支援を行う。

### 【実施状況】

|           | 内容   | 平成 30 年度        | 令和元年度             | 令和 2 年度 |
|-----------|--|-----------------|-------------------|---------|
| 喫煙対策の啓発   | 世界禁煙デー・禁煙週間などにおいて、SNS の活用やポスターの掲示、展示ブースで普及啓発 | 6 回             | 15 回              | 7 回     |
| 禁煙支援の充実   | 肺年齢測定  | 45 回<br>(647 人) | 34 回<br>(1,133 人) | -<br>-  |
| 妊婦の喫煙防止対策 | 母子手帳交付時に啓発資料配布や妊婦保健指導                        | 497 人           | 478 人             | -<br>-  |

### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙対策に従事する職員の体制づくり（職種・職員数、予算の確保、職員の資質の向上のための学習会）を実施した。</li> <li>・他機関、地区組織との連携を図りながら実施することができた。</li> </ul>            |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は、健康増進法の改正に伴い、禁煙や受動喫煙防止の機運が高まり、職域などにも積極的に啓発資料を配布した。</li> <li>・令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため肺年齢測定は中止した。</li> </ul> |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査受診者の喫煙率は、H30 年度 15.1%、R1 年度 14.4%であり、年々減少している。</li> </ul>   |

### 【考察】

今後もライフステージに応じた喫煙対策を行うため、関係各課が連携し禁煙支援をしていく。

肺年齢測定は、喫煙している者又は喫煙歴のある者を主な対象者として実施していたが、今後は一人ひとりの禁煙支援の時間を十分に確保するため、喫煙者のみを対象とする。また、待ち時間には COPD のチェックリストを活用し禁煙支援の強化をしていく。

## ⑨ 歯科保健事業

【事業目的】 歯科疾患に関する知識の普及啓発及び歯科保健指導により歯周疾患の発症・進行を予防することで、生活習慣病の発症予防につなげる。

【事業概要】 市民健康診査及び健診結果説明会において、歯科衛生士等により対象者の状態に合わせて歯のセルフケアや定期受診などについて情報提供し、口腔機能の維持向上について歯科保健指導を行う。

### 【実施状況】

|            | 内容   | 平成 30 年度          | 令和元年度             | 令和 2 年度 |
|------------|--|-------------------|-------------------|---------|
| 歯科保健に関する啓発 | 歯と口の健康習慣及び健康増進普及月間などにおいて、SNS の活用やポスターの掲示、展示ブース等で普及啓発 | 3 回               | 3 回               | 19 回    |
| 歯周病検診      | 40、50、60、70 歳を対象に医療機関委託により実施                         | 242 人<br>(6.0%)   | 225 人<br>(5.6%)   | —       |
| 歯科保健指導     | 市民健診や健診結果説明会において歯科保健指導を実施                            | 81 回<br>(2,960 人) | 78 回<br>(2,059 人) | —       |

### 【評価】

|           |   |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科保健指導に係る予算を確保した。</li> <li>・ 歯科衛生士と打ち合わせを行い、地域の歯周疾患の状況に対応した内容について検討し、必要物品を準備し実施した。</li> </ul>  |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯周病検診対象者に、年度初めに個別通知にて受診勧奨を行った。</li> <li>・ 個別相談においては「お口のチェックリスト」等で個人のニーズを把握し、必要に応じて保健指導を行った。</li> <li>・ 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歯科保健指導の実施を中止し、健康増進月間に啓発を行った。</li> </ul> |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施状況は上記のとおり</li> </ul>   |

### 【考察】

成人期の歯科保健においては、生活習慣病の発症予防として健診受診者を対象に保健指導を実施しているが、「歯の喪失防止」「口腔機能の維持向上」の実現のためには、乳幼児期から高齢期までの取り組みが重要となる。

健診時の質問票では、健診受診者のうち咀嚼に関する問診で 28.2%の者がかみにくいと感じている。また、健診結果説明会での「お口のチェックリスト」では、自覚症状を持つものは 6 割以上いるが、定期受診しているものは 45%程度となっている。

歯科保健については、全身の健康との関連として捉え、今後も継続してライフステージに対応した歯科保健向上の対策を、関係課と連携して取り組んでいく必要がある。

⑩ 受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）

【事業目的】 国民健康保険被保険者の適正受診・適正服薬を促す。

【事業概要】 国保総合システムの重複多受診一覧表より候補者を抽出後、レセプト内容から2か所以上の医療機関で2か月以上同じ病名・投薬のある者や、同一疾患での受診か否かなどを確認し、選出した対象者に対して保健師等が、健康管理や医療に対する啓発、健康相談、健康指導等の適切な訪問指導を行う。

指導後にレセプト内容から服薬状況や医療機関への受診行動が適正化されているかを確認する。

【実施状況】

|        | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------|----------|-------|
| 訪問対象者数 | 3 人      | 2 人   |
| 訪問実施者数 | 3 人      | 2 人   |

【評価】

|           |  |
|-----------|--|
| ストラクチャー評価 | ・ 通常業務でレセプトを扱う国保年金課担当職員が対象者を抽出し、健康政策課保健師に連絡して早期に指導できているため、連携体制が構築できている。  |
| プロセス評価    | ・ 国保総合システムの重複多受診一覧表から毎月最新の情報を収集し、レセプト内容を確認することで、指導が必要となりうる対象者の問題を分析できるため、適切な指導手段を取ることが可能となり、受診行動の改善ができています。<br>・ 指導状況は、保健師によって細かく記録されているため、改善に向けた状況の把握がしやすくなっています。 |
| アウトプット評価  | ・ 上記実施状況のとおり   |

【考察】

早期の情報収集と指導の実施が毎月のレセプト点検によって可能となり、受診行動の適正化につながっていると考えられる。

重複多受診一覧表の候補者からの対象者の抽出については、市独自の基準で行っているため、さらなる適正受診・適正服薬のためにも随時見直していくことが必要である。

## ⑪ 後発医薬品差額通知事業

【事業目的】 後発医薬品の普及率向上を目指す。

【事業概要】 レセプトデータから、後発医薬品の使用率が低く、後発医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。  
通知書を対象者に送付することで、後発医薬品への切り替えを促す。

### 【実施状況】

|      | 平成 30 年度  | 令和元年度     | 令和 2 年度  |
|------|-----------|-----------|----------|
| 発送回数 | 1 回（11 月） | 1 回（12 月） | 1 回（1 月） |
| 通知数  | 328 通     | 262 通     | 307 通    |

※ 過去 2 回通知している対象者には送付していない。

### 《差額通知作成条件》

- 対象月：8 月診療分
- 抽出対象外薬品：悪性腫瘍及び精神疾患用の薬剤
- 通知対象となる薬剤の差額：1 薬剤の差額が 100 円以上となる場合  
1 被保険者の差額 500 円以上となる場合
- 通知対象となる投与期間：薬剤数量が 7 日以上の場合

### 【評価】

|           |  |
|-----------|--|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木県国民健康保険団体連合会に作成業務委託をしているため、事前に情報提供等を行った。</li> <li>・ 差額通知作成から発送に必要な予算を確保することができた。</li> </ul>   |
| プロセス評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度から同じ作成条件にしているが、年々後発医薬品利用率が増加傾向であるため、適切な対象者選定、勧奨手段がとれている。</li> <li>・ 通知を発送した対象者について、発送翌月以降の診療分レセプトについて効果分析を行っている。（効果分析については栃木県国民健康保険団体連合会に作成依頼済み）</li> </ul> |
| アウトプット評価  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記実施状況のとおり</li> </ul>   |

### 【考察】

本市の後発医薬品利用率（数量ベース）は年々増加傾向にあるが、令和元年度は 75.2%で、全体で見ると国の目標である 80%には達していないのが現状であり、引き続き啓発活動を行っていく。

## 4. 医療情報分析結果

### (1) 基礎統計

当医療費統計は、大田原市国民健康保険における平成 29 年度から令和元年度の入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし、年度別に分析した。

被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。

1 か月平均の患者数を比較すると、令和元年度 9,697 人は平成 29 年度 9,893 人より 196 人減少している。しかし、令和元年度医療費 60 億 5,329 万円は平成 29 年度 57 億 82 万円より 3 億 5,247 万円増加しており、有病率及び被保険者一人当たりの医療費が増加し、さらにレセプト 1 件当たりの医療費も増加している。

#### ■年度別 基礎統計

|     |                     | 平成 29 年度      | 平成 30 年度      | 令和元年度         |         |
|-----|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| A   | 1 か月平均の被保険者数 (人)    | 18,888        | 18,363        | 17,985        |         |
| B   | レセプト件数 (件)          | 入院外           | 159,366       | 158,520       | 157,470 |
|     |                     | 入院            | 4,327         | 4,187         | 4,314   |
|     |                     | 調剤            | 77,546        | 76,604        | 78,581  |
|     |                     | 合計            | 241,239       | 239,311       | 240,365 |
| C   | 医療費 ※ (円)           | 5,700,824,090 | 5,768,340,220 | 6,053,292,810 |         |
| D   | 1 か月平均の患者数 ※ (人)    | 9,893         | 9,818         | 9,697         |         |
| C/A | 被保険者一人当たりの医療費 (円)   | 301,823       | 314,134       | 336,567       |         |
| C/B | レセプト 1 件当たりの医療費 (円) | 23,631        | 24,104        | 25,184        |         |
| D/A | 有病率                 | 52.4%         | 53.5%         | 53.9%         |         |

データ化範囲 (分析対象) … 入院 (DPC を含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

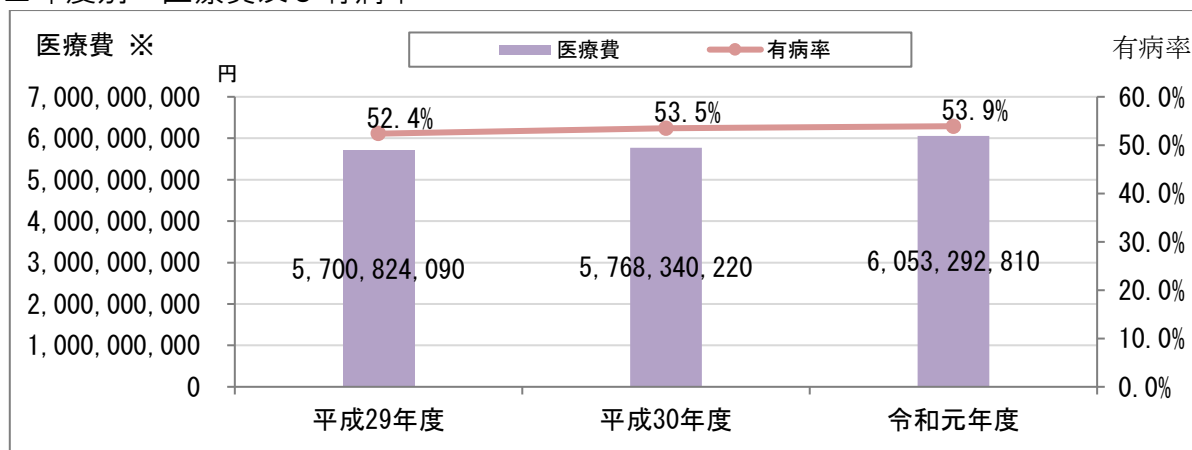
対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (36 か月分)。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

※ 医療費 … 医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために 10 倍にして表示。

※ 1 か月平均の患者数 … 医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度ごとに集計。そのため他統計とは一致しない。

#### ■年度別 医療費及び有病率



データ化範囲 (分析対象) … 入院 (DPC を含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

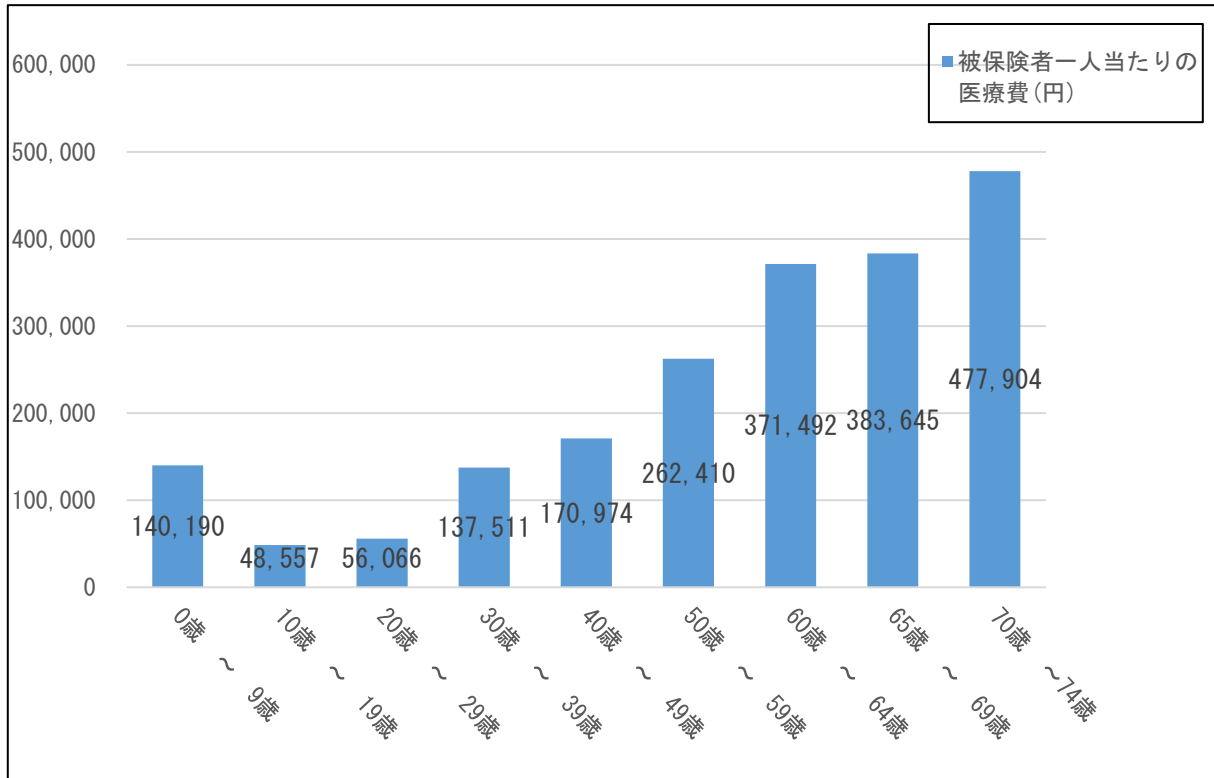
対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (36 か月分)。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

※ 医療費 … 医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために 10 倍にして表示。

レセプト情報から、医療費の年齢による推移を以下に示す。  
60歳から医療費が急増していることがわかる。

■レセプト情報分析 医療費の年齢による推移



データ化範囲(分析対象) … 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12か月分)。  
年齢範囲 … 年齢基準日時点の年齢を0歳～74歳の範囲で分析対象としている。  
年齢基準日 … 令和2年3月31日時点。  
※ 医療費 … 各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成 29 年度から令和元年度に発生している高額レセプト（診療点数が 5 万円以上のもの）の集計結果を年度別に示す。

令和元年度の高額レセプトの医療費 21 億 8,361 万円は、平成 29 年度の 17 億 4,970 万円より 4 億 3,391 万円増加している。また、令和元年度の高額レセプト件数 2,148 件は、レセプト件数全体の 0.9%を占め、平成 29 年度の高額レセプト件数 1,735 件(0.7%)から 413 件増加している。

件数では全体の 1%にも満たない高額レセプトであるが、医療費は総医療費の 36.1%に上り課題の一つであるとわかる。

#### ■年度別 高額（5 万点以上）レセプト件数及び割合

|     |                      | 平成 29 年度      | 平成 30 年度      | 令和元年度         |
|-----|----------------------|---------------|---------------|---------------|
| A   | レセプト件数 (件)           | 241,239       | 239,311       | 240,365       |
| B   | 高額レセプト件数 (件)         | 1,735         | 1,925         | 2,148         |
| B/A | 総レセプト件数に占める高額レセプトの割合 | 0.7%          | 0.8%          | 0.9%          |
| C   | 医療費全体 ※ (円)          | 5,700,824,090 | 5,768,340,220 | 6,053,292,810 |
| D   | 高額レセプトの医療費 ※ (円)     | 1,749,695,490 | 1,955,219,900 | 2,183,607,790 |
| E   | その他レセプトの医療費 ※ (円)    | 3,951,128,600 | 3,813,120,320 | 3,869,685,020 |
| D/C | 総医療費に占める高額レセプトの割合    | 30.7%         | 33.9%         | 36.1%         |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

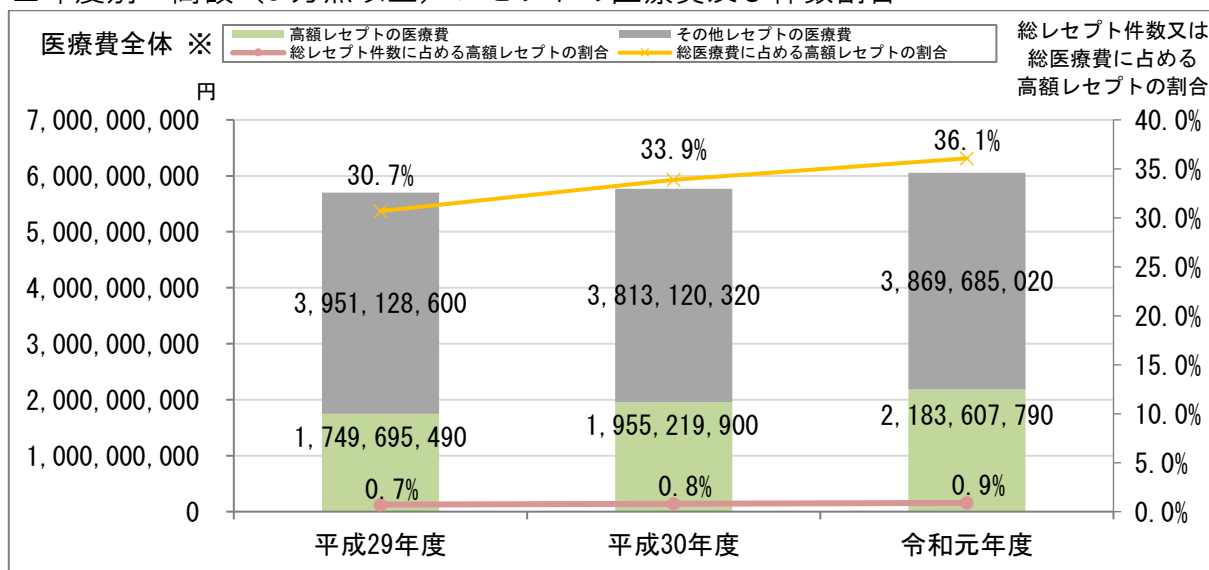
資格確認日… 1 日でも資格があれば分析対象としている。

※ 医療費全体… データ化範囲（分析対象）全体での医療費を算出。

※ 高額レセプトの医療費… 高額（5 万点以上）レセプトの医療費。

※ その他レセプトの医療費… 高額（5 万点以上）レセプト以外の医療費。

#### ■年度別 高額（5 万点以上）レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲（分析対象）… 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日… 1 日でも資格があれば分析対象としている。

※ 医療費全体… データ化範囲（分析対象）全体での医療費を算出。



## ② 高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成 29 年度から令和元年度における、患者一人当たりの医療費上位 5 疾病を年度別に示す。

「腎不全」については、患者一人当たりの医療費が高いことに加え、患者数も多い。また、「脳内出血」「くも膜下出血」が上位に入っており、第 1 期計画から本市の課題として取り組んできた循環器疾患については、引き続き取り組む必要がある。

### ■年度別 高額（5 万点以上）レセプト発生患者の疾病傾向 （患者一人当たりの医療費順）

| 年度       | 順位 | 疾病分類（中分類）             | 主要傷病名 ※<br>（上位 3 疾病まで記載）                                 | 患者数 ※<br>（人） | 患者一人当たりの医療費 ※<br>（円） |
|----------|----|-----------------------|--|--------------|----------------------|
| 平成 29 年度 | 1  | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 脳性麻痺、片麻痺   | 8            | 6,669,603            |
|          | 2  | 0606 その他の神経系の疾患       | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎、悪性症候群、正中神経麻痺                               | 5            | 6,117,036            |
|          | 3  | 1402 腎不全              | 慢性腎不全、腎性貧血、末期腎不全   | 22           | 6,056,580            |
|          | 4  | 0209 白血病              | 慢性骨髄性白血病、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病                              | 8            | 5,724,396            |
|          | 5  | 0905 脳内出血             | 小脳出血、被殻出血、脳出血  | 13           | 5,191,935            |
| 平成 30 年度 | 1  | 0904 くも膜下出血           | 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血、前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血、IC-PC 動脈瘤破裂によるくも膜下出血 | 5            | 7,632,840            |
|          | 2  | 0606 その他の神経系の疾患       | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎、筋萎縮性側索硬化症、顔面痙攣症                            | 14           | 7,094,671            |
|          | 3  | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 脳性麻痺、四肢麻痺、片麻痺  | 10           | 6,485,569            |
|          | 4  | 0605 自律神経系の障害         | 多系統萎縮症   | 6            | 5,989,567            |
|          | 5  | 0905 脳内出血             | 脳出血、被殻出血、脳幹部出血   | 9            | 5,826,492            |
| 令和元年度    | 1  | 0606 その他の神経系の疾患       | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多発性硬化症、正常圧水頭症                              | 18           | 7,753,158            |
|          | 2  | 0301 貧血               | 出血性貧血、再生不良性貧血、急性失血性貧血                                    | 4            | 7,037,775            |
|          | 3  | 0605 自律神経系の障害         | 多系統萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群                                      | 6            | 6,832,790            |
|          | 4  | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 脳性麻痺、四肢麻痺、片麻痺  | 7            | 6,490,103            |
|          | 5  | 1402 腎不全              | 慢性腎不全、末期腎不全、腎性貧血   | 30           | 5,336,913            |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

※ 主要傷病名 … 高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者ごとに最も医療費が高額となった疾病。

※ 患者数 … 高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※ 患者一人当たりの医療費 … 高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たりの医療費。

平成 29 年度から令和元年度における、患者数上位 5 疾病を年度別に示す。  
 高額レセプト発生患者の疾病傾向（患者数順）を年度別にみると、1 位「その他の悪性新生物<腫瘍>」、2 位「その他の心疾患」の他に、毎年度「骨折」が上位に入っている。

1 位「その他の悪性新生物<腫瘍>」では、前立腺癌が主要傷病名として挙げられているが、本市では 50 歳以上の男性を対象に前立腺がん検診に取り組んでいる。

また、課題となっている循環器疾患である「虚血性心疾患」や「脳梗塞」が上位である。

### ■年度別 高額（5 万点以上）レセプト発生患者の疾病傾向（患者数順）

| 年度       | 順位 | 疾病分類（中分類）                   | 主要傷病名 ※<br>（上位 3 疾病まで記載）   | 患者数 ※<br>（人） | 患者一人当たりの医療費 ※<br>（円） |
|----------|----|-----------------------------|----------------------------|--------------|----------------------|
| 平成 29 年度 | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>          | 前立腺癌、腭頭部癌、卵巣癌              | 83           | 3,115,133            |
|          | 2  | 0903 その他の心疾患                | うっ血性心不全、非弁膜症性心房細動、心房細動     | 49           | 3,068,721            |
|          | 3  | 1901 骨折                     | 大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折     | 37           | 2,131,571            |
|          | 4  | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>    | 上葉肺癌、下葉肺癌、肺癌               | 30           | 3,969,348            |
|          | 4  | 0902 虚血性心疾患                 | 不安定狭心症、狭心症、陳旧性心筋梗塞         | 30           | 2,765,397            |
| 平成 30 年度 | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>          | 前立腺癌、腭頭部癌、多発性骨髄腫           | 97           | 3,182,481            |
|          | 2  | 0903 その他の心疾患                | うっ血性心不全、非弁膜症性心房細動、僧帽弁閉鎖不全症 | 41           | 3,267,774            |
|          | 3  | 0902 虚血性心疾患                 | 不安定狭心症、急性前壁心筋梗塞、労作性狭心症     | 36           | 2,620,149            |
|          | 4  | 1901 骨折                     | 橈骨遠位端骨折、大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折   | 35           | 1,942,431            |
|          | 5  | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>    | 上葉肺癌、下葉肺癌、下葉肺腺癌            | 31           | 3,844,945            |
|          | 5  | 0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮頸部上皮内腫瘍・異型度 3  | 31           | 2,279,422            |
| 令和元年度    | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>          | 前立腺癌、腭頭部癌、多発性骨髄腫           | 101          | 3,976,060            |
|          | 2  | 0903 その他の心疾患                | うっ血性心不全、非弁膜症性心房細動、僧帽弁閉鎖不全症 | 52           | 4,173,563            |
|          | 3  | 1901 骨折                     | 大腿骨頸部骨折、脛骨腓骨遠位端骨折、大腿骨骨幹部骨折 | 36           | 2,493,465            |
|          | 4  | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>    | 上葉肺癌、下葉肺腺癌、下葉肺癌            | 35           | 4,932,240            |
|          | 5  | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害  | 統合失調症、幻覚妄想状態、妄想型統合失調症      | 30           | 2,713,427            |
|          | 5  | 0906 脳梗塞                    | 心原性脳塞栓症、アテローム血栓性脳梗塞、血栓性脳梗塞 | 30           | 3,072,423            |
|          | 5  | 1402 腎不全                    | 慢性腎不全、末期腎不全、腎性貧血           | 30           | 5,336,913            |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

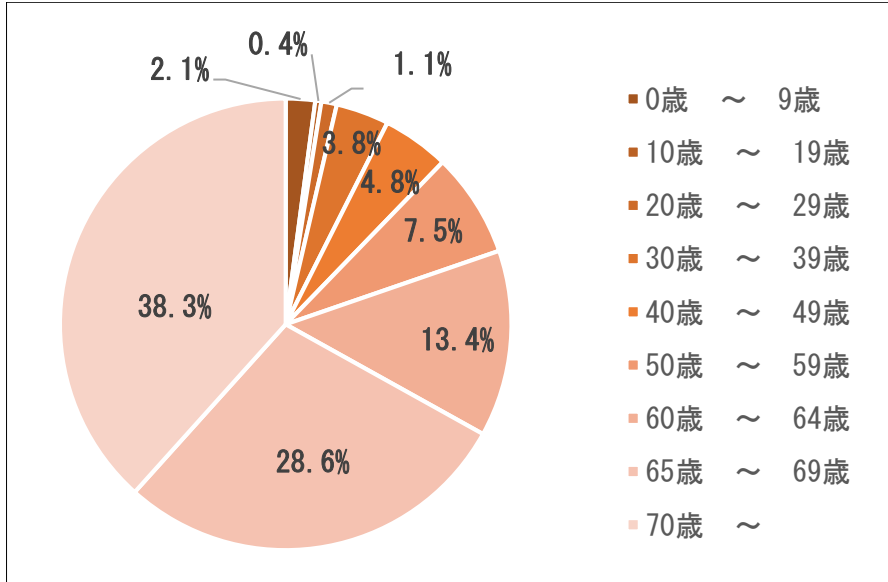
※ 主要傷病名 … 高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者ごとに最も医療費が高額となった疾病。

※ 患者数 … 高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※ 患者一人当たりの医療費 … 高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たりの医療費。

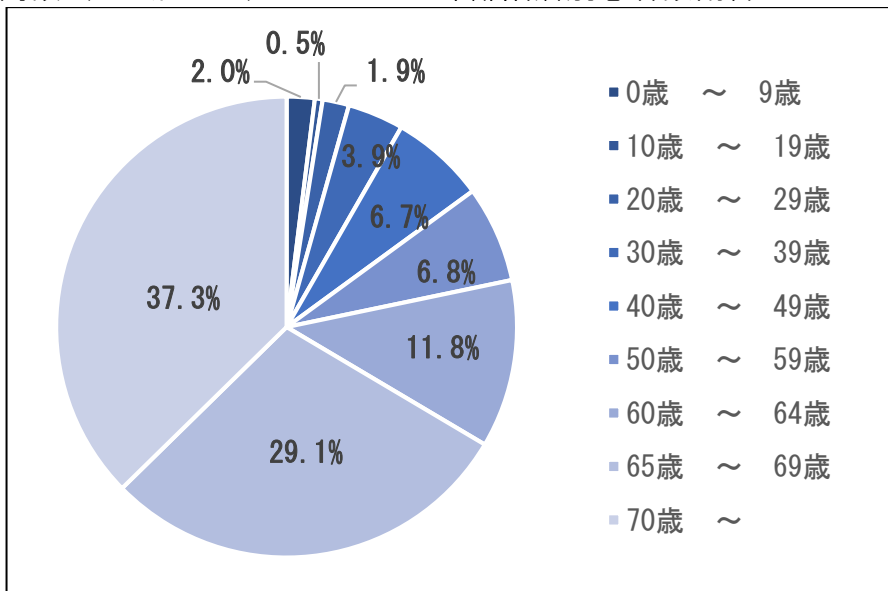
高額レセプトを年齢階層別にみると、医療費割合、患者数割合ともに 65 歳以上が全体の約 65%を占めている。今後、高齢化により 65 歳以上医療費が増えることが見込まれる。

■ 高額（5 万点以上）レセプト 年齢階層別医療費割合



データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（12 か月分）。  
 年齢範囲 … 年齢基準日時点の年齢を 0 歳～74 歳の範囲で分析対象としている。  
 年齢基準日 … 令和 2 年 3 月 31 日時点。  
 医療費 … 各月、1 日でも資格があれば分析対象としている。

■ 高額（5 万点以上）レセプト 年齢階層別患者数割合



データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（12 か月分）。  
 年齢範囲 … 年齢基準日時点の年齢を 0 歳～74 歳の範囲で分析対象としている。  
 年齢基準日 … 令和 2 年 3 月 31 日時点。  
 医療費 … 各月、1 日でも資格があれば分析対象としている。

### (3) 疾病別医療費

#### ① 大分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）に発生しているレセプトから、疾病項目ごとに医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物＜腫瘍＞」が医療費合計の18.1%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.8%と高い割合を占めている。

#### ■大分類による疾病別医療費統計

※項目ごとに上位5疾病を 網掛け 表示する。

| 疾病分類（大分類）                              | A             |       |    | B                   |    | C            |    | A/C                    |    |
|--|---------------|-------|----|---------------------|----|--------------|----|------------------------|----|
|  | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 順位 | レセプト<br>件数 ※<br>(件) | 順位 | 患者数 ※<br>(人) | 順位 | 患者一人<br>当たりの<br>医療費(円) | 順位 |
| I. 感染症及び寄生虫症                           | 155,975,671   | 2.6%  | 12 | 20,745              | 10 | 4,549        | 10 | 34,288                 | 15 |
| II. 新生物＜腫瘍＞                            | 1,092,318,541 | 18.1% | 1  | 20,581              | 11 | 5,321        | 6  | 205,284                | 3  |
| III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害              | 52,496,029    | 0.9%  | 15 | 6,375               | 15 | 1,660        | 15 | 31,624                 | 16 |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患                       | 550,954,559   | 9.1%  | 3  | 88,365              | 2  | 8,483        | 2  | 64,948                 | 9  |
| V. 精神及び行動の障害                           | 483,903,652   | 8.0%  | 6  | 24,445              | 8  | 2,188        | 14 | 221,163                | 2  |
| VI. 神経系の疾患                             | 511,129,408   | 8.5%  | 4  | 40,782              | 6  | 4,060        | 11 | 125,894                | 4  |
| VII. 眼及び付属器の疾患                         | 221,905,072   | 3.7%  | 10 | 18,893              | 13 | 5,180        | 8  | 42,839                 | 12 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患                       | 24,430,997    | 0.4%  | 16 | 5,387               | 16 | 1,352        | 16 | 18,070                 | 18 |
| IX. 循環器系の疾患                            | 892,037,048   | 14.8% | 2  | 92,463              | 1  | 7,893        | 4  | 113,016                | 5  |
| X. 呼吸器系の疾患                             | 306,288,284   | 5.1%  | 9  | 42,061              | 5  | 8,429        | 3  | 36,337                 | 13 |
| XI. 消化器系の疾患 ※                          | 439,897,458   | 7.3%  | 7  | 72,433              | 3  | 8,615        | 1  | 51,062                 | 11 |
| XII. 皮膚及び皮下組織の疾患                       | 121,856,584   | 2.0%  | 13 | 26,593              | 7  | 5,252        | 7  | 23,202                 | 17 |
| XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患                    | 501,913,460   | 8.3%  | 5  | 54,768              | 4  | 6,959        | 5  | 72,124                 | 8  |
| XIV. 泌尿路生殖器系の疾患                        | 386,781,890   | 6.4%  | 8  | 19,933              | 12 | 3,610        | 12 | 107,142                | 7  |
| XV. 妊娠、分娩及び産じょく ※                      | 11,356,280    | 0.2%  | 20 | 242                 | 19 | 103          | 19 | 110,255                | 6  |
| XVI. 周産期に発生した病態 ※                      | 14,065,295    | 0.2%  | 18 | 92                  | 20 | 32           | 20 | 439,540                | 1  |
| XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常                   | 11,975,896    | 0.2%  | 19 | 931                 | 18 | 339          | 18 | 35,327                 | 14 |
| XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 84,171,187    | 1.4%  | 14 | 22,223              | 9  | 5,109        | 9  | 16,475                 | 19 |
| XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  | 164,025,656   | 2.7%  | 11 | 9,477               | 14 | 3,005        | 13 | 54,584                 | 10 |
| XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用          | 16,884,466    | 0.3%  | 17 | 4,968               | 17 | 1,110        | 17 | 15,211                 | 20 |
| XXII. 特殊目的用コード                         | 0             | 0.0%  |    | 0                   |    | 0            |    | 0                      |    |
| 分類外                                    | 228,637       | 0.0%  | 21 | 81                  | 21 | 32           | 20 | 7,145                  | 21 |
| 合計                                     | 6,044,596,070 |       |    | 239,416             |    | 16,152       |    | 374,232                |    |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費… 大分類の疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※ レセプト件数… 大分類における疾病項目ごとに集計するため、合計件数は他統計と一致しない（1件のレセプトに複数の疾病があるため）。

※ 患者数… 大分類における疾病項目ごとに集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。

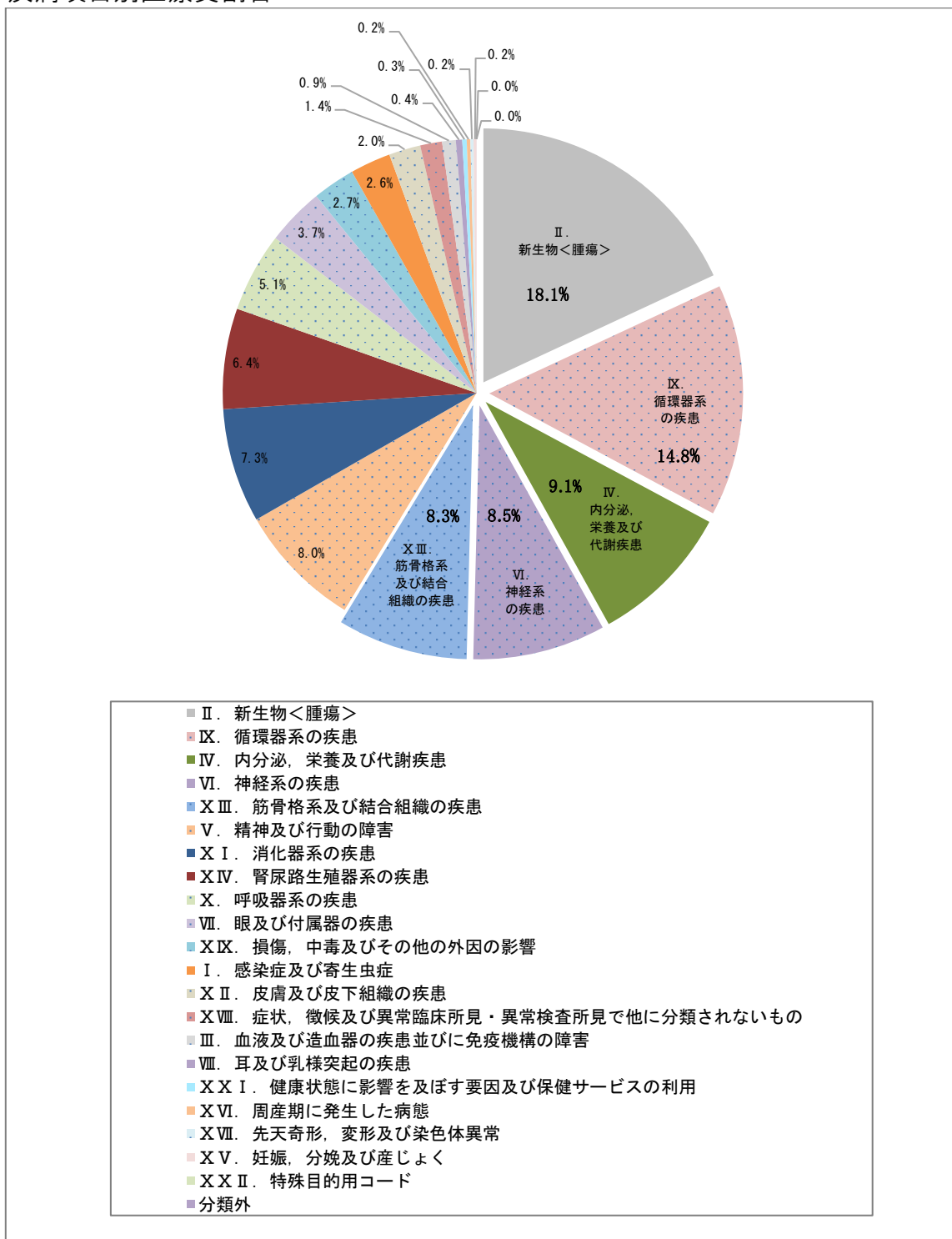
※ 消化器系の疾患… 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※ 妊娠、分娩及び産じょく… 乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※ 周産期に発生した病態… ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期（妊娠22週から出生後7日未満）以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「神経系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占める。

■ 疾病項目別医療費割合



データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。  
 資格確認日 … 1日でも資格があれば分析対象としている。  
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患 … 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成 29 年度から令和元年度に発生しているレセプトから、疾病項目ごとに医療費を算出し年度別に示す。

大分類による疾病別医療費に注目すると、「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」といった生活習慣病に起因する疾患に加え、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が課題であることがわかる。

## ■年度別 大分類による疾病別医療費統計

※項目ごとに上位 5 疾病を 網掛け 表示する。

| 疾病分類（大分類）                               | 平成 29 年度      |       |    | 平成 30 年度      |       |    | 令和元年度         |       |    |
|---|---------------|-------|----|---------------|-------|----|---------------|-------|----|
|   | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 順位 | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 順位 | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 順位 |
| I. 感染症及び寄生虫症                            | 193,105,561   | 3.4%  | 11 | 198,688,913   | 3.4%  | 11 | 155,975,671   | 2.6%  | 12 |
| II. 新生物<腫瘍>                             | 888,895,289   | 15.6% | 2  | 888,835,934   | 15.4% | 1  | 1,092,318,541 | 18.1% | 1  |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害               | 38,724,746    | 0.7%  | 15 | 36,359,953    | 0.6%  | 15 | 52,496,029    | 0.9%  | 15 |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患                        | 540,780,780   | 9.5%  | 3  | 534,929,093   | 9.3%  | 3  | 550,954,559   | 9.1%  | 3  |
| V. 精神及び行動の障害                            | 472,280,109   | 8.3%  | 5  | 477,008,861   | 8.3%  | 5  | 483,903,652   | 8.0%  | 6  |
| VI. 神経系の疾患                              | 423,552,021   | 7.4%  | 6  | 490,580,351   | 8.5%  | 4  | 511,129,408   | 8.5%  | 4  |
| VII. 眼及び付属器の疾患                          | 204,890,796   | 3.6%  | 10 | 208,232,748   | 3.6%  | 10 | 221,905,072   | 3.7%  | 10 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患                        | 19,571,793    | 0.3%  | 16 | 19,351,133    | 0.3%  | 16 | 24,430,997    | 0.4%  | 16 |
| IX. 循環器系の疾患                             | 910,520,588   | 16.0% | 1  | 873,088,995   | 15.2% | 2  | 892,037,048   | 14.8% | 2  |
| X. 呼吸器系の疾患                              | 323,798,730   | 5.7%  | 9  | 314,678,943   | 5.5%  | 9  | 306,288,284   | 5.1%  | 9  |
| X I. 消化器系の疾患 ※                          | 416,709,259   | 7.3%  | 7  | 435,376,509   | 7.6%  | 7  | 439,897,458   | 7.3%  | 7  |
| X II. 皮膚及び皮下組織の疾患                       | 117,453,138   | 2.1%  | 13 | 115,974,869   | 2.0%  | 13 | 121,856,584   | 2.0%  | 13 |
| X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患                    | 473,663,223   | 8.3%  | 4  | 464,503,019   | 8.1%  | 6  | 501,913,460   | 8.3%  | 5  |
| X IV. 腎尿路生殖器系の疾患                        | 378,859,654   | 6.7%  | 8  | 378,229,051   | 6.6%  | 8  | 386,781,890   | 6.4%  | 8  |
| X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※                      | 15,229,625    | 0.3%  | 19 | 7,040,435     | 0.1%  | 20 | 11,356,280    | 0.2%  | 20 |
| X VI. 周産期に発生した病態 ※                      | 16,933,672    | 0.3%  | 18 | 14,702,995    | 0.3%  | 18 | 14,065,295    | 0.2%  | 18 |
| X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常                   | 8,454,883     | 0.1%  | 20 | 7,778,357     | 0.1%  | 19 | 11,975,896    | 0.2%  | 19 |
| X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 79,341,863    | 1.4%  | 14 | 97,130,696    | 1.7%  | 14 | 84,171,187    | 1.4%  | 14 |
| X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  | 149,048,937   | 2.6%  | 12 | 181,510,663   | 3.1%  | 12 | 164,025,656   | 2.7%  | 11 |
| X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用         | 18,053,080    | 0.3%  | 17 | 17,645,794    | 0.3%  | 17 | 16,884,466    | 0.3%  | 17 |
| X X II. 特殊目的用コード                        | 0             | 0.0%  |    | 0             | 0.0%  |    | 0             | 0.0%  |    |
| 分類外                                     | 1,059,573     | 0.0%  | 21 | 818,928       | 0.0%  | 21 | 228,637       | 0.0%  | 21 |
| 合計                                      | 5,690,927,320 |       |    | 5,762,466,240 |       |    | 6,044,596,070 |       |    |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日… 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

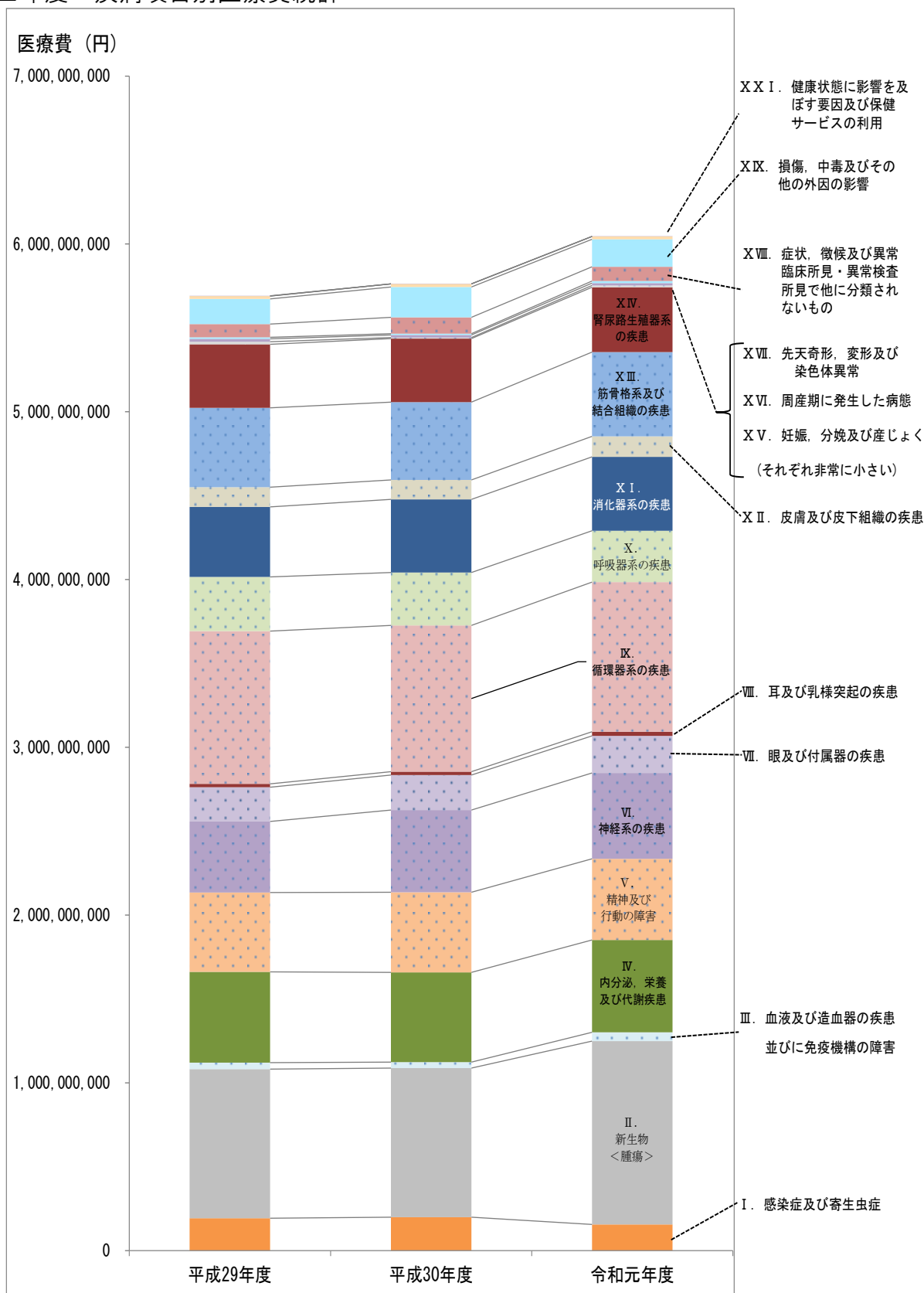
※ 医療費… 大分類の疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※ 消化器系の疾患… 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※ 妊娠、分娩及び産じょく… 乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※ 周産期に発生した病態… ABO 因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期（妊娠 22 週から出生後 7 日未満）以外においても医療費が発生する可能性がある。

■年度 疾病項目別医療費統計



データ化範囲 (分析対象) … 入院 (DPC を含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (36 か月分)。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

医療費 … 大分類の疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない (画像レセプト、月遅れ等) 場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患 … 歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ② 中分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）に発生しているレセプトから、疾病中分類ごとに集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費について、各項目の上位10疾病を示す。

### ■中分類による疾病別統計（医療費上位10疾病）

| 順位 | 疾病分類（中分類） |                       | 医療費 ※<br>(円) | 構成比<br>(医療費総計全体に対して占める割合) | 患者数<br>(人) |
|----|-----------|-----------------------|--------------|---------------------------|------------|
| 1  | 0210      | その他の悪性新生物<腫瘍>         | 435,400,958  | 7.2%                      | 2,345      |
| 2  | 0606      | その他の神経系の疾患            | 319,391,513  | 5.3%                      | 3,714      |
| 3  | 0402      | 糖尿病                   | 290,604,266  | 4.8%                      | 5,257      |
| 4  | 0901      | 高血圧性疾患                | 284,885,014  | 4.7%                      | 6,438      |
| 5  | 1402      | 腎不全                   | 271,016,152  | 4.5%                      | 368        |
| 6  | 0503      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 258,981,341  | 4.3%                      | 723        |
| 7  | 0903      | その他の心疾患               | 256,589,267  | 4.2%                      | 2,299      |
| 8  | 1113      | その他の消化器系の疾患           | 254,239,918  | 4.2%                      | 5,561      |
| 9  | 0403      | 脂質異常症                 | 170,317,624  | 2.8%                      | 4,898      |
| 10 | 0205      | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>   | 160,269,882  | 2.7%                      | 747        |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費… 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### ■中分類による疾病別統計（患者数上位10疾病）

| 順位 | 疾病分類（中分類） |                                 | 医療費<br>(円)  | 患者数 ※<br>(人) | 構成比<br>(患者数全体に対して占める割合) |
|----|-----------|---------------------------------|-------------|--------------|-------------------------|
| 1  | 0901      | 高血圧性疾患                          | 284,885,014 | 6,438        | 39.9%                   |
| 2  | 1113      | その他の消化器系の疾患                     | 254,239,918 | 5,561        | 34.4%                   |
| 3  | 0402      | 糖尿病                             | 290,604,266 | 5,257        | 32.5%                   |
| 4  | 1800      | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 84,171,187  | 5,109        | 31.6%                   |
| 5  | 1105      | 胃炎及び十二指腸炎                       | 60,510,595  | 5,038        | 31.2%                   |
| 6  | 0403      | 脂質異常症                           | 170,317,624 | 4,898        | 30.3%                   |
| 7  | 0703      | 屈折及び調節の障害                       | 16,140,471  | 4,108        | 25.4%                   |
| 8  | 0704      | その他の眼及び付属器の疾患                   | 125,759,017 | 3,884        | 24.0%                   |
| 9  | 0606      | その他の神経系の疾患                      | 319,391,513 | 3,714        | 23.0%                   |
| 10 | 1202      | 皮膚炎及び湿疹                         | 50,151,129  | 3,697        | 22.9%                   |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 患者数… 中分類における疾病項目ごとに集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。



■中分類による疾病別統計（患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病）

| 順位 | 疾病分類（中分類） |                         | 医療費 ※<br>(円) | 患者数<br>(人) | 患者一人当たりの<br>医療費<br>(円) |
|----|-----------|-------------------------|--------------|------------|------------------------|
| 1  | 0209      | 白血病                     | 36,101,424   | 36         | 1,002,817              |
| 2  | 1402      | 腎不全                     | 271,016,152  | 368        | 736,457                |
| 3  | 0604      | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群        | 57,119,569   | 100        | 571,196                |
| 4  | 0904      | くも膜下出血                  | 29,616,998   | 56         | 528,875                |
| 5  | 1602      | その他の周産期に発生した病態          | 7,190,958    | 17         | 422,998                |
| 6  | 1601      | 妊娠及び胎児発育に関連する障害         | 6,874,337    | 19         | 361,807                |
| 7  | 0503      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害   | 258,981,341  | 723        | 358,204                |
| 8  | 0203      | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 51,850,981   | 188        | 275,803                |
| 9  | 0501      | 血管性及び詳細不明の認知症           | 17,524,735   | 66         | 265,526                |
| 10 | 0208      | 悪性リンパ腫                  | 33,966,337   | 158        | 214,977                |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費… 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成 29 年度から令和元年度に発生しているレセプトから、疾病中分類ごとに集計し、医療費上位 10 疾病を年度別に示す。

中分類による疾病別統計では、生活習慣病である「高血圧性疾患」「糖尿病」が常に上位である。

■年度別 中分類による疾病別統計（医療費上位 10 疾病）

| 年度       | 順位 | 疾病分類（中分類）                  | 医療費 ※<br>(円) | 構成比<br>(医療費総計全体に<br>対して占める割合) | 患者数 ※<br>(人) |
|----------|----|----------------------------|--------------|-------------------------------|--------------|
| 平成 29 年度 | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>         | 329,334,671  | 5.8%                          | 2,178        |
|          | 2  | 0901 高血圧性疾患                | 328,785,373  | 5.8%                          | 6,395        |
|          | 3  | 0402 糖尿病                   | 277,888,576  | 4.9%                          | 4,964        |
|          | 4  | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 265,514,570  | 4.7%                          | 679          |
|          | 5  | 0606 その他の神経系の疾患            | 250,304,772  | 4.4%                          | 3,718        |
|          | 6  | 1402 腎不全                   | 249,414,480  | 4.4%                          | 351          |
|          | 7  | 1113 その他の消化器系の疾患           | 236,608,544  | 4.2%                          | 5,643        |
|          | 8  | 0903 その他の心疾患               | 221,901,877  | 3.9%                          | 2,150        |
|          | 9  | 0403 脂質異常症                 | 186,270,647  | 3.3%                          | 4,733        |
|          | 10 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患         | 116,773,770  | 2.1%                          | 3,708        |
| 平成 30 年度 | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>         | 365,014,220  | 6.3%                          | 2,297        |
|          | 2  | 0901 高血圧性疾患                | 294,431,721  | 5.1%                          | 6,511        |
|          | 3  | 0606 その他の神経系の疾患            | 292,600,996  | 5.1%                          | 3,793        |
|          | 4  | 0402 糖尿病                   | 284,146,605  | 4.9%                          | 5,174        |
|          | 5  | 1402 腎不全                   | 257,887,393  | 4.5%                          | 357          |
|          | 6  | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 257,183,083  | 4.5%                          | 702          |
|          | 7  | 1113 その他の消化器系の疾患           | 246,065,549  | 4.3%                          | 5,632        |
|          | 8  | 0903 その他の心疾患               | 207,409,621  | 3.6%                          | 2,304        |
|          | 9  | 0403 脂質異常症                 | 167,983,733  | 2.9%                          | 4,875        |
|          | 10 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患         | 115,558,796  | 2.0%                          | 3,840        |
| 令和元年度    | 1  | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>         | 435,400,958  | 7.2%                          | 2,345        |
|          | 2  | 0606 その他の神経系の疾患            | 319,391,513  | 5.3%                          | 3,714        |
|          | 3  | 0402 糖尿病                   | 290,604,266  | 4.8%                          | 5,257        |
|          | 4  | 0901 高血圧性疾患                | 284,885,014  | 4.7%                          | 6,438        |
|          | 5  | 1402 腎不全                   | 271,016,152  | 4.5%                          | 368          |
|          | 6  | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 258,981,341  | 4.3%                          | 723          |
|          | 7  | 0903 その他の心疾患               | 256,589,267  | 4.2%                          | 2,299        |
|          | 8  | 1113 その他の消化器系の疾患           | 254,239,918  | 4.2%                          | 5,561        |
|          | 9  | 0403 脂質異常症                 | 170,317,624  | 2.8%                          | 4,898        |
|          | 10 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>   | 160,269,882  | 2.7%                          | 747          |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※ 患者数 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。

患者数上位 10 疾病を年度別に示す。

患者数ごとに中分類疾病統計をみると、「高血圧性疾患」が常に 1 位であり、患者数全体の約 4 割を占め、年々割合が増加している。また、常に「その他の消化器系の疾患」や「胃炎及び十二指腸炎」による患者数が多い。

■年度別 中分類による疾病別統計（患者数上位 10 疾病）

| 年度       | 順位 | 疾病分類（中分類）                            | 患者数 ※<br>（人） | 構成比<br>（患者数全体に<br>対して占める割合） | 医療費 ※<br>（円） |
|----------|----|--------------------------------------|--------------|-----------------------------|--------------|
| 平成 29 年度 | 1  | 0901 高血圧性疾患                          | 6,395        | 37.6%                       | 328,785,373  |
|          | 2  | 1113 その他の消化器系の疾患                     | 5,643        | 33.1%                       | 236,608,544  |
|          | 3  | 1105 胃炎及び十二指腸炎                       | 5,250        | 30.8%                       | 63,763,277   |
|          | 4  | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 5,176        | 30.4%                       | 79,341,863   |
|          | 5  | 0402 糖尿病                             | 4,964        | 29.1%                       | 277,888,576  |
|          | 6  | 0403 脂質異常症                           | 4,733        | 27.8%                       | 186,270,647  |
|          | 7  | 0703 屈折及び調節の障害                       | 4,111        | 24.1%                       | 16,728,947   |
|          | 8  | 1202 皮膚炎及び湿疹                         | 3,767        | 22.1%                       | 48,548,558   |
|          | 9  | 0606 その他の神経系の疾患                      | 3,718        | 21.8%                       | 250,304,772  |
|          | 10 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患                   | 3,708        | 21.8%                       | 116,773,770  |
| 平成 30 年度 | 1  | 0901 高血圧性疾患                          | 6,511        | 38.7%                       | 294,431,721  |
|          | 2  | 1113 その他の消化器系の疾患                     | 5,632        | 33.5%                       | 246,065,549  |
|          | 3  | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 5,316        | 31.6%                       | 97,130,696   |
|          | 4  | 1105 胃炎及び十二指腸炎                       | 5,247        | 31.2%                       | 61,278,464   |
|          | 5  | 0402 糖尿病                             | 5,174        | 30.8%                       | 284,146,605  |
|          | 6  | 0403 脂質異常症                           | 4,875        | 29.0%                       | 167,983,733  |
|          | 7  | 0703 屈折及び調節の障害                       | 4,161        | 24.8%                       | 16,514,108   |
|          | 8  | 0704 その他の眼及び付属器の疾患                   | 3,840        | 22.8%                       | 115,558,796  |
|          | 9  | 0606 その他の神経系の疾患                      | 3,793        | 22.6%                       | 292,600,996  |
|          | 10 | 1202 皮膚炎及び湿疹                         | 3,792        | 22.6%                       | 50,094,507   |
| 令和元年度    | 1  | 0901 高血圧性疾患                          | 6,438        | 39.9%                       | 284,885,014  |
|          | 2  | 1113 その他の消化器系の疾患                     | 5,561        | 34.4%                       | 254,239,918  |
|          | 3  | 0402 糖尿病                             | 5,257        | 32.5%                       | 290,604,266  |
|          | 4  | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 5,109        | 31.6%                       | 84,171,187   |
|          | 5  | 1105 胃炎及び十二指腸炎                       | 5,038        | 31.2%                       | 60,510,595   |
|          | 6  | 0403 脂質異常症                           | 4,898        | 30.3%                       | 170,317,624  |
|          | 7  | 0703 屈折及び調節の障害                       | 4,108        | 25.4%                       | 16,140,471   |
|          | 8  | 0704 その他の眼及び付属器の疾患                   | 3,884        | 24.0%                       | 125,759,017  |
|          | 9  | 0606 その他の神経系の疾患                      | 3,714        | 23.0%                       | 319,391,513  |
|          | 10 | 1202 皮膚炎及び湿疹                         | 3,697        | 22.9%                       | 50,151,129   |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。  
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※ 患者数 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。

患者一人当たりの医療費上位 10 疾病を年度別に示す。

一人当たりの医療費 2 位の「腎不全」は、患者数が毎年度 350 人程度と多い。また、一人当たりの医療費が高額な上位 10 疾病のうち、最も患者数が多い疾病は「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」である。

■年度別 中分類による疾病別統計（患者一人当たりの医療費が高額な上位 10 疾病）

| 年度       | 順位 | 疾病分類（中分類） |                           | 患者一人当たりの医療費<br>(円) | 患者数 ※<br>(人) | 医療費 ※<br>(円) |
|----------|----|-----------|---------------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 平成 29 年度 | 1  | 0209      | 白血病                       | 1,525,575          | 30           | 45,767,260   |
|          | 2  | 1402      | 腎不全                       | 710,583            | 351          | 249,414,480  |
|          | 3  | 1601      | 妊娠及び胎児発育に関連する障害           | 671,015            | 19           | 12,749,294   |
|          | 4  | 0604      | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群          | 640,740            | 94           | 60,229,586   |
|          | 5  | 0503      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害     | 391,038            | 679          | 265,514,570  |
|          | 6  | 0905      | 脳内出血                      | 251,100            | 191          | 47,960,086   |
|          | 7  | 0203      | 直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 232,697            | 175          | 40,722,014   |
|          | 8  | 0208      | 悪性リンパ腫                    | 228,788            | 121          | 27,683,378   |
|          | 9  | 0904      | くも膜下出血                    | 207,398            | 47           | 9,747,726    |
|          | 10 | 0602      | アルツハイマー病                  | 198,492            | 87           | 17,268,768   |
| 平成 30 年度 | 1  | 0209      | 白血病                       | 734,323            | 38           | 27,904,271   |
|          | 2  | 1402      | 腎不全                       | 722,374            | 357          | 257,887,393  |
|          | 3  | 0604      | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群          | 652,922            | 103          | 67,251,009   |
|          | 4  | 0904      | くも膜下出血                    | 577,034            | 51           | 29,428,743   |
|          | 5  | 1601      | 妊娠及び胎児発育に関連する障害           | 504,936            | 23           | 11,613,527   |
|          | 6  | 0503      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害     | 366,358            | 702          | 257,183,083  |
|          | 7  | 0203      | 直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 287,757            | 167          | 48,055,337   |
|          | 8  | 0905      | 脳内出血                      | 227,521            | 164          | 37,313,495   |
|          | 9  | 1602      | その他の周産期に発生した病態            | 220,676            | 14           | 3,089,468    |
|          | 10 | 0601      | パーキンソン病                   | 212,892            | 122          | 25,972,834   |
| 令和元年度    | 1  | 0209      | 白血病                       | 1,002,817          | 36           | 36,101,424   |
|          | 2  | 1402      | 腎不全                       | 736,457            | 368          | 271,016,152  |
|          | 3  | 0604      | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群          | 571,196            | 100          | 57,119,569   |
|          | 4  | 0904      | くも膜下出血                    | 528,875            | 56           | 29,616,998   |
|          | 5  | 1602      | その他の周産期に発生した病態            | 422,998            | 17           | 7,190,958    |
|          | 6  | 1601      | 妊娠及び胎児発育に関連する障害           | 361,807            | 19           | 6,874,337    |
|          | 7  | 0503      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害     | 358,204            | 723          | 258,981,341  |
|          | 8  | 0203      | 直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 275,803            | 188          | 51,850,981   |
|          | 9  | 0501      | 血管性及び詳細不明の認知症             | 265,526            | 66           | 17,524,735   |
|          | 10 | 0208      | 悪性リンパ腫                    | 214,977            | 158          | 33,966,337   |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 医療費 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※ 患者数 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。

#### (4) 生活習慣病に係る医療費

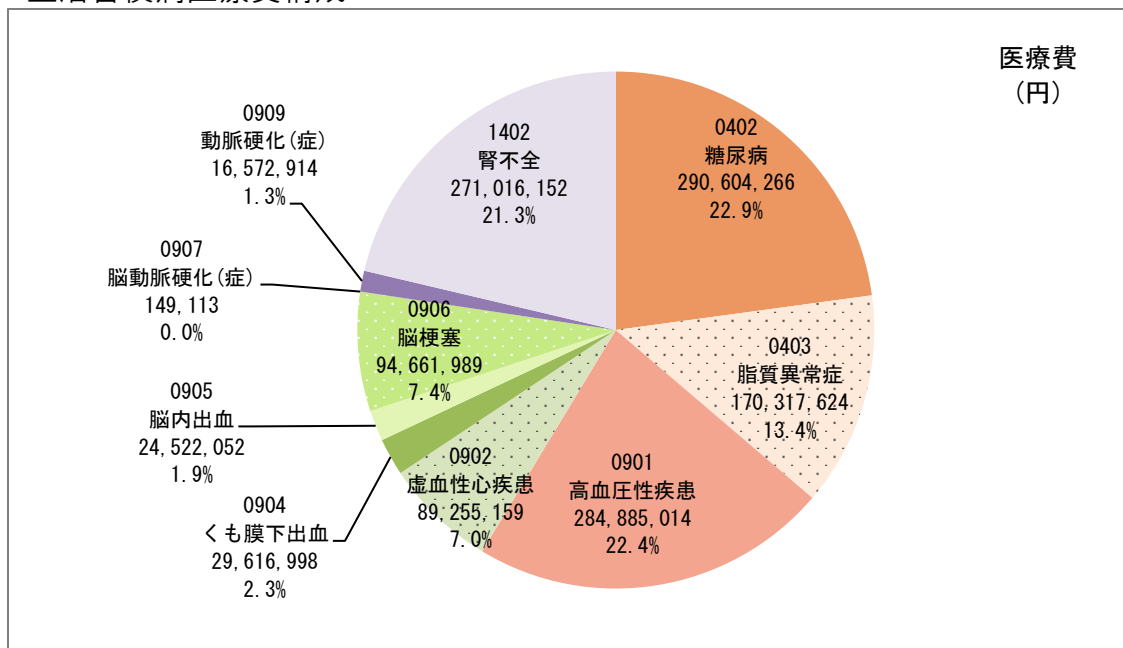
平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）に発生しているレセプトから、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。

糖尿病医療費は2億9,060万円、脂質異常症医療費は1億7,032万円、高血圧性疾患医療費は2億8,489万円となっている。有病率は、高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症の順で高い。また、有病率7位の腎不全は、医療費2億7,102万円（医療費構成比21.3%）と高く、患者一人当たりの医療費が最も高い疾病である。

#### ■生活習慣病医療費

| 疾病分類（中分類）     | 医療費<br>(円)    | 構成比   | 順位 | 患者数<br>(人) | 有病率<br>※ | 順位 | 患者一人当たりの<br>医療費(円) | 順位 |
|---------------|---------------|-------|----|------------|----------|----|--------------------|----|
| 0402 糖尿病      | 290,604,266   | 22.9% | 1  | 5,257      | 25.5%    | 2  | 55,279             | 6  |
| 0403 脂質異常症    | 170,317,624   | 13.4% | 4  | 4,898      | 23.8%    | 3  | 34,773             | 9  |
| 0901 高血圧性疾患   | 284,885,014   | 22.4% | 2  | 6,438      | 31.3%    | 1  | 44,251             | 7  |
| 0902 虚血性心疾患   | 89,255,159    | 7.0%  | 6  | 1,476      | 7.2%     | 4  | 60,471             | 5  |
| 0904 くも膜下出血   | 29,616,998    | 2.3%  | 7  | 56         | 0.3%     | 9  | 528,875            | 2  |
| 0905 脳内出血     | 24,522,052    | 1.9%  | 8  | 170        | 0.8%     | 8  | 144,247            | 3  |
| 0906 脳梗塞      | 94,661,989    | 7.4%  | 5  | 889        | 4.3%     | 5  | 106,481            | 4  |
| 0907 脳動脈硬化(症) | 149,113       | 0.0%  | 10 | 5          | 0.0%     | 10 | 29,823             | 10 |
| 0909 動脈硬化(症)  | 16,572,914    | 1.3%  | 9  | 475        | 2.3%     | 6  | 34,890             | 8  |
| 1402 腎不全      | 271,016,152   | 21.3% | 3  | 368        | 1.8%     | 7  | 736,457            | 1  |
| 合計            | 1,271,601,281 |       |    | 9,497      | 46.1%    |    | 133,895            |    |

#### ■生活習慣病医療費構成



データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。  
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 有病率… 被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病… 厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き（第3版）」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き（第2版）」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

また、平成 29 年度から令和元年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。

令和元年度を平成 29 年度と比較すると、糖尿病医療費 2 億 9,060 万円は、平成 29 年度 2 億 7,789 万円より 1,271 万円増加している。また、脂質異常症医療費 1 億 7,032 万円は、平成 29 年度 1 億 8,627 万円より 1,595 万円減少している。高血圧性疾患医療費 2 億 8,489 万円は、平成 29 年度 3 億 2,879 万円より 4,390 万円減少している。

生活習慣病医療費全体でみると、令和元年度 12 億 7,160 万円は平成 29 年度 13 億 1,180 万円より 4 千万円減少した。

## ■年度別 生活習慣病医療費

| 疾病分類（中分類） |          | 平成 29 年度      |       | 平成 30 年度      |       | 令和元年度         |       |
|-----------|----------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
|           |          | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   | 医療費 ※<br>(円)  | 構成比   |
| 0402      | 糖尿病      | 277,888,576   | 21.2% | 284,146,605   | 22.3% | 290,604,266   | 22.9% |
| 0403      | 脂質異常症    | 186,270,647   | 14.2% | 167,983,733   | 13.2% | 170,317,624   | 13.4% |
| 0901      | 高血圧性疾患   | 328,785,373   | 25.1% | 294,431,721   | 23.1% | 284,885,014   | 22.4% |
| 0902      | 虚血性心疾患   | 110,520,985   | 8.4%  | 110,984,667   | 8.7%  | 89,255,159    | 7.0%  |
| 0904      | くも膜下出血   | 9,747,726     | 0.7%  | 29,428,743    | 2.3%  | 29,616,998    | 2.3%  |
| 0905      | 脳内出血     | 47,960,086    | 3.7%  | 37,313,495    | 2.9%  | 24,522,052    | 1.9%  |
| 0906      | 脳梗塞      | 80,156,675    | 6.1%  | 77,120,131    | 6.0%  | 94,661,989    | 7.4%  |
| 0907      | 脳動脈硬化（症） | 119,534       | 0.0%  | 25,095        | 0.0%  | 149,113       | 0.0%  |
| 0909      | 動脈硬化（症）  | 20,930,933    | 1.6%  | 17,222,625    | 1.3%  | 16,572,914    | 1.3%  |
| 1402      | 腎不全      | 249,414,480   | 19.0% | 257,887,393   | 20.2% | 271,016,152   | 21.3% |
| 合計        |          | 1,311,795,015 |       | 1,276,544,208 |       | 1,271,601,281 |       |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

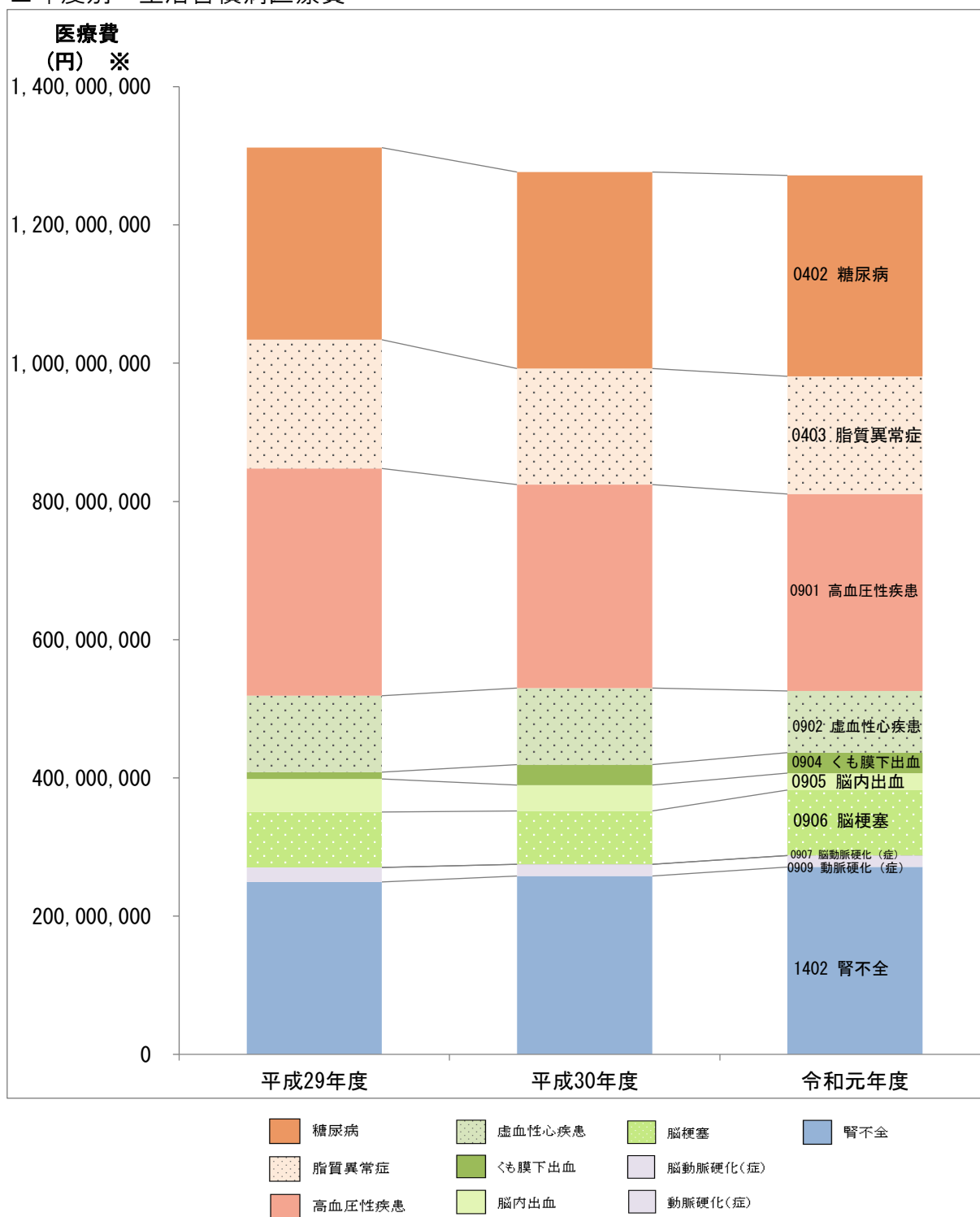
資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

生活習慣病 … 厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き（第 3 版）」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き（第 2 版）」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※ 医療費 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

■年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲 (分析対象) … 入院 (DPC を含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分 (36 か月分)。

資格確認日 … 1 日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

生活習慣病 … 厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第 3 版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第 2 版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※ 医療費 … 中分類における疾病項目ごとに集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない (画像レセプト、月遅れ等) 場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

■ 健診受診別の生活習慣病治療状況（令和元年度）

|        | 人数<br>(人) | 構成比   | 生活習慣病医療費 ※ (円) |             |             |
|--------|-----------|-------|----------------|-------------|-------------|
|        |           |       | 入院             | 入院外         | 合計          |
| 健診受診者  | 6,700     | 48.3% | 2,386,962      | 338,550,494 | 340,937,456 |
| 健診未受診者 | 7,159     | 51.7% | 17,426,542     | 325,693,532 | 343,120,074 |
| 合計     | 13,859    |       | 19,813,504     | 664,244,026 | 684,057,530 |

|        | 生活習慣病患者数 ※ |      |         |       |         |       |
|--------|------------|------|---------|-------|---------|-------|
|        | 入院         |      | 入院外     |       | 合計 ※    |       |
|        | 患者数 (人)    | 割合   | 患者数 (人) | 割合    | 患者数 (人) | 割合    |
| 健診受診者  | 145        | 2.2% | 3,924   | 58.6% | 3,924   | 58.6% |
| 健診未受診者 | 310        | 4.3% | 3,233   | 45.2% | 3,245   | 45.3% |
| 合計     | 455        | 3.3% | 7,157   | 51.6% | 7,169   | 51.7% |

|        | 生活習慣病患者一人当たり医療費 ※ (円) |         |         |
|--------|-----------------------|---------|---------|
|        | 入院                    | 入院外     | 合計      |
| 健診受診者  | 16,462                | 86,277  | 86,885  |
| 健診未受診者 | 56,215                | 100,740 | 105,738 |
| 合計     | 43,546                | 92,810  | 95,419  |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12カ月分）。

データ化範囲（分析対象）… 健診データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12カ月分）。

資格確認日… 令和2年3月31日時点。

年齢範囲… 年齢基準日時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

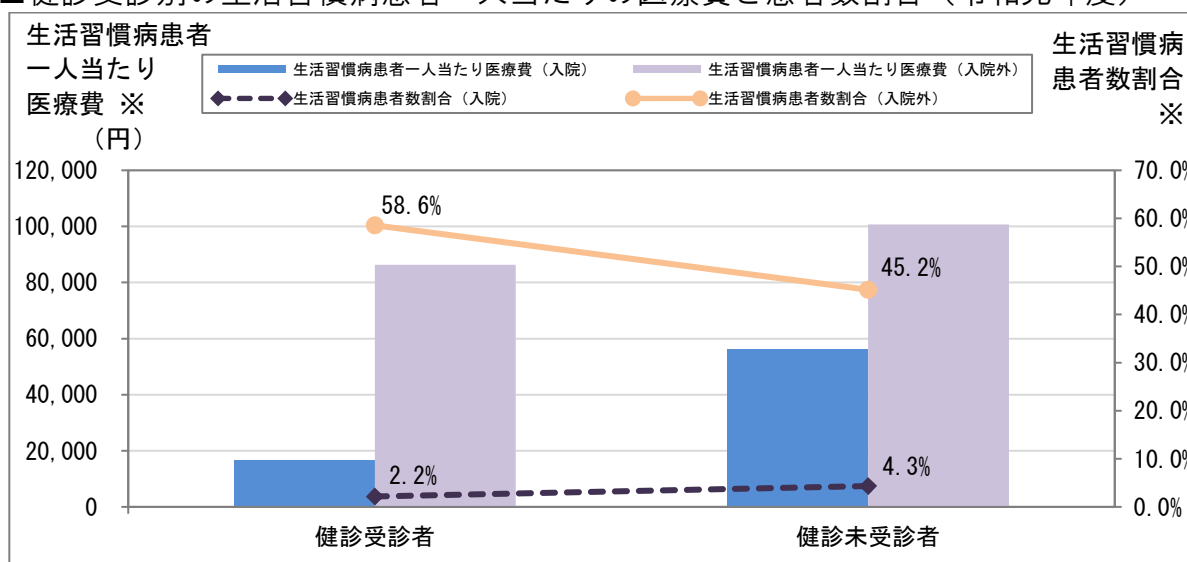
年齢基準日… 令和2年3月31日時点。

※ 生活習慣病医療費… 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※ 生活習慣病患者数… 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※ 生活習慣病患者一人当たり医療費… 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

■ 健診受診別の生活習慣病患者一人当たりの医療費と患者数割合（令和元年度）



データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12カ月分）。

データ化範囲（分析対象）… 健診データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12カ月分）。

資格確認日… 令和2年3月31日時点。

年齢範囲… 年齢基準日時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日… 令和2年3月31日時点。

※ 生活習慣病患者一人当たり医療費… 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

※ 生活習慣病患者数割合… 健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で投薬のあった患者数の割合。



## 5. 保健事業実施に係る分析結果

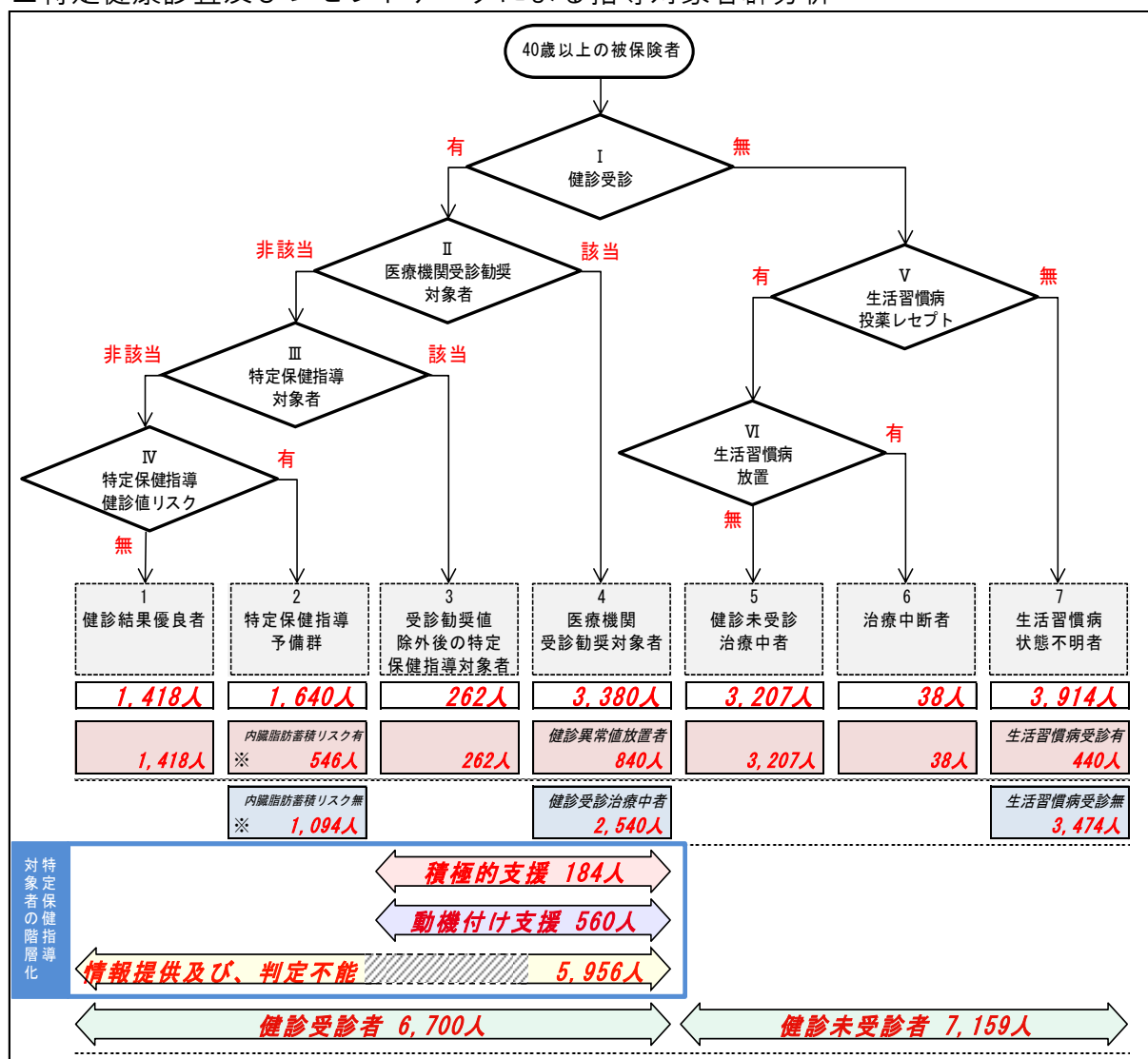
### (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。

40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病に関わるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

#### ■ 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。  
 健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12か月分）。

資格確認日 … 令和2年3月31日時点。

※ 内臓脂肪蓄積リスク … 腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

#### 【フロー説明】

- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値（血糖、血圧、脂質）のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

## (2) 特定健康診査結果分析

特定健康診査受診者の有所見者割合を以下に示す。

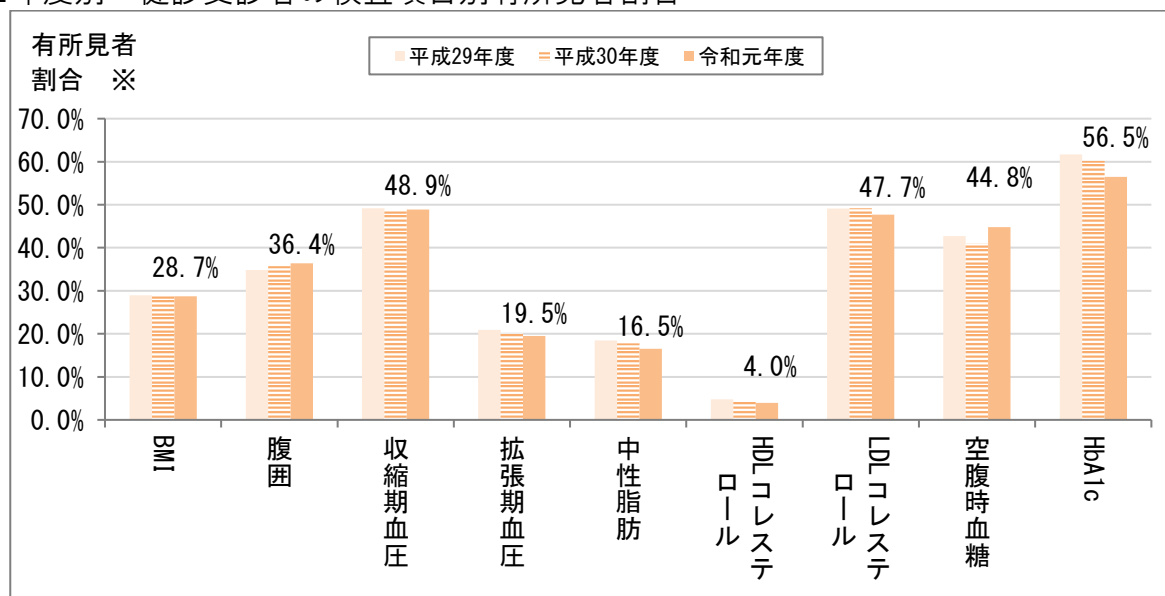
健診受診者の検査項目別有所見者割合を比較すると、HbA1c、空腹時血糖、LDL コレステロール及び収縮期血圧での有所見者が毎年度多い傾向であることがわかる。

HbA1c や空腹時血糖の異常による高血糖状態、LDL コレステロール等の脂質異常又は血圧の高い状態が続くと動脈硬化を引き起こし、心疾患や脳血管疾患の発症につながるため、特定健康診査によりメタボリックシンドローム該当者を早期に発見し、生活習慣の改善に結び付けることが重要である。

### ■ 有所見者割合

|             | 対象者数 ※<br>(人) | 有所見者数 ※<br>(人) | 有所見者割合 ※ |
|-------------|---------------|----------------|----------|
| BMI         | 6,700         | 1,925          | 28.7%    |
| 腹囲          | 6,700         | 2,437          | 36.4%    |
| 収縮期血圧       | 6,700         | 3,273          | 48.9%    |
| 拡張期血圧       | 6,700         | 1,304          | 19.5%    |
| 中性脂肪        | 6,700         | 1,106          | 16.5%    |
| HDL コレステロール | 6,700         | 265            | 4.0%     |
| LDL コレステロール | 6,700         | 3,197          | 47.7%    |
| 空腹時血糖       | 6,438         | 2,882          | 44.8%    |
| HbA1c       | 6,640         | 3,752          | 56.5%    |

### ■ 年度別 健診受診者の検査項目別有所見者割合



データ化範囲(分析対象) … 健診データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

年齢範囲 … 各年度末時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日 … 各年度末時点。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人で、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値 … BMI: 25以上、腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上、  
収縮期血圧: 130mmHg以上、拡張期血圧: 85mmHg以上、中性脂肪: 150mg/dl以上、  
HDL コレステロール: 39mg/dl以下、LDL コレステロール: 120mg/dl以上、  
空腹時血糖値: 100mg/dl以上、HbA1c: 5.6%以上

平成 29 年度から令和元年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

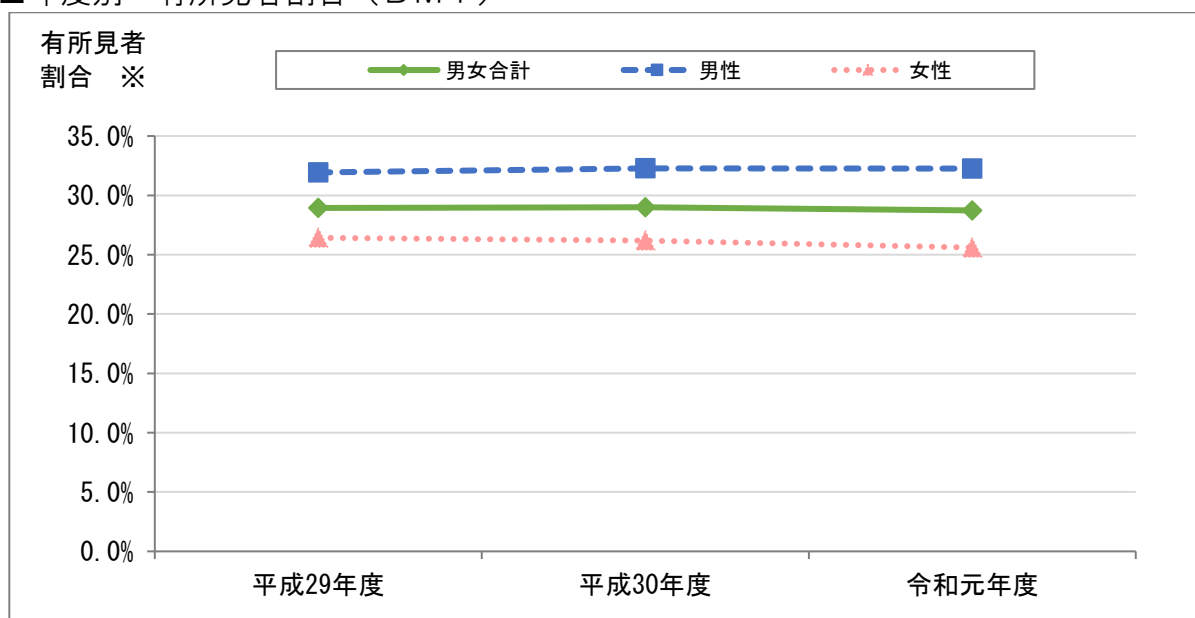
### ① BMI

BMI が基準値を超えている割合は、男女とも受診者全体の 25%以上であり、4 人に 1 人が BMI 有所見であった。

#### ■年度別 有所見者割合 (BMI)

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,124    | 6,956    | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 2,061    | 2,017    | 1,925 |
|      | 有所見者割合 ※    | 28.9%    | 29.0%    | 28.7% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,035    | 1,034    | 1,018 |
|      | 有所見者割合 ※    | 31.9%    | 32.3%    | 32.2% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,883    | 3,752    | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,026    | 983      | 907   |
|      | 有所見者割合 ※    | 26.4%    | 26.2%    | 25.6% |

#### ■年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲 (分析対象) … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (36 か月分)。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 ※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。  
 ※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。  
 ※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
 保健指導判定値により有所見を判定する。  
 BMI : 25 以上

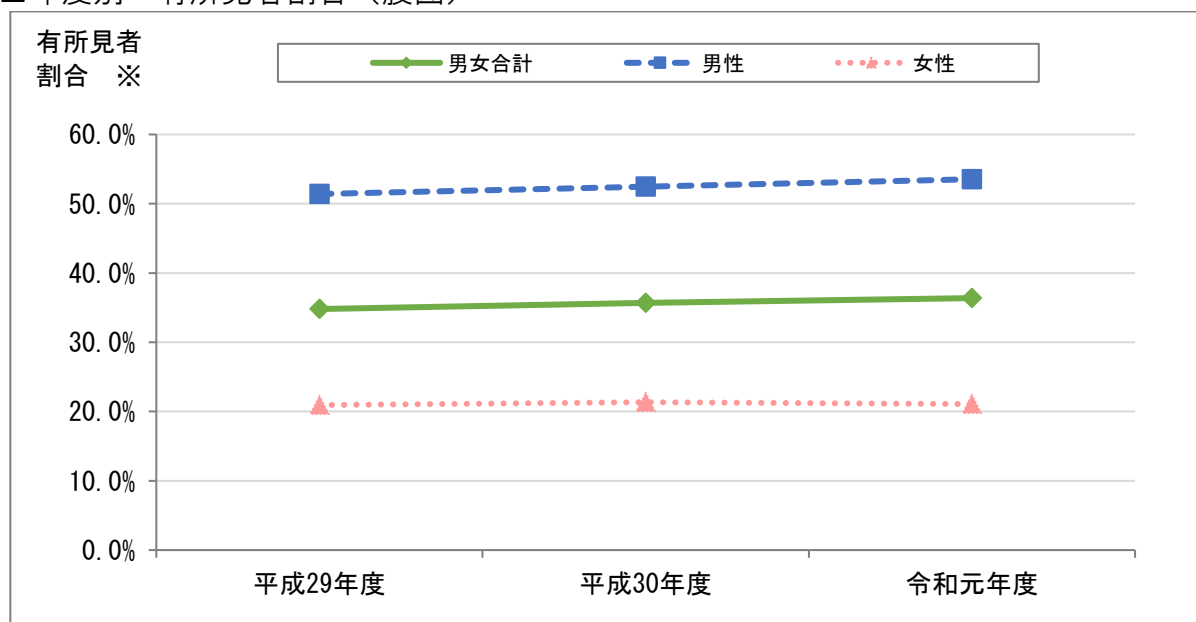
## ② 腹囲

腹囲の有所見者割合は、男性は 50%を超えているが女性は 20%程度と男女差が大きい。

■年度別 有所見者割合（腹囲）

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,124    | 6,956    | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 2,479    | 2,482    | 2,437 |
|      | 有所見者割合 ※    | 34.8%    | 35.7%    | 36.4% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,666    | 1,681    | 1,690 |
|      | 有所見者割合 ※    | 51.4%    | 52.5%    | 53.5% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,883    | 3,752    | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 813      | 801      | 747   |
|      | 有所見者割合 ※    | 20.9%    | 21.3%    | 21.1% |

■年度別 有所見者割合（腹囲）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。

※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲：男性 85cm 以上、女性 90cm 以上

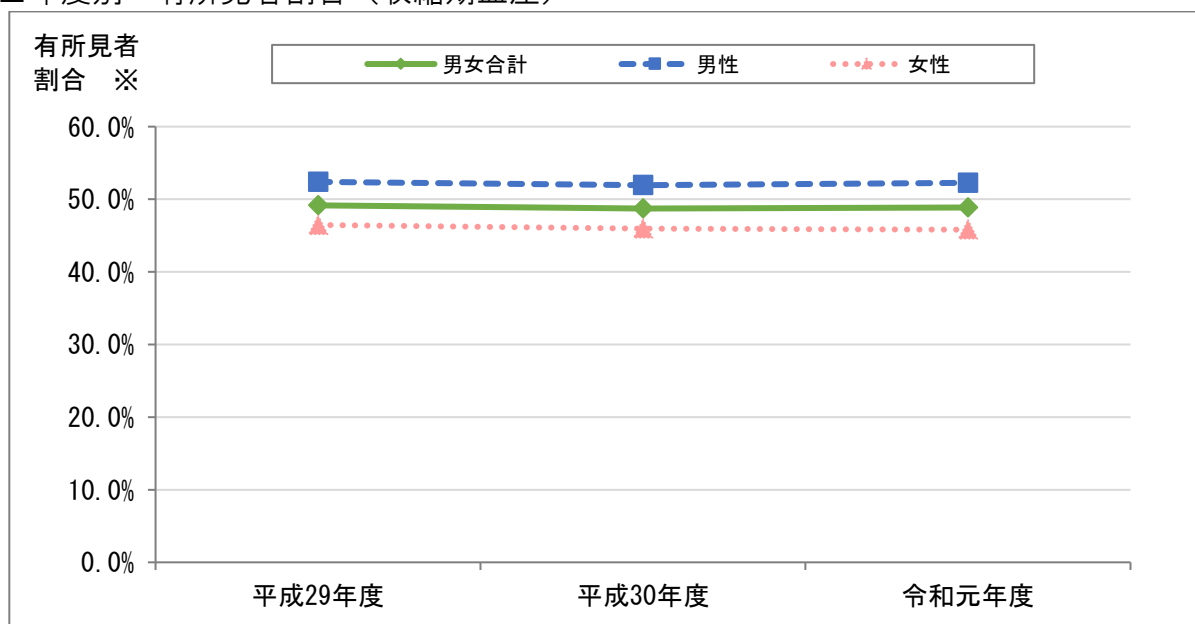
### ③ 血圧

収縮期血圧では、男女とも受診者の約 2 人に 1 人が有所見であるとわかる。

■年度別 有所見者割合（収縮期血圧）

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,124    | 6,956    | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 3,502    | 3,389    | 3,273 |
|      | 有所見者割合 ※    | 49.2%    | 48.7%    | 48.9% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,698    | 1,664    | 1,650 |
|      | 有所見者割合 ※    | 52.4%    | 51.9%    | 52.3% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,883    | 3,752    | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,804    | 1,725    | 1,623 |
|      | 有所見者割合 ※    | 46.5%    | 46.0%    | 45.8% |

■年度別 有所見者割合（収縮期血圧）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。

※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

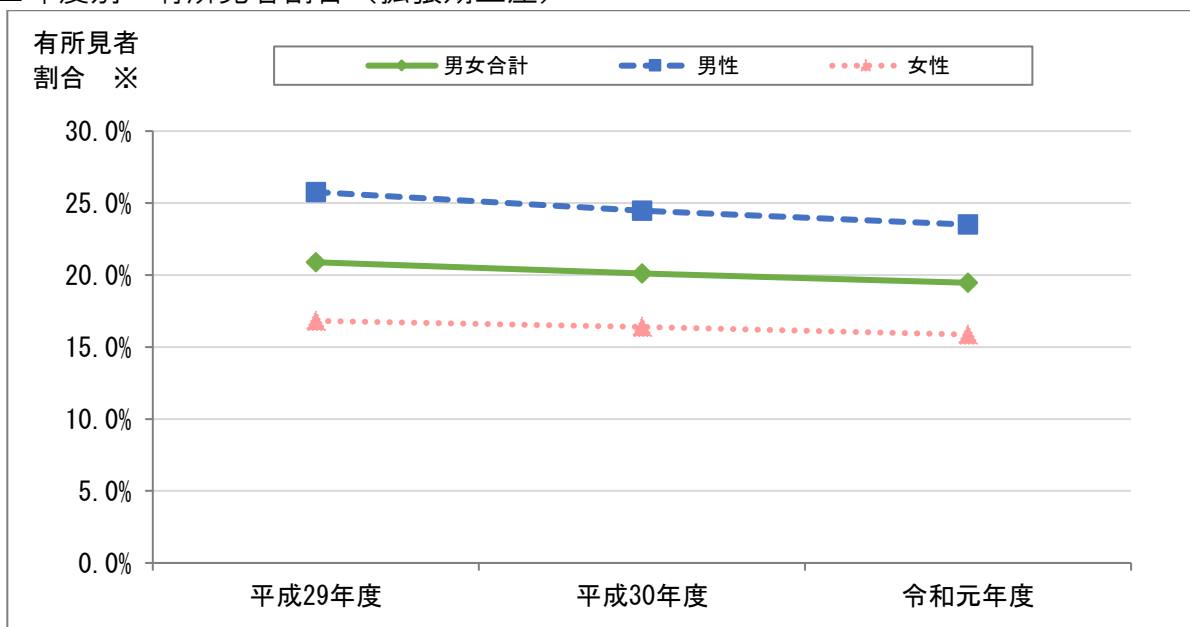
収縮期血圧：130mmHg 以上

拡張期血圧の有所見者割合は、年々減少傾向にあり男女とも同様のことが言える。

■年度別 有所見者割合（拡張期血圧）

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,124    | 6,956    | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,488    | 1,399    | 1,304 |
|      | 有所見者割合 ※    | 20.9%    | 20.1%    | 19.5% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 835      | 784      | 742   |
|      | 有所見者割合 ※    | 25.8%    | 24.5%    | 23.5% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,883    | 3,752    | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 653      | 615      | 562   |
|      | 有所見者割合 ※    | 16.8%    | 16.4%    | 15.9% |

■年度別 有所見者割合（拡張期血圧）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 ※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。  
 ※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。  
 ※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
 保健指導判定値により有所見を判定する。  
 拡張期血圧：85mmHg 以上

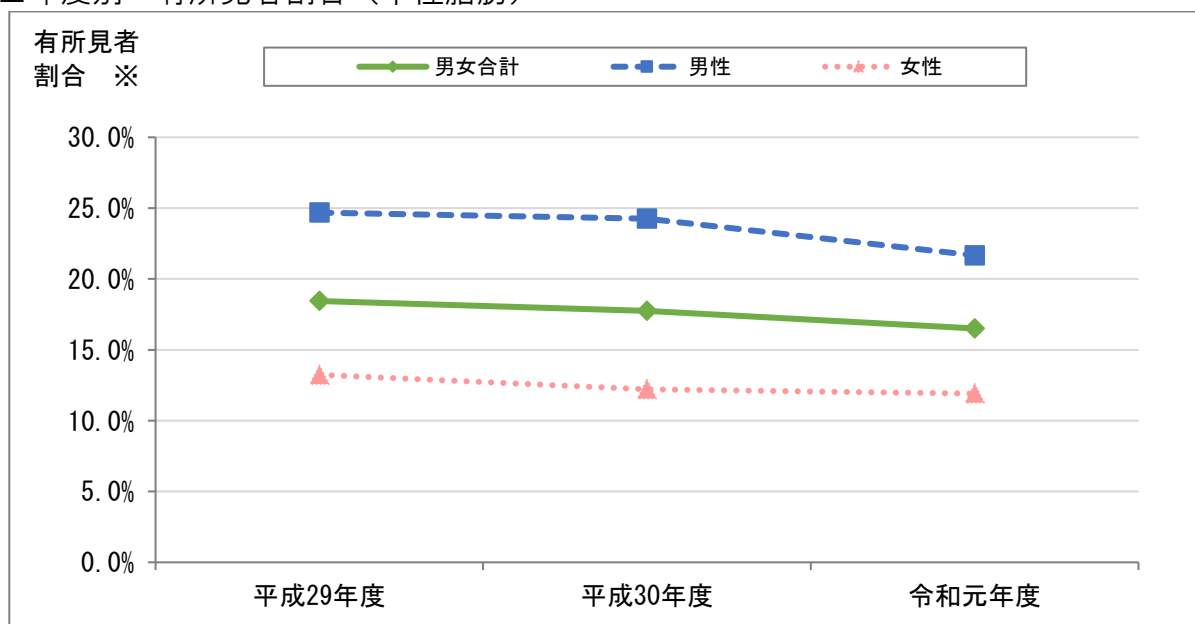
#### ④ 脂質

中性脂肪の有所見者割合は、男女とも年々減少傾向にあり、特に男性は平成29年度24.7%から令和元年度21.7%へ3.0ポイント減少した。

■年度別 有所見者割合（中性脂肪）

|      |             | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|--------|--------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,124  | 6,956  | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,314  | 1,235  | 1,106 |
|      | 有所見者割合 ※    | 18.4%  | 17.8%  | 16.5% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241  | 3,204  | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 800    | 777    | 684   |
|      | 有所見者割合 ※    | 24.7%  | 24.3%  | 21.7% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,883  | 3,752  | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 514    | 458    | 422   |
|      | 有所見者割合 ※    | 13.2%  | 12.2%  | 11.9% |

■年度別 有所見者割合（中性脂肪）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。

※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

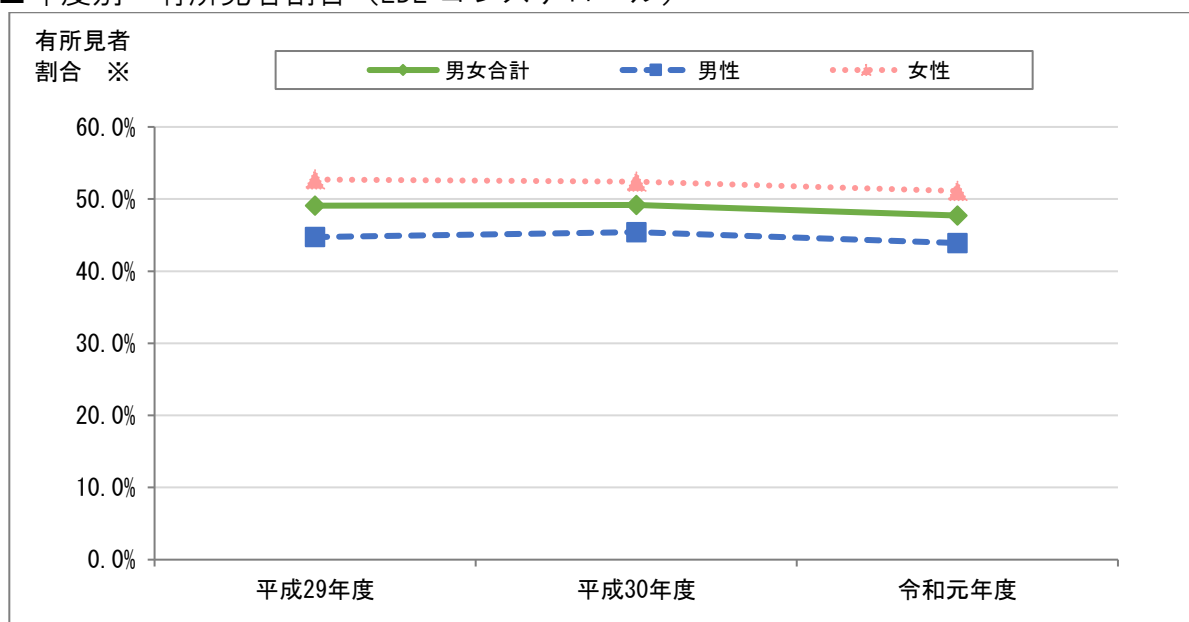
中性脂肪：150mg/dl 以上

LDL コレステロールの有所見者割合は、男性より女性の有所見者割合がやや高いが、男女とも約2人に1人が有所見であるとわかる。

■年度別 有所見者割合 (LDL コレステロール)

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,123    | 6,956    | 6,700 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 3,496    | 3,421    | 3,197 |
|      | 有所見者割合 ※    | 49.1%    | 49.2%    | 47.7% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,450    | 1,455    | 1,386 |
|      | 有所見者割合 ※    | 44.7%    | 45.4%    | 43.9% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,882    | 3,752    | 3,543 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 2,046    | 1,966    | 1,811 |
|      | 有所見者割合 ※    | 52.7%    | 52.4%    | 51.1% |

■年度別 有所見者割合 (LDL コレステロール)



データ化範囲 (分析対象) … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (36 か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。

※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDL コレステロール：120mg/dl 以上



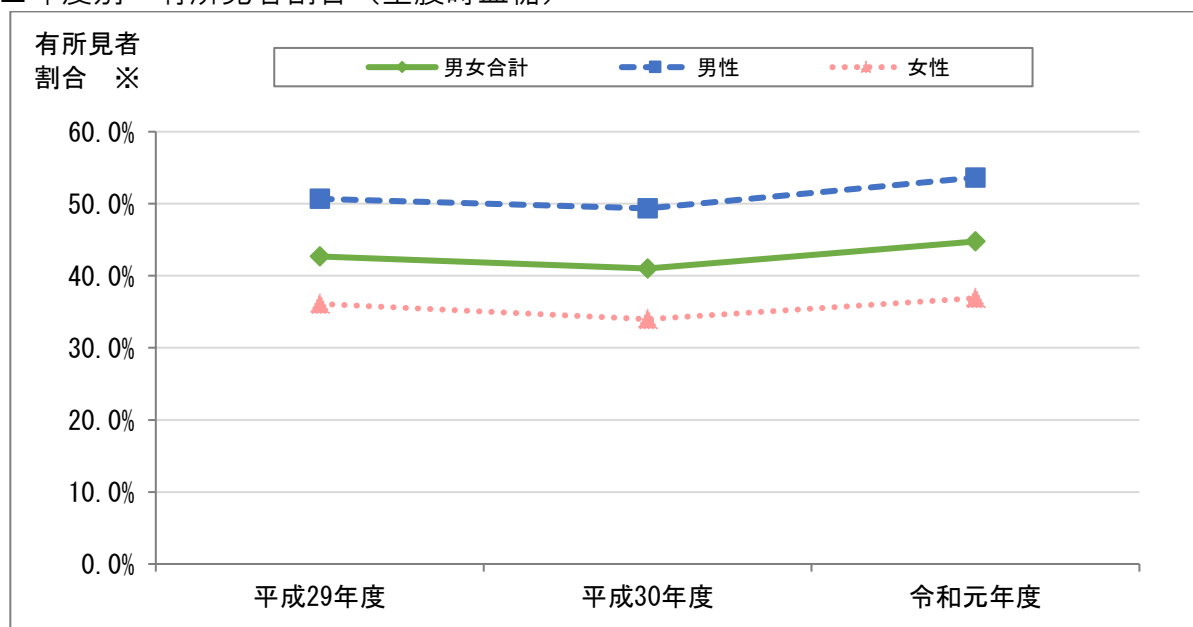
## ⑤ 血糖

空腹時血糖の有所見者数は減少しているものの、有所見者割合は平成 29 年度男性 50.7%、女性 36.1%から、令和元年度男性 53.6%、女性 36.9%へ、男性 2.9ポイント、女性 0.8ポイント増加している。

■年度別 有所見者割合（空腹時血糖）

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 6,839    | 6,666    | 6,438 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 2,919    | 2,734    | 2,882 |
|      | 有所見者割合 ※    | 42.7%    | 41.0%    | 44.8% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,093    | 3,049    | 3,026 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,567    | 1,505    | 1,623 |
|      | 有所見者割合 ※    | 50.7%    | 49.4%    | 53.6% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,746    | 3,617    | 3,412 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,352    | 1,229    | 1,259 |
|      | 有所見者割合 ※    | 36.1%    | 34.0%    | 36.9% |

■年度別 有所見者割合（空腹時血糖）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。

※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。

※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

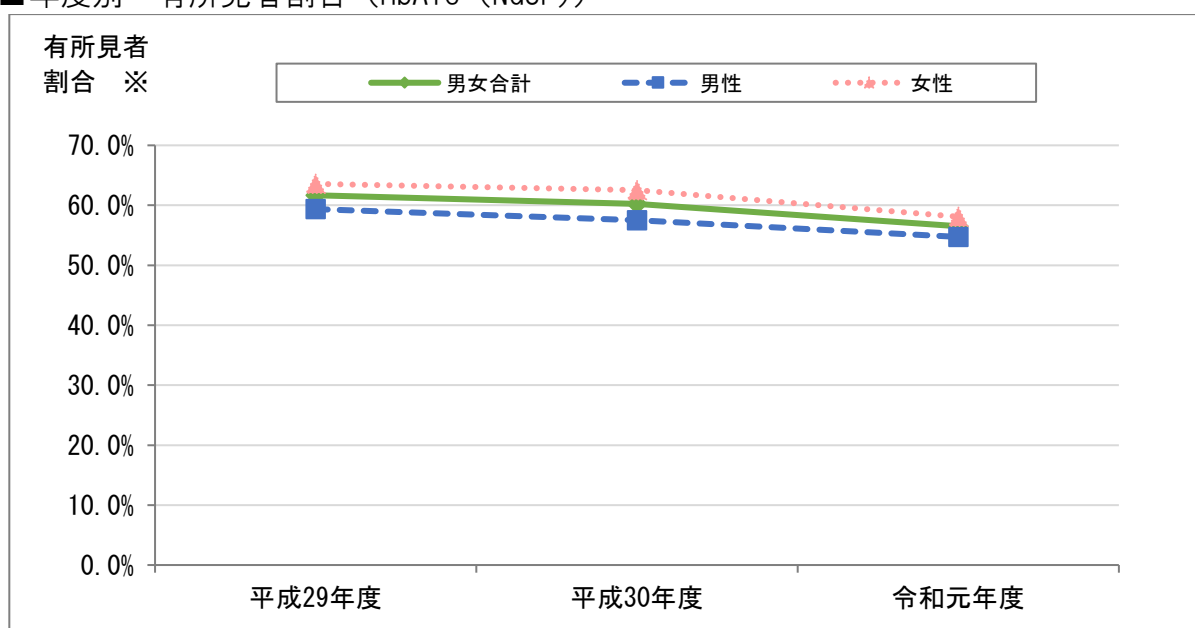
空腹時血糖値：100mg/dl 以上

HbA1c の有所見者割合は年々わずかに減少傾向であるが、男女とも受診者全体の約6割に所見があるとわかる。

■年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

|      |             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|-------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 対象者数 ※ (人)  | 7,049    | 6,924    | 6,640 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 4,347    | 4,169    | 3,752 |
|      | 有所見者割合 ※    | 61.7%    | 60.2%    | 56.5% |
| 男性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,189    | 3,184    | 3,130 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 1,893    | 1,831    | 1,713 |
|      | 有所見者割合 ※    | 59.4%    | 57.5%    | 54.7% |
| 女性   | 対象者数 ※ (人)  | 3,860    | 3,740    | 3,510 |
|      | 有所見者数 ※ (人) | 2,454    | 2,338    | 2,039 |
|      | 有所見者割合 ※    | 63.6%    | 62.5%    | 58.1% |

■年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲 (分析対象) … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (36 か月分)。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 ※ 対象者数 … 健診検査値が記録されている人数。  
 ※ 有所見者数 … 保健指導判定値を超えている人数。  
 ※ 有所見者割合 … 健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
 保健指導判定値により有所見を判定する。  
 HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

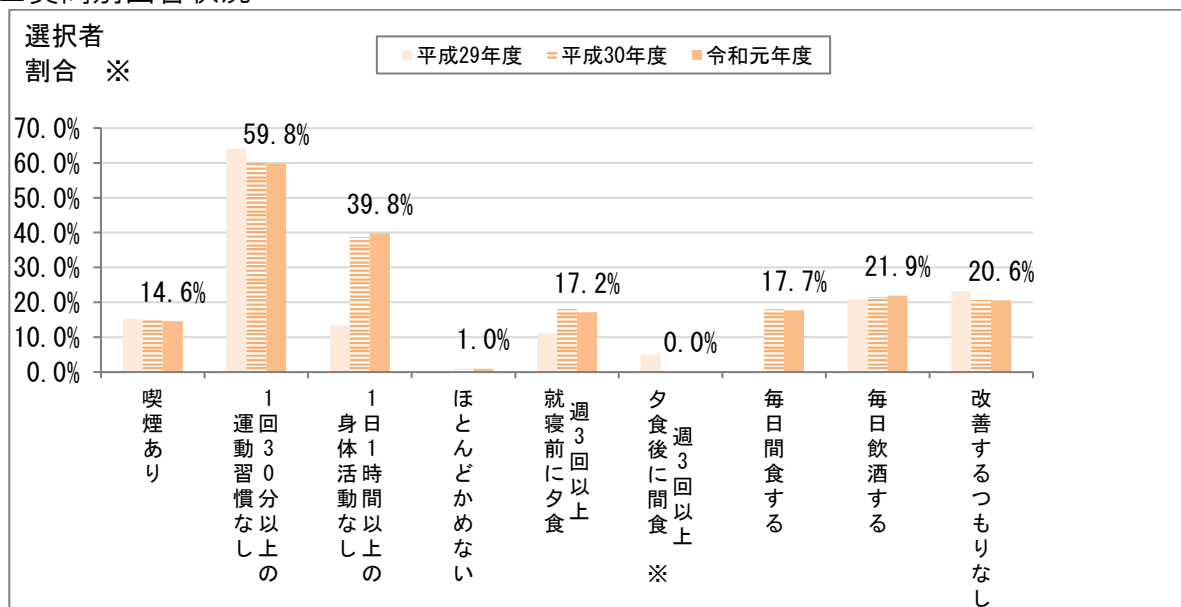
### (3) 特定健康診査質問票に係る分析

特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を示す。

#### ■質問別回答状況

|      |                | 質問回答者数 ※<br>(人) | 選択者数 ※<br>(人) | 選択者割合 ※ |
|------|----------------|-----------------|---------------|---------|
| 喫煙習慣 | 喫煙あり           | 6,700           | 979           | 14.6%   |
| 運動習慣 | 1回30分以上の運動習慣なし | 6,521           | 3,897         | 59.8%   |
|      | 1日1時間以上の身体活動なし | 6,520           | 2,595         | 39.8%   |
| 咀嚼   | ほとんどかめない       | 6,488           | 62            | 1.0%    |
| 食習慣  | 週3回以上就寝前に夕食    | 6,521           | 1,119         | 17.2%   |
|      | 週3回以上夕食後に間食 ※  | 0               | 0             | 0.0%    |
|      | 毎日間食する         | 6,485           | 1,149         | 17.7%   |
| 飲酒習慣 | 毎日飲酒する         | 6,521           | 1,430         | 21.9%   |
| 生活習慣 | 改善するつもりなし      | 6,518           | 1,341         | 20.6%   |

#### ■質問別回答状況



データ化範囲 (分析対象) … 健診データは平成29年4月～令和2年3月健診分 (36か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

年齢範囲 … 年齢基準日時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日 … 各年度末時点。

※選択者割合 … 質問に回答した人で、各質問の選択肢を選択した人の割合。

※週3回以上夕食後に間食 … 平成30年度以降で廃止された質問項目。

喫煙あり … 「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし … 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし … 「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

ほとんどかめない … 「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食 … 「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食 … 「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日間食する … 「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

毎日飲酒する … 「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし … 「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成 29 年度から令和元年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

### ① 喫煙習慣

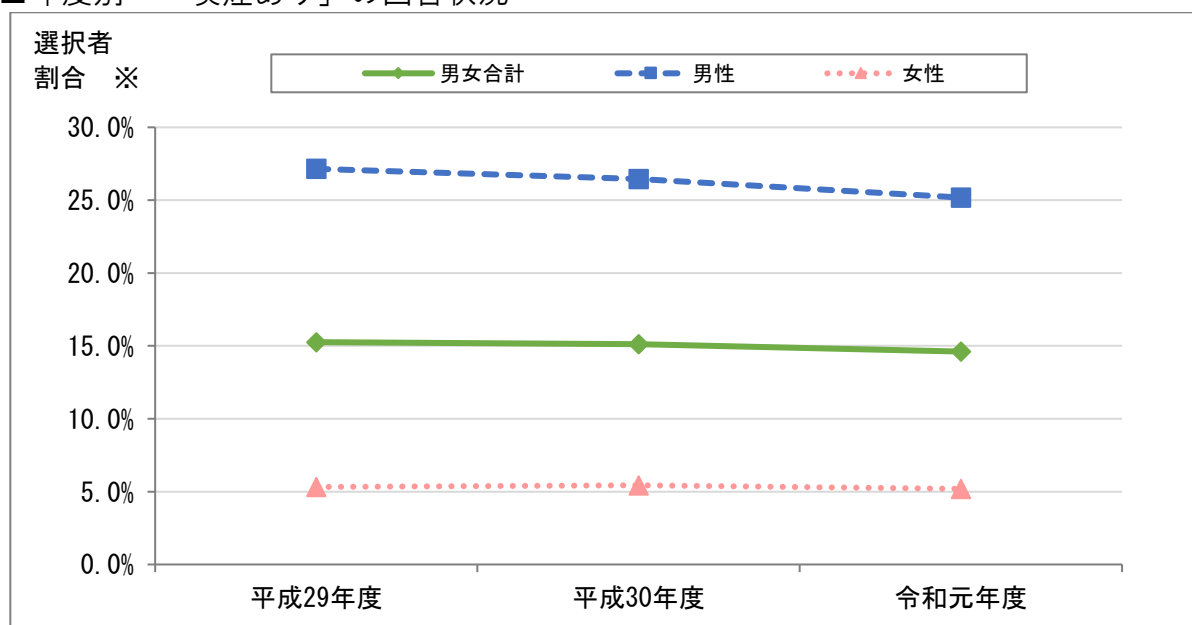
男性の喫煙率は、年々減少傾向にあるが依然として 25% を超えており、一般的に健康意識が高いと言われている健診受診者においても、4 人に 1 人が喫煙者であることがわかる。

年度別比較では、あまり変化がないが男性はわずかに減少傾向が見られる。

#### ■年度別 「喫煙あり」の回答状況

|      |               | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|---------------|----------|----------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数 ※ (人)  | 7,124    | 6,956    | 6,700 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 1,087    | 1,052    | 979   |
|      | 選択者割合※        | 15.3%    | 15.1%    | 14.6% |
| 男性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,241    | 3,204    | 3,157 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 880      | 848      | 795   |
|      | 選択者割合 ※       | 27.2%    | 26.5%    | 25.2% |
| 女性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,883    | 3,752    | 3,543 |
|      | 選択者数(人) ※ (人) | 207      | 204      | 184   |
|      | 選択者割合 ※       | 5.3%     | 5.4%     | 5.2%  |

#### ■年度別 「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲 (分析対象) … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分 (36 か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 質問回答者数 … 喫煙習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数 … 質問の選択肢を選択した人数。

※ 選択者割合 … 喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

喫煙あり … 「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

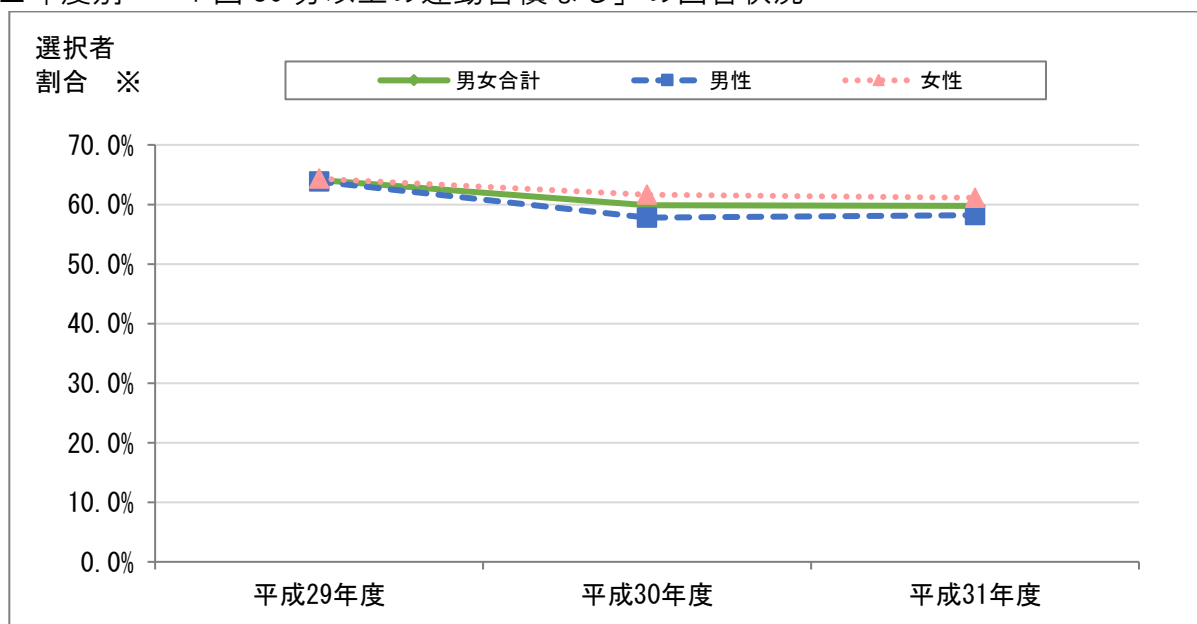
## ② 運動習慣

男女差はなく約6割が「運動習慣なし」と回答している。  
 年度比較では、わずかに減少傾向である。

■年度別 「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

|      |               | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|---------------|--------|--------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数 ※ (人)  | 7,042  | 6,819  | 6,521 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 4,514  | 4,082  | 3,897 |
|      | 選択者割合※        | 64.1%  | 59.9%  | 59.8% |
| 男性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,197  | 3,132  | 3,061 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 2,041  | 1,810  | 1,782 |
|      | 選択者割合 ※       | 63.8%  | 57.8%  | 58.2% |
| 女性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,845  | 3,687  | 3,460 |
|      | 選択者数(人) ※ (人) | 2,473  | 2,272  | 2,115 |
|      | 選択者割合 ※       | 64.3%  | 61.6%  | 61.1% |

■年度別 「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象) … 健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 質問回答者数 … 運動習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数 … 質問の選択肢を選択した人数。

※ 選択者割合 … 運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし … 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

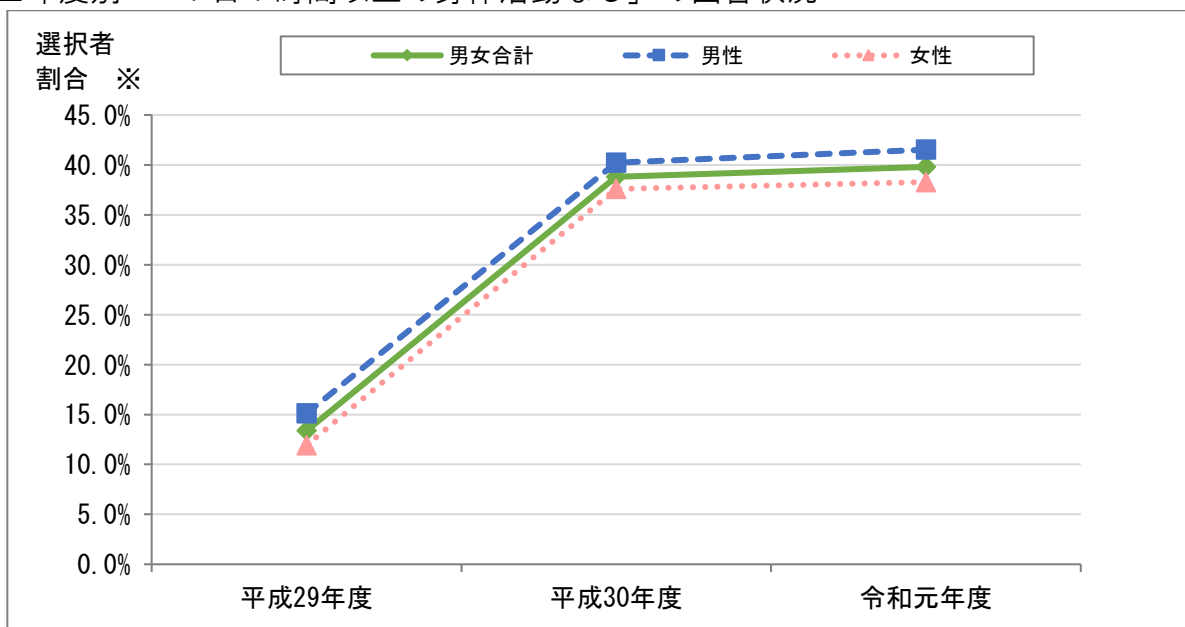
1日1時間以上の身体活動の有無については、平成30年度は平成29年度より約25ポイント増加した。

平成30年度から集団健診で使用している質問票の文言が変更になったことにより、「1日1時間以上の身体活動なし」と回答した者の割合が増加したと考えられる。

■年度別 「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

|      |               | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|---------------|--------|--------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数 ※ (人)  | 7,024  | 6,819  | 6,520 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 939    | 2,646  | 2,595 |
|      | 選択者割合※        | 13.4%  | 38.8%  | 39.8% |
| 男性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,191  | 3,132  | 3,061 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 482    | 1,260  | 1,271 |
|      | 選択者割合 ※       | 15.1%  | 40.2%  | 41.5% |
| 女性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,833  | 3,687  | 3,459 |
|      | 選択者数(人) ※ (人) | 457    | 1,386  | 1,324 |
|      | 選択者割合 ※       | 11.9%  | 37.6%  | 38.3% |

■年度別 「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象) … 健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 質問回答者数 … 運動習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数 … 質問の選択肢を選択した人数。

※ 選択者割合 … 運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

1日1時間以上の身体活動なし … 平成29年度：日常生活の中で1日1時間以上動いている(歩行又は同等の身体活動)。

平成30年度～：日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施しているの質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③ 咀嚼

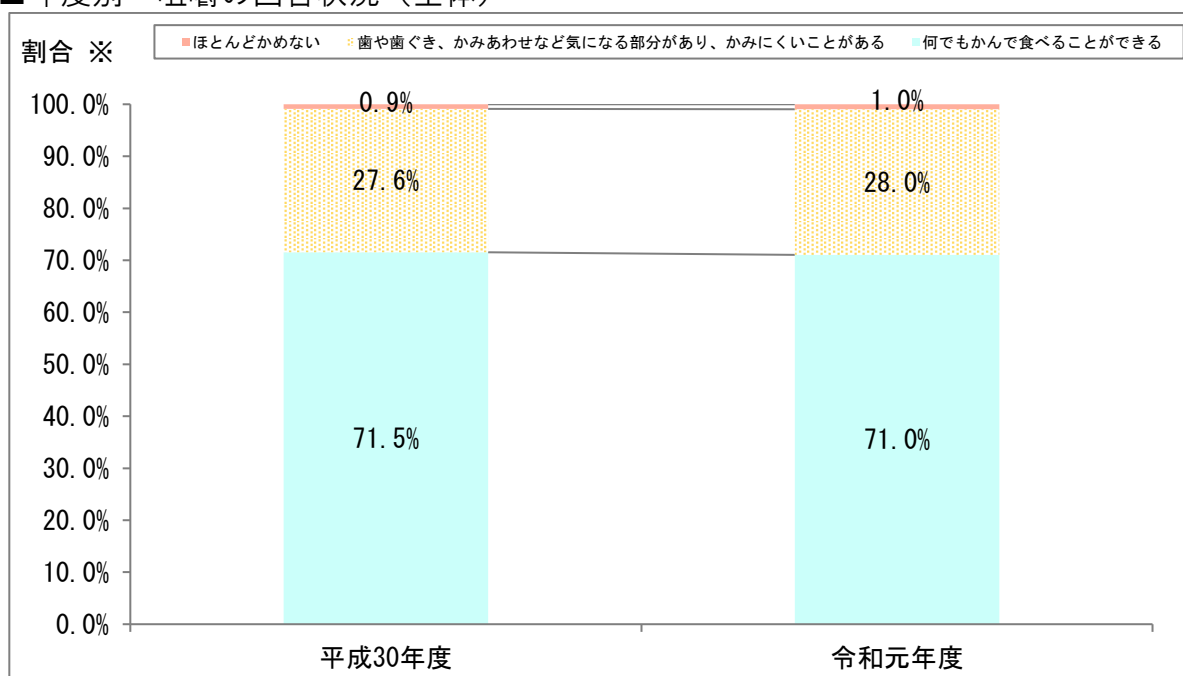
咀嚼についての質問項目は、平成 30 年度から新設された。

「歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」と回答した者が全体（40～74 歳受診者）の 3 割近くを占め、やや男性に多い傾向が見られる。

#### ■年度別 咀嚼の回答状況（全体）

|                                   | 年度           | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-----------------------------------|--------------|----------|-------|
|                                   | 質問回答者数 ※ (人) |          | 6,788 |
| ほとんどかめない                          | 選択者数 ※ (人)   | 60       | 62    |
|                                   | 割合 ※         | 0.9%     | 1.0%  |
| 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | 選択者数 ※ (人)   | 1,872    | 1,817 |
|                                   | 割合 ※         | 27.6%    | 28.0% |
| 何でもかんで食べることができる                   | 選択者数 ※ (人)   | 4,856    | 4,609 |
|                                   | 割合 ※         | 71.5%    | 71.0% |

#### ■年度別 咀嚼の回答状況（全体）



データ化範囲（分析対象）… 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。

資格確認日… 各年度末時点。

※ 質問回答者数… 食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※ 選択者数… 食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

※ 割合… 食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼… 「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

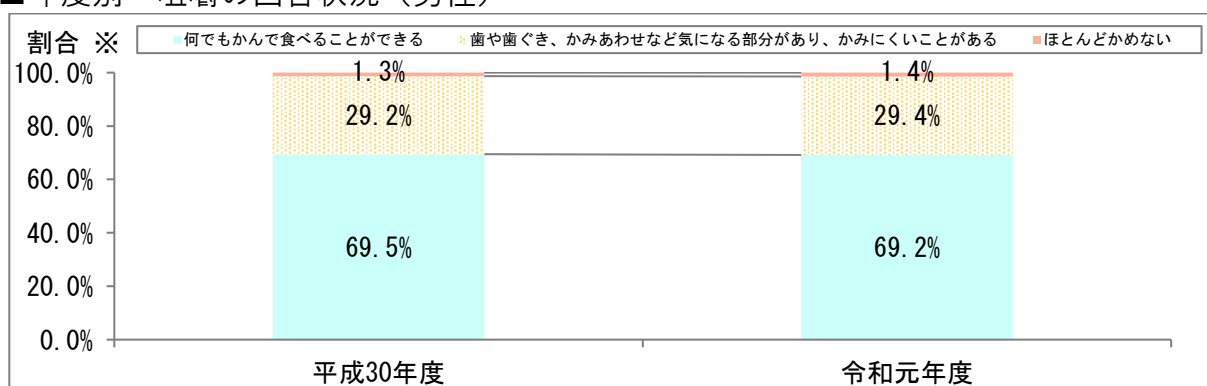
■年度別 咀嚼の回答状況（男性）

|                                   | 年度           | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------------------------------|--------------|--------|-------|
|                                   | 質問回答者数 ※ (人) | 3,117  | 3,049 |
| ほとんどかめない                          | 選択者数 ※ (人)   | 41     | 44    |
|                                   | 割合 ※         | 1.3%   | 1.4%  |
| 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | 選択者数 ※ (人)   | 911    | 896   |
|                                   | 割合 ※         | 29.2%  | 29.4% |
| 何でもかんで食べることができる                   | 選択者数 ※ (人)   | 2,165  | 2,109 |
|                                   | 割合 ※         | 69.5%  | 69.2% |

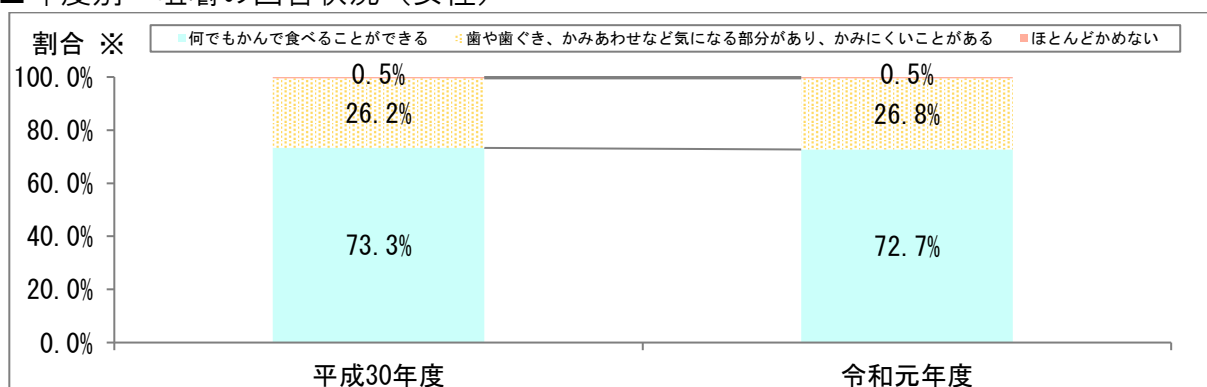
■年度別 咀嚼の回答状況（女性）

|                                   | 年度           | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------------------------------|--------------|--------|-------|
|                                   | 質問回答者数 ※ (人) | 3,671  | 3,439 |
| ほとんどかめない                          | 選択者数 ※ (人)   | 19     | 18    |
|                                   | 割合 ※         | 0.5%   | 0.5%  |
| 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | 選択者数 ※ (人)   | 961    | 921   |
|                                   | 割合 ※         | 26.2%  | 26.8% |
| 何でもかんで食べることができる                   | 選択者数 ※ (人)   | 2,691  | 2,500 |
|                                   | 割合 ※         | 73.3%  | 72.7% |

■年度別 咀嚼の回答状況（男性）



■年度別 咀嚼の回答状況（女性）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。  
 資格確認日…各年度末時点。  
 ※ 質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。  
 ※ 選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。  
 ※ 割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。  
 咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。



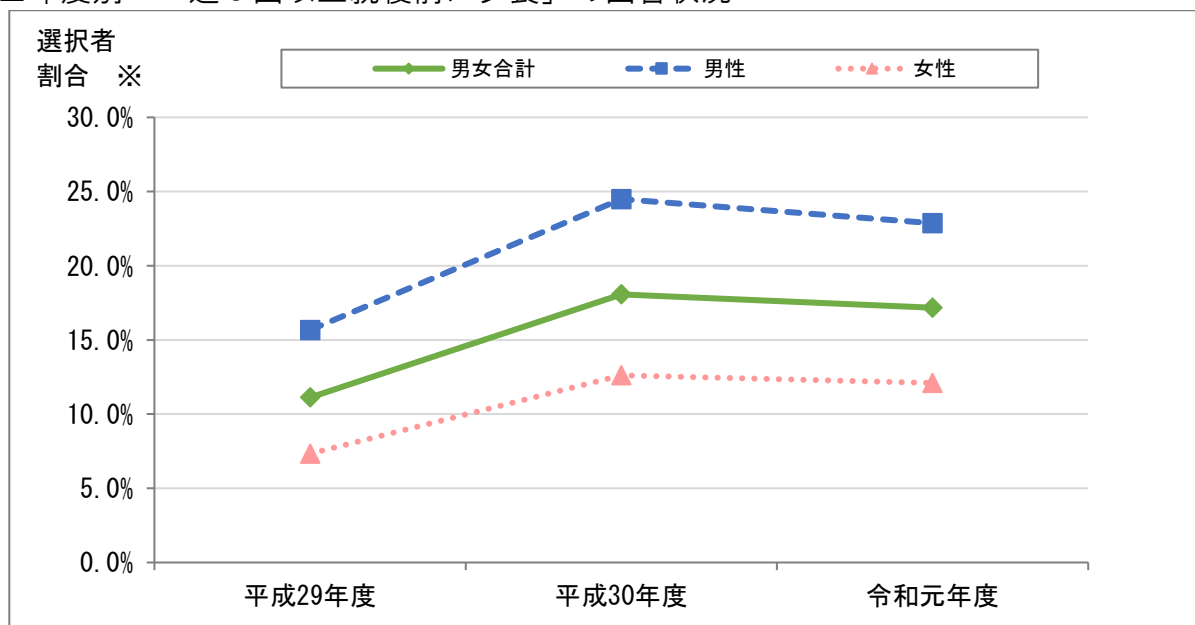
#### ④ 食習慣

「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」と回答した者が全体の2割弱を占めており、特に男性は女性の約2倍となっている。

■年度別 「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

|      |               | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|---------------|--------|--------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数 ※ (人)  | 7,024  | 6,819  | 6,521 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 781    | 1,232  | 1,119 |
|      | 選択者割合※        | 11.1%  | 18.1%  | 17.2% |
| 男性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,191  | 3,132  | 3,061 |
|      | 選択者数 ※ (人)    | 500    | 767    | 700   |
|      | 選択者割合 ※       | 15.7%  | 24.5%  | 22.9% |
| 女性   | 質問回答者数 ※ (人)  | 3,833  | 3,687  | 3,460 |
|      | 選択者数(人) ※ (人) | 281    | 465    | 419   |
|      | 選択者割合 ※       | 7.3%   | 12.6%  | 12.1% |

■年度別 「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象) … 健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36か月分)。

資格確認日 … 各年度末時点。

※ 質問回答者数 … 運動習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数 … 質問の選択肢を選択した人数。

※ 選択者割合 … 食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

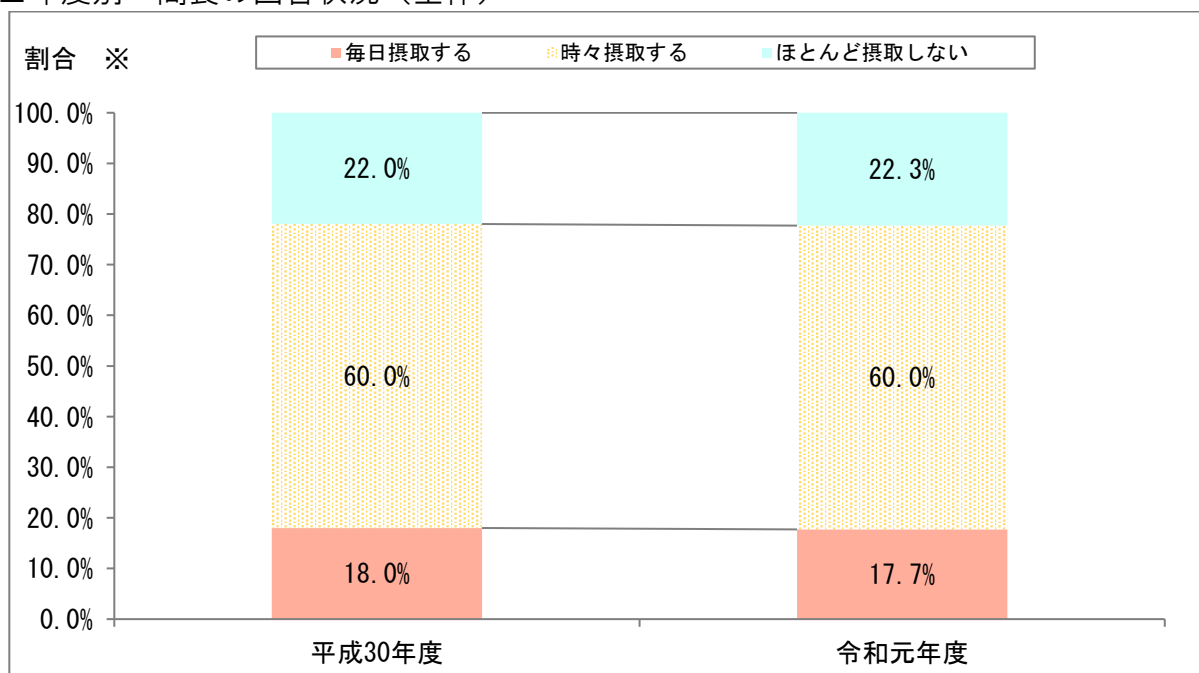
週3回以上就寝前に夕食 … 「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

間食についての質問項目は、平成30年度から新設された。  
「毎日摂取する」と回答した割合は女性に多く、「ほとんど摂取しない」と回答した割合は男性に多い。

■年度別 間食の回答状況（全体）

|           | 年度           | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------------|--------|-------|
|           | 質問回答者数 ※ (人) |        | 6,796 |
| 毎日摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 1,223  | 1,149 |
|           | 割合 ※         | 18.0%  | 17.7% |
| 時々摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 4,080  | 3,891 |
|           | 割合 ※         | 60.0%  | 60.0% |
| ほとんど摂取しない | 選択者数 ※ (人)   | 1,493  | 1,445 |
|           | 割合 ※         | 22.0%  | 22.3% |

■年度別 間食の回答状況（全体）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。  
資格確認日…各年度末時点。  
※ 質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。  
※ 選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。  
※ 割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。  
間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

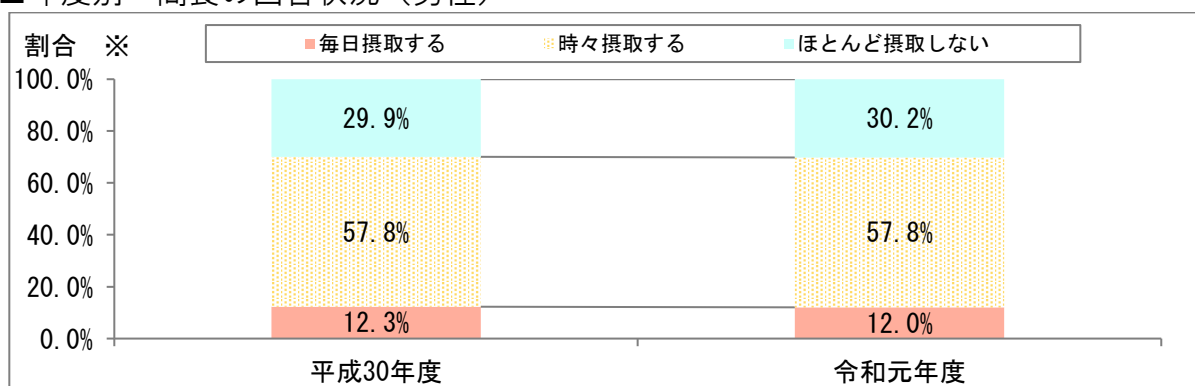
■年度別 間食の回答状況（男性）

|           | 年度           | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------------|--------|-------|
|           | 質問回答者数 ※ (人) |        | 3,121 |
| 毎日摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 383    | 367   |
|           | 割合 ※         | 12.3%  | 12.0% |
| 時々摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 1,804  | 1,761 |
|           | 割合 ※         | 57.8%  | 57.8% |
| ほとんど摂取しない | 選択者数 ※ (人)   | 934    | 920   |
|           | 割合 ※         | 29.9%  | 30.2% |

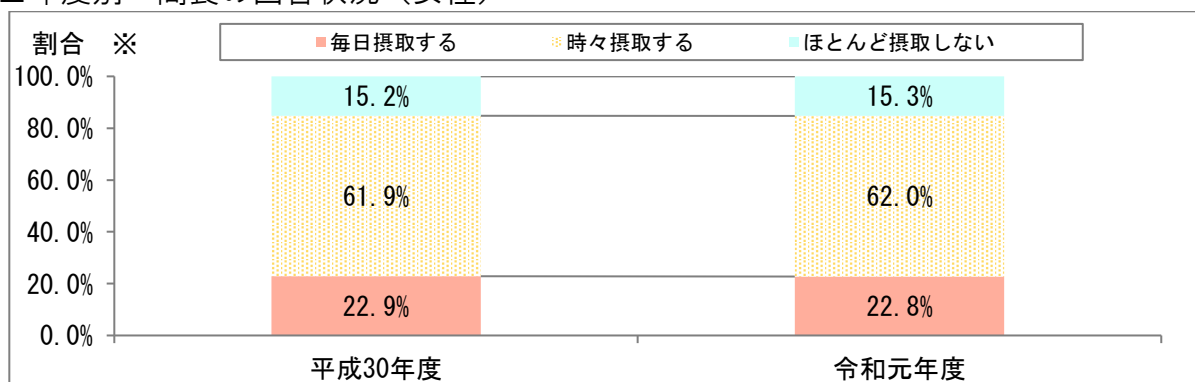
■年度別 間食の回答状況（女性）

|           | 年度           | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------------|--------|-------|
|           | 質問回答者数 ※ (人) |        | 3,675 |
| 毎日摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 840    | 782   |
|           | 割合 ※         | 22.9%  | 22.8% |
| 時々摂取する    | 選択者数 ※ (人)   | 2,276  | 2,130 |
|           | 割合 ※         | 61.9%  | 62.0% |
| ほとんど摂取しない | 選択者数 ※ (人)   | 559    | 525   |
|           | 割合 ※         | 15.2%  | 15.3% |

■年度別 間食の回答状況（男性）



■年度別 間食の回答状況（女性）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。

資格確認日…各年度末時点。

※ 質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※ 選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

※ 割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

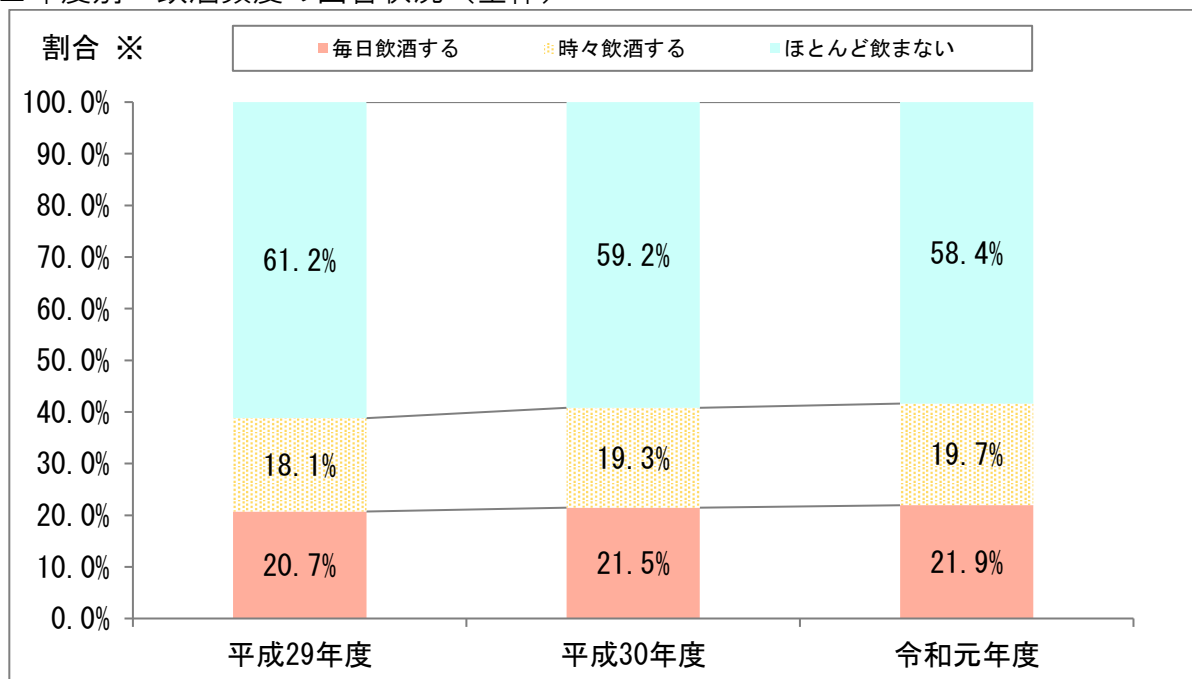
## ⑤ 飲酒習慣

「毎日飲酒する」と回答した者が受診者全体の2割以上を占めており、特に男性では約4割が毎日飲酒をしている。

■年度別 飲酒頻度の回答状況（全体）

|          | 年度           | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----------|--------------|--------|--------|-------|
|          | 質問回答者数 ※ (人) |        | 7,024  | 6,818 |
| 毎日飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 1,455  | 1,463  | 1,430 |
|          | 割合 ※         | 20.7%  | 21.5%  | 21.9% |
| 時々飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 1,270  | 1,319  | 1,284 |
|          | 割合 ※         | 18.1%  | 19.3%  | 19.7% |
| ほとんど飲まない | 選択者数 ※ (人)   | 4,299  | 4,036  | 3,807 |
|          | 割合 ※         | 61.2%  | 59.2%  | 58.4% |

■年度別 飲酒頻度の回答状況（全体）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 ※質問回答者数 … 飲酒習慣の質問に回答した人数。  
 ※ 選択者数 … 飲酒習慣の選択肢を選択した人数。  
 ※ 割合 … 飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。  
 飲酒頻度 … 「お酒（日本酒・焼酎・ビール・洋酒など）を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

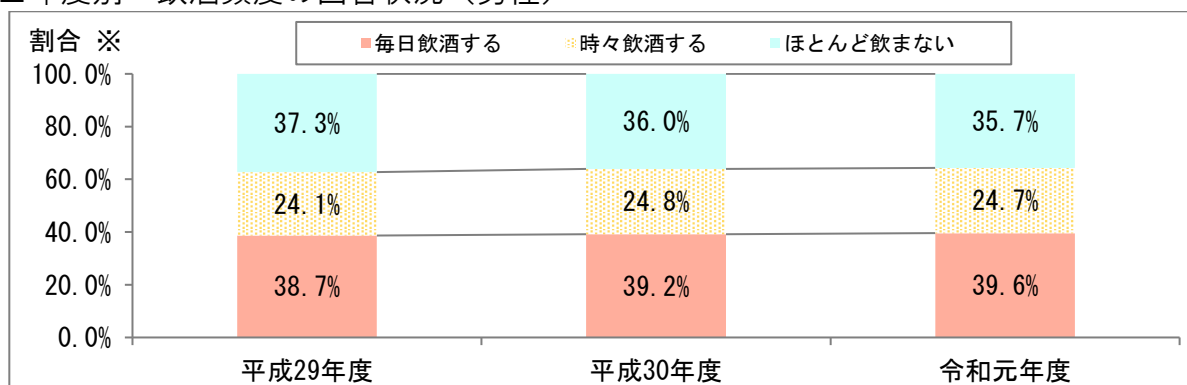
■年度別 飲酒頻度の回答状況（男性）

|          | 年度           | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------|--------------|----------|----------|-------|
|          | 質問回答者数 ※ (人) |          | 3,191    | 3,131 |
| 毎日飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 1,234    | 1,226    | 1,212 |
|          | 割合 ※         | 38.7%    | 39.2%    | 39.6% |
| 時々飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 768      | 778      | 757   |
|          | 割合 ※         | 24.1%    | 24.8%    | 24.7% |
| ほとんど飲まない | 選択者数 ※ (人)   | 1,189    | 1,127    | 1,092 |
|          | 割合 ※         | 37.3%    | 36.0%    | 35.7% |

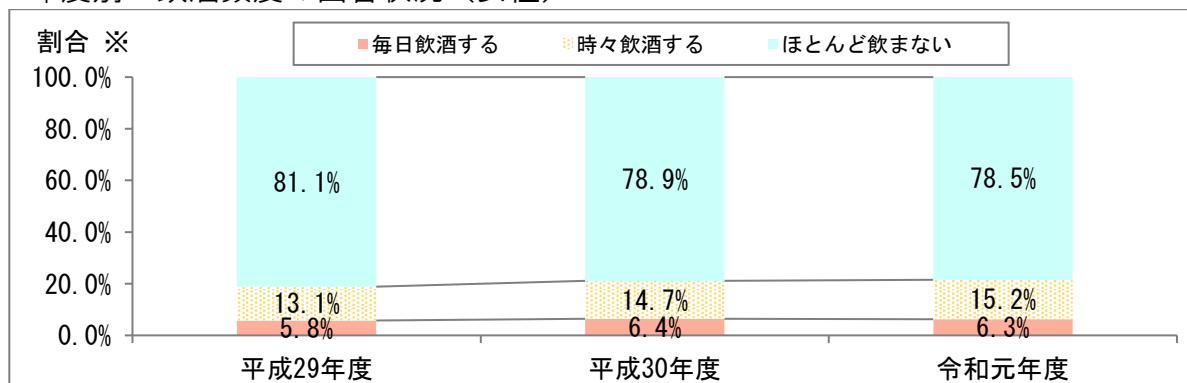
■年度別 飲酒頻度の回答状況（女性）

|          | 年度           | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------|--------------|----------|----------|-------|
|          | 質問回答者数 ※ (人) |          | 3,833    | 3,687 |
| 毎日飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 221      | 237      | 218   |
|          | 割合 ※         | 5.8%     | 6.4%     | 6.3%  |
| 時々飲酒する   | 選択者数 ※ (人)   | 502      | 541      | 527   |
|          | 割合 ※         | 13.1%    | 14.7%    | 15.2% |
| ほとんど飲まない | 選択者数 ※ (人)   | 3,110    | 2,909    | 2,715 |
|          | 割合 ※         | 81.1%    | 78.9%    | 78.5% |

■年度別 飲酒頻度の回答状況（男性）



■年度別 飲酒頻度の回答状況（女性）



データ化範囲（分析対象） … 健康診査データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分（36 か月分）。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 ※質問回答者数 … 飲酒習慣の質問に回答した人数。  
 ※ 選択者数 … 飲酒習慣の選択肢を選択した人数。  
 ※ 割合 … 飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。  
 飲酒頻度 … 「お酒（日本酒・焼酎・ビール・洋酒など）を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

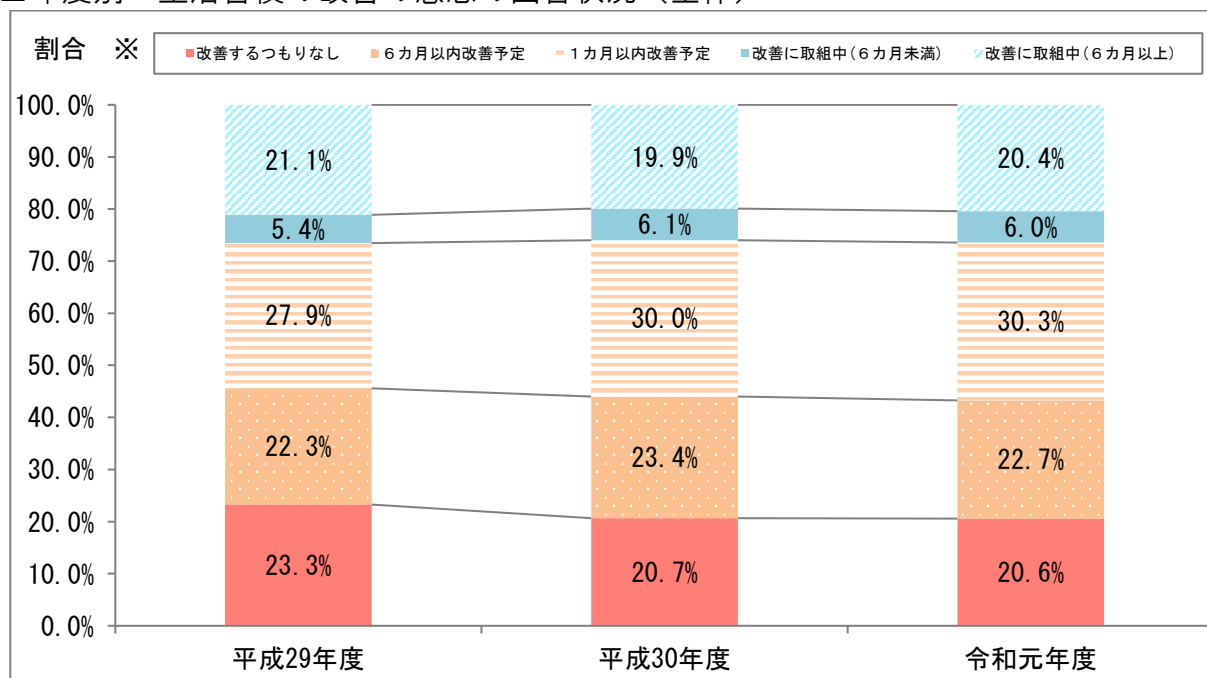
## ⑥ 生活習慣

生活習慣の改善意思を問う質問では、「改善するつもりなし」が減少し、「1か月以内改善予定」が増加傾向にある。「改善に取り組中」と回答した者では男女差があまりなかったが、「改善するつもりなし」と回答した者は男性に多い。

■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（全体）

|                    | 年度           | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------------------|--------------|----------|----------|-------|
|                    | 質問回答者数 ※ (人) |          | 7,029    | 6,817 |
| 改善するつもりなし          | 選択者数 ※ (人)   | 1,636    | 1,408    | 1,341 |
|                    | 割合 ※         | 23.3%    | 20.7%    | 20.6% |
| 6か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 1,568    | 1,594    | 1,479 |
|                    | 割合 ※         | 22.3%    | 23.4%    | 22.7% |
| 1か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 1,960    | 2,043    | 1,976 |
|                    | 割合 ※         | 27.9%    | 30.0%    | 30.3% |
| 改善に取り組中<br>(6か月未満) | 選択者数 ※ (人)   | 381      | 414      | 390   |
|                    | 割合 ※         | 5.4%     | 6.1%     | 6.0%  |
| 改善に取り組中<br>(6か月以上) | 選択者数 ※ (人)   | 1,484    | 1,358    | 1,332 |
|                    | 割合 ※         | 21.1%    | 19.9%    | 20.4% |

■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（全体）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。

資格確認日…各年度末時点。

※ 質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※ 割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

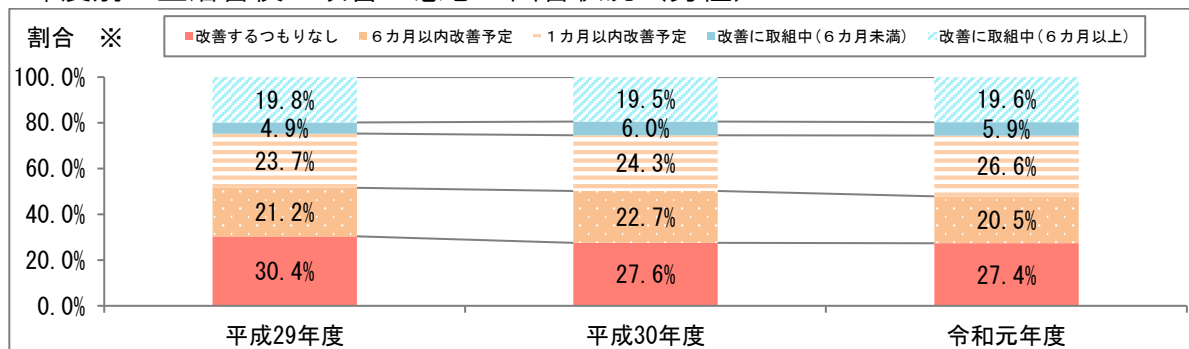
■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（男性）

|                    | 年度           | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------------------|--------------|----------|----------|-------|
|                    | 質問回答者数 ※ (人) |          | 3,192    | 3,131 |
| 改善するつもりなし          | 選択者数 ※ (人)   | 970      | 864      | 837   |
|                    | 割合 ※         | 30.4%    | 27.6%    | 27.4% |
| 6か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 677      | 710      | 628   |
|                    | 割合 ※         | 21.2%    | 22.7%    | 20.5% |
| 1か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 757      | 760      | 813   |
|                    | 割合 ※         | 23.7%    | 24.3%    | 26.6% |
| 改善に取り組中<br>(6か月未満) | 選択者数 ※ (人)   | 155      | 188      | 181   |
|                    | 割合 ※         | 4.9%     | 6.0%     | 5.9%  |
| 改善に取り組中<br>(6か月以上) | 選択者数 ※ (人)   | 633      | 609      | 601   |
|                    | 割合 ※         | 19.8%    | 19.5%    | 19.6% |

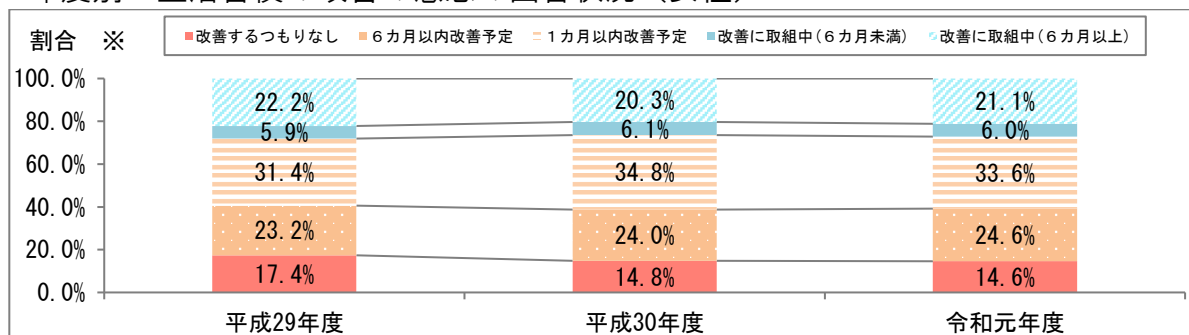
■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（女性）

|                    | 年度           | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------------------|--------------|----------|----------|-------|
|                    | 質問回答者数 ※ (人) |          | 3,837    | 3,686 |
| 改善するつもりなし          | 選択者数 ※ (人)   | 666      | 544      | 504   |
|                    | 割合 ※         | 17.4%    | 14.8%    | 14.6% |
| 6か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 891      | 884      | 851   |
|                    | 割合 ※         | 23.2%    | 24.0%    | 24.6% |
| 1か月以内改善予定          | 選択者数 ※ (人)   | 1,203    | 1,283    | 1,163 |
|                    | 割合 ※         | 31.4%    | 34.8%    | 33.6% |
| 改善に取り組中<br>(6か月未満) | 選択者数 ※ (人)   | 226      | 226      | 209   |
|                    | 割合 ※         | 5.9%     | 6.1%     | 6.0%  |
| 改善に取り組中<br>(6か月以上) | 選択者数 ※ (人)   | 851      | 749      | 731   |
|                    | 割合 ※         | 22.2%    | 20.3%    | 21.1% |

■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（男性）



■年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況（女性）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。

資格確認日…各年度末時点。

※ 質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※ 選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※ 割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

#### (4) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は744人である。このうち、積極的支援の対象者は184人、動機付け支援の対象者は560人である。

■特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況（令和元年度）

| 特定保健指導対象者 | リスク判定 ※<br>(該当に●) |         |         |         | リスク因子数 | リスク因子組み合わせ  | 対象者  |             |
|-----------|-------------------|---------|---------|---------|--------|-------------|------|-------------|
|           | ①<br>血糖           | ②<br>血圧 | ③<br>脂質 | ④<br>喫煙 |        |             | 744人 |             |
| 積極的支援     | ●                 | ●       | ●       | ●       | 因子数 4  | 血糖＋血圧＋脂質＋喫煙 | 13人  | 184人<br>25% |
|           | ●                 | ●       | ●       |         | 因子数 3  | 血糖＋血圧＋脂質    | 24人  |             |
|           | ●                 | ●       |         | ●       |        | 血糖＋血圧＋喫煙    | 8人   |             |
|           | ●                 |         | ●       | ●       |        | 血糖＋脂質＋喫煙    | 11人  |             |
|           |                   | ●       | ●       | ●       |        | 血圧＋脂質＋喫煙    | 9人   |             |
|           | ●                 | ●       |         |         | 因子数 2  | 血糖＋血圧       | 37人  |             |
|           | ●                 |         | ●       |         |        | 血糖＋脂質       | 16人  |             |
|           |                   | ●       | ●       |         |        | 血圧＋脂質       | 20人  |             |
|           | ●                 |         |         | ●       |        | 血糖＋喫煙       | 14人  |             |
|           |                   | ●       |         | ●       | 因子数 1  | 血圧＋喫煙       | 22人  |             |
|           |                   |         | ●       | ●       |        | 脂質＋喫煙       | 9人   |             |
|           | ●                 |         |         |         |        | 血糖          | 0人   |             |
|           |                   | ●       |         |         |        | 血圧          | 0人   |             |
|           |                   |         |         | ●       | 因子数 0  | 脂質          | 1人   |             |
|           |                   |         |         | 喫煙      |        | 0人          |      |             |
|           |                   |         |         | なし      | 0人     |             |      |             |
| 動機付け支援    | ●                 | ●       | ●       | ●       | 因子数 4  | 血糖＋血圧＋脂質＋喫煙 | 11人  | 560人<br>75% |
|           | ●                 | ●       | ●       |         | 因子数 3  | 血糖＋血圧＋脂質    | 30人  |             |
|           | ●                 | ●       |         | ●       |        | 血糖＋血圧＋喫煙    | 14人  |             |
|           | ●                 |         | ●       | ●       |        | 血糖＋脂質＋喫煙    | 5人   |             |
|           |                   | ●       | ●       | ●       |        | 血圧＋脂質＋喫煙    | 8人   |             |
|           | ●                 | ●       |         |         | 因子数 2  | 血糖＋血圧       | 97人  |             |
|           | ●                 |         | ●       |         |        | 血糖＋脂質       | 13人  |             |
|           | ●                 | ●       |         |         |        | 血圧＋脂質       | 30人  |             |
|           |                   | ●       |         | ●       |        | 血糖＋喫煙       | 10人  |             |
|           |                   | ●       |         | ●       | 因子数 1  | 血圧＋喫煙       | 21人  |             |
|           |                   |         | ●       | ●       |        | 脂質＋喫煙       | 8人   |             |
|           | ●                 |         |         |         |        | 血糖          | 90人  |             |
|           |                   | ●       |         |         |        | 血圧          | 172人 |             |
|           |                   |         | ●       |         | 因子数 0  | 脂質          | 51人  |             |
|           |                   |         | ●       | 喫煙      |        | 0人          |      |             |
|           |                   |         |         | なし      | 0人     |             |      |             |

データ化範囲（分析対象）… 健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12か月分）。

資格確認日… 令和2年3月31日時点。

※リスク判定… 健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ（喫煙については質問回答による）。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

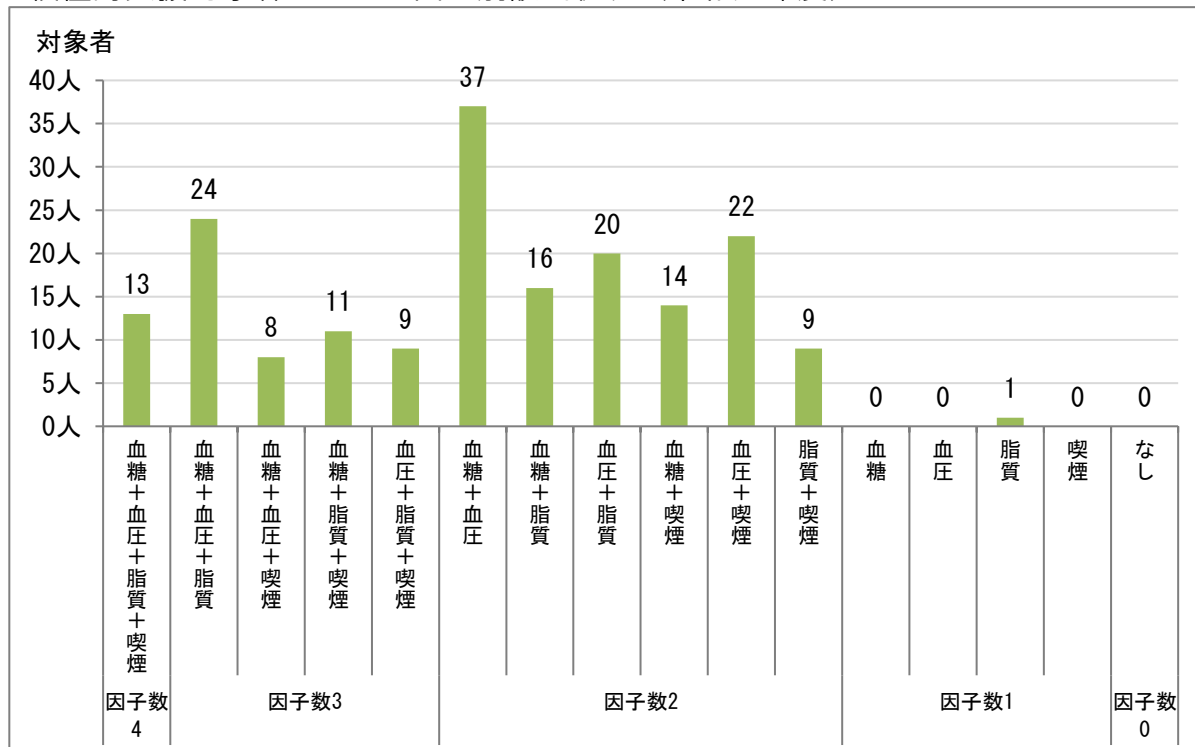
リスク判定の詳細は以下のとおりとする。

- ① 血糖… 特定健康診査の検査値において、空腹時血糖 100mg/dl 以上または HbA1c 5.6%以上（NGSP）
- ② 血圧… 特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が 130mmHg 以上または拡張期血圧 85mmHg 以上
- ③ 脂質… 特定健康診査の検査値において、中性脂肪 150mg/dl 以上または HDL コレステロール 40mg/dl 未満
- ④ 喫煙… 特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答



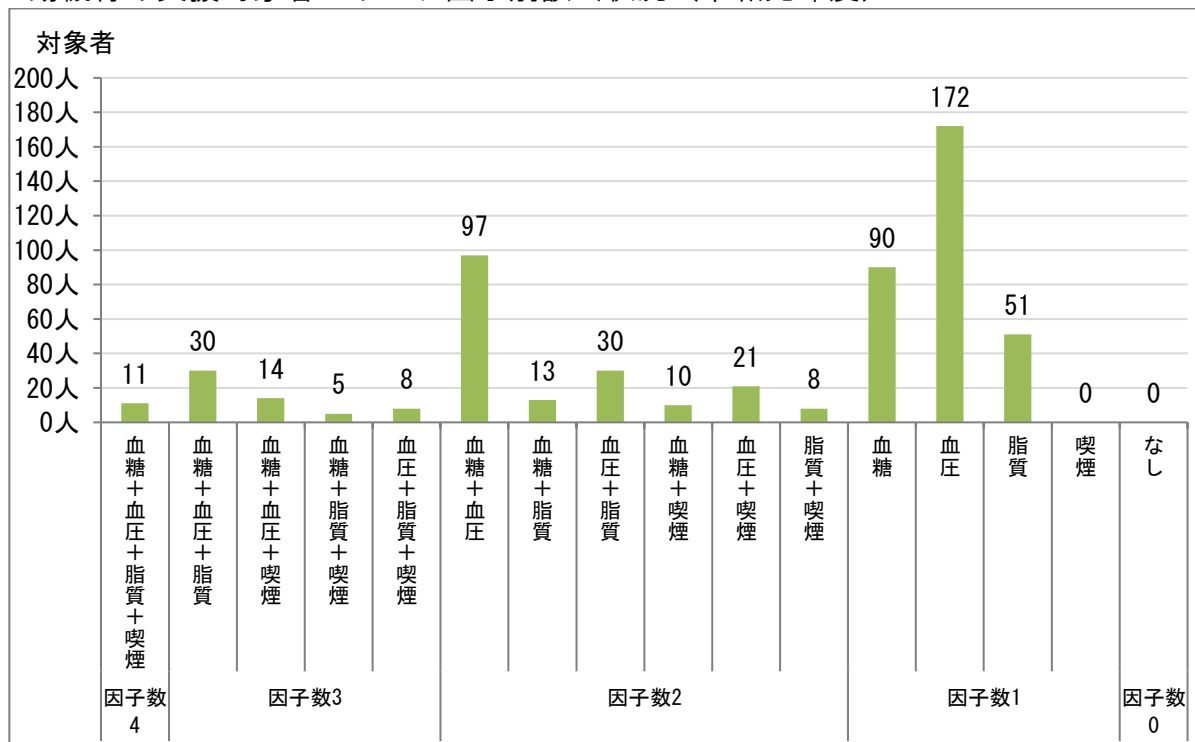
リスク因子別該当状況では、積極的支援対象者では「血糖＋血圧」、動機付け支援対象者では「血圧」「血糖＋血圧」のリスクを有して該当する者が多かった。

■積極的支援対象者のリスク因子別該当状況（令和元年度）



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12か月分）。  
資格確認日…令和2年3月31日時点。

■動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況（令和元年度）



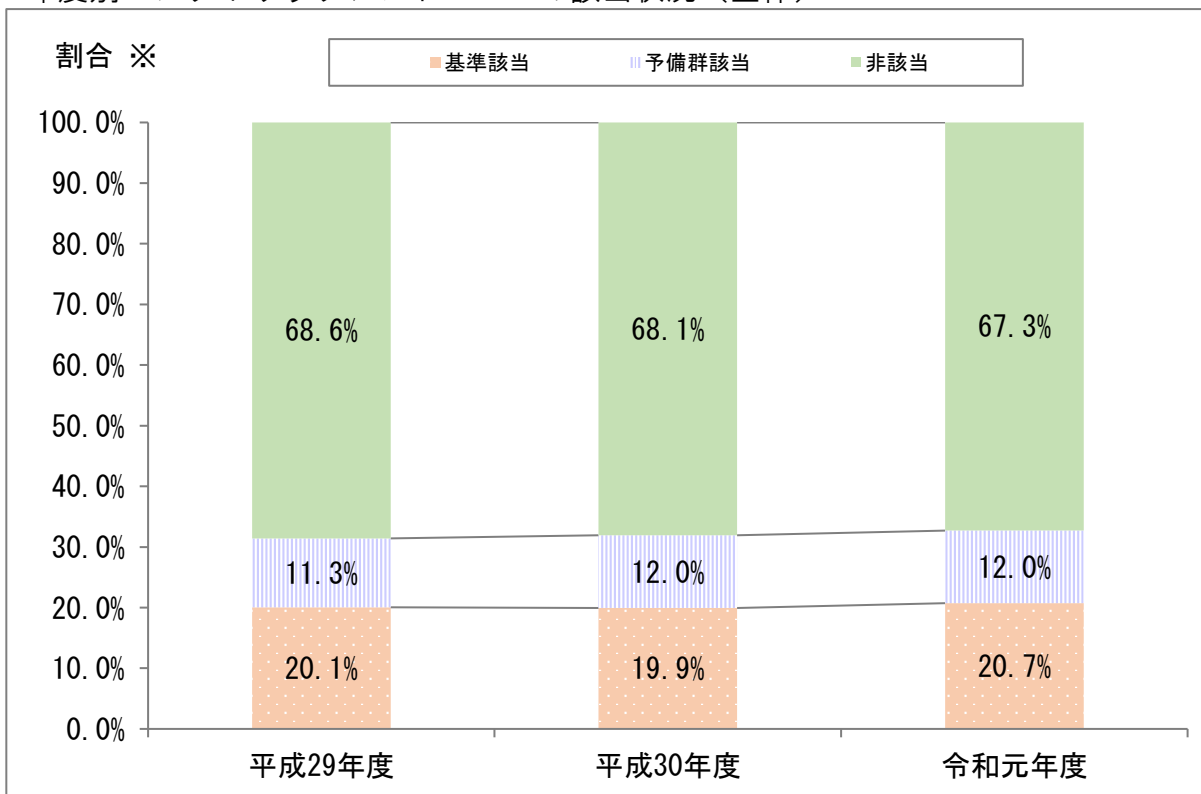
データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分（12か月分）。  
資格確認日…令和2年3月31日時点。

メタボリックシンドロームの該当状況（全体）は、年度による差はあまりなく基準該当者が全体の約2割、予備群該当者が1割強であるが、男性のメタボリックシンドローム該当者（基準・予備群）は全体の半数近くを占め、男女差が顕著である。

■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（全体）

|       | 年度        | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|-----------|--------|--------|-------|
|       | 健診受診者数（人） |        | 7,124  | 6,956 |
| 基準該当  | 人数（人）     | 1,430  | 1,387  | 1,389 |
|       | 割合 ※      | 20.1%  | 19.9%  | 20.7% |
| 予備群該当 | 人数（人）     | 808    | 835    | 802   |
|       | 割合 ※      | 11.3%  | 12.0%  | 12.0% |
| 非該当   | 人数（人）     | 4,886  | 4,734  | 4,509 |
|       | 割合 ※      | 68.6%  | 68.1%  | 67.3% |

■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（全体）



データ化範囲（分析対象） … 健診データは平成29年4月～令和2年3月健診分（36か月分）。  
 資格確認日 … 各年度末時点。  
 年齢範囲 … 各年度末時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。  
 年齢基準日 … 各年度末時点。  
 ※ 割合 … メタボリックシンドロームレベルに該当した人の割合。

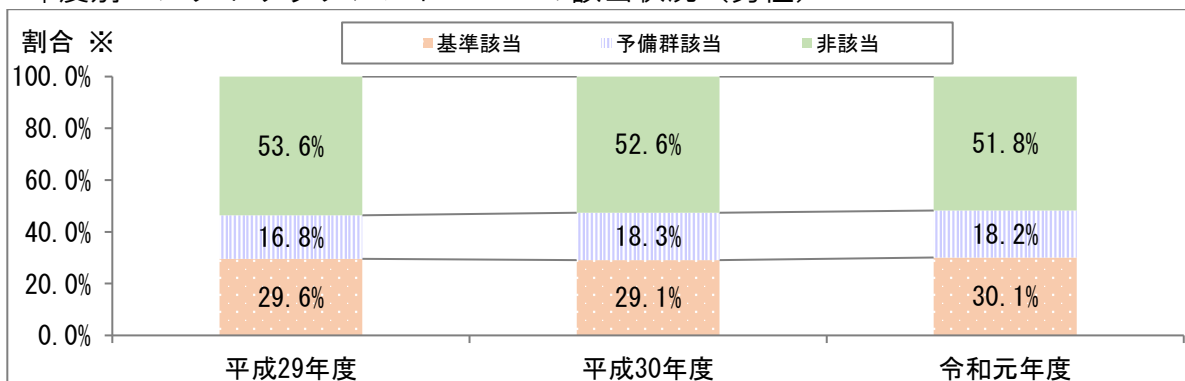
■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（男性）

|       | 年度         | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------|------------|----------|----------|-------|
|       | 健診受診者数 (人) |          | 3,241    | 3,204 |
| 基準該当  | 人数 (人)     | 959      | 932      | 950   |
|       | 割合 ※       | 29.6%    | 29.1%    | 30.1% |
| 予備群該当 | 人数 (人)     | 545      | 586      | 573   |
|       | 割合 ※       | 16.8%    | 18.3%    | 18.2% |
| 非該当   | 人数 (人)     | 1,737    | 1,686    | 1,634 |
|       | 割合 ※       | 53.6%    | 52.6%    | 51.8% |

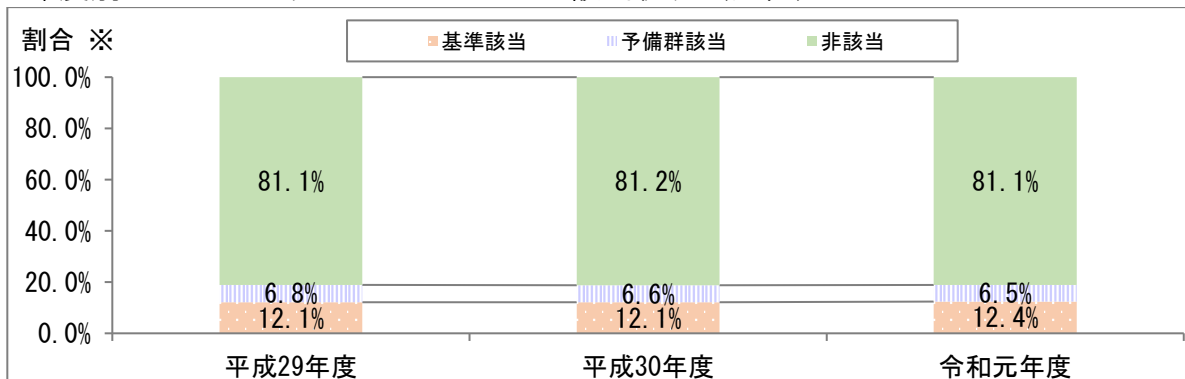
■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（女性）

|       | 年度         | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------|------------|----------|----------|-------|
|       | 健診受診者数 (人) |          | 3,883    | 3,752 |
| 基準該当  | 人数 (人)     | 471      | 455      | 439   |
|       | 割合 ※       | 12.1%    | 12.1%    | 12.4% |
| 予備群該当 | 人数 (人)     | 263      | 249      | 229   |
|       | 割合 ※       | 6.8%     | 6.6%     | 6.5%  |
| 非該当   | 人数 (人)     | 3,149    | 3,048    | 2,875 |
|       | 割合 ※       | 81.1%    | 81.2%    | 81.1% |

■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（男性）



■年度別 メタボリックシンドロームの該当状況（女性）



データ化範囲(分析対象)…健診データは平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月健診分(36 か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を 40 歳～75 歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※割合…メタボリックシンドロームレベルに該当した人の割合。

## (5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、61.2%が生活習慣を起因とするものであり、その全てが糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症であることが分かった。

### ■年度別 透析に至った起因疾患（平成30年度・令和元年度）

| 透析に至った起因 |               | 平成30年度                                   |       | 令和元年度                                   |       |
|----------|---------------|--|-------|---|-------|
|          |               | 平成30年4月～<br>平成31年3月<br>診療分(12カ月分)<br>(人) | 割合    | 平成31年4月～<br>令和2年3月<br>診療分(12カ月分)<br>(人) | 割合    |
| ①        | 糖尿病性腎症 I型糖尿病  | 0  | 0.0%  | 1                                       | 1.5%  |
| ②        | 糖尿病性腎症 II型糖尿病 | 37                                       | 58.7% | 41                                      | 61.2% |
| ③        | 糸球体腎炎 IgA腎症   | 1  | 1.6%  | 1                                       | 1.5%  |
| ④        | 糸球体腎炎 その他     | 4  | 6.3%  | 6                                       | 9.0%  |
| ⑤        | 腎硬化症 本態性高血圧   | 0  | 0.0%  | 0                                       | 0.0%  |
| ⑥        | 腎硬化症 その他      | 0  | 0.0%  | 0                                       | 0.0%  |
| ⑦        | 痛風腎           | 0  | 0.0%  | 0                                       | 0.0%  |
| ⑧        | 起因が特定できない患者 ※ | 21                                       | 33.3% | 18                                      | 26.9% |
| 透析患者合計   |               | 63                                       |       | 67                                      |       |

データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

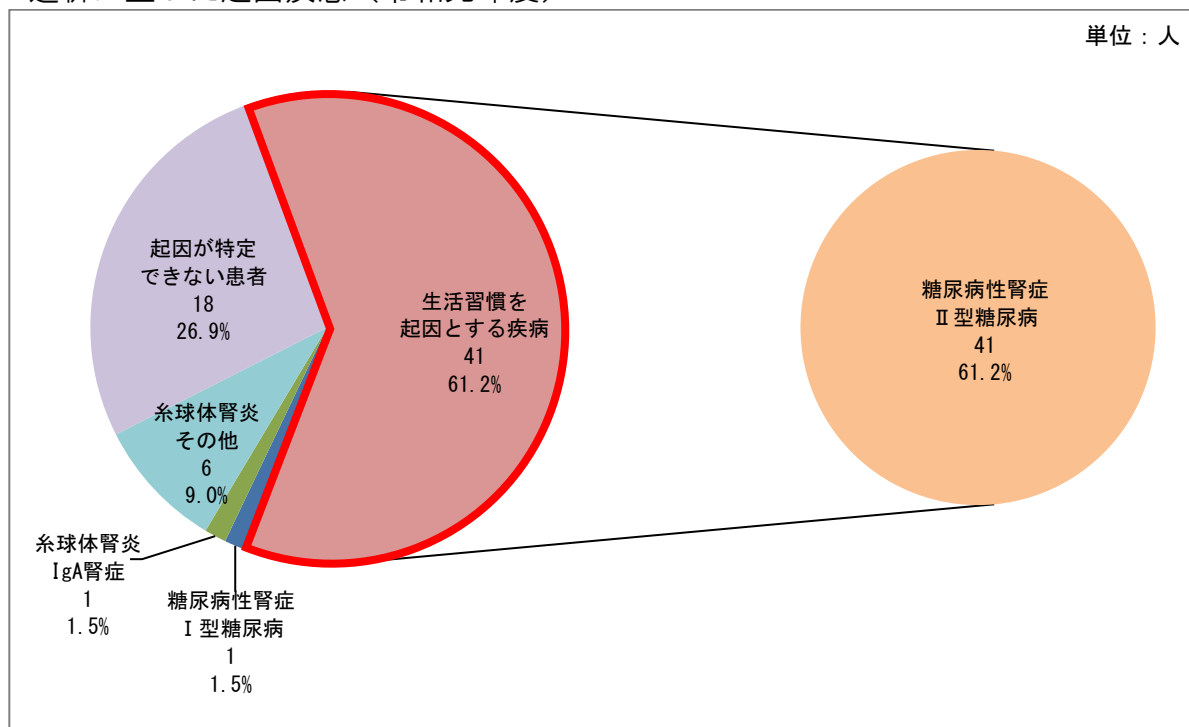
対象診療年月は平成30年4月～令和2年3月診療分（24か月分）。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※ ⑧ 起因が特定できない患者… ①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

（令和元年度）⑧ 起因が特定できない患者18人のうち高血圧症が確認できる患者は18人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は1人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は0人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

■透析に至った起因疾患（令和元年度）



データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

データ化範囲（分析対象）期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※ 割合 … 小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

生活習慣を起因とする疾病は、糖尿病性腎症II型糖尿病、腎硬化症本態性高血圧、痛風腎とする。

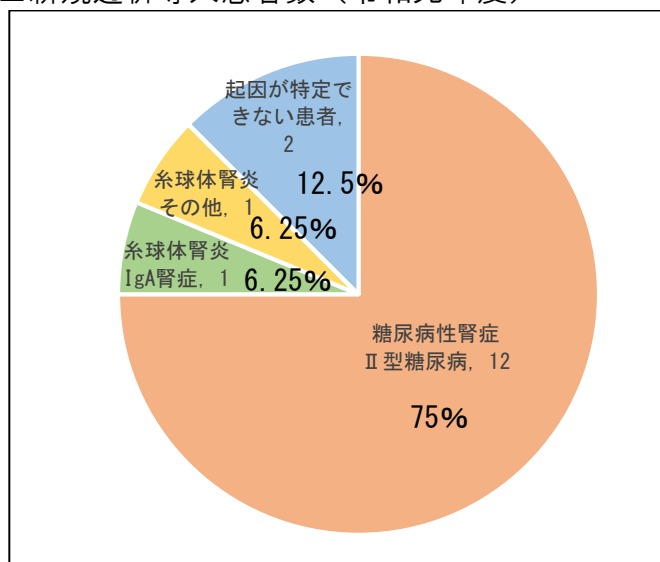
次に、平成 30 年度及び令和元年度のレセプト情報から、透析に至った起因及び新規透析導入患者数を以下に示す。新規透析に至った起因の 75%が「糖尿病性腎症 II 型糖尿病」であり、新規透析導入患者数は最多の 12 人である。

■新規透析導入患者数（令和元年度）

| 透析に至った起因 |                | 平成 30 年度において透析患者ではなく<br>令和元年度において透析患者となった人数 |              |
|----------|----------------|---|--------------|
|          |                | 新規透析患者                                      | ※1 ※2<br>(人) |
| ①        | 糖尿病性腎症 I 型糖尿病  |   | 0            |
| ②        | 糖尿病性腎症 II 型糖尿病 |   | 12           |
| ③        | 糸球体腎炎 IgA 腎症   |   | 1            |
| ④        | 糸球体腎炎 その他      |   | 1            |
| ⑤        | 腎硬化症 本態性高血圧    |   | 0            |
| ⑥        | 腎硬化症 その他       |   | 0            |
| ⑦        | 痛風腎            |   | 0            |
| ⑧        | 起因が特定できない患者 ※3 |   | 2            |
| 透析患者合計   |                |   | 16           |

- データ化範囲（分析対象）… 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（24 か月分）。  
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。  
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
- ※1 新規透析患者の定義… 平成 30 年度の期間に透析患者ではなく、令和元年度の期間に透析患者となった患者。  
※2 平成 30 年度の期間と令和元年度の期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、（令和元年度）－（平成 30 年度）は一致しない場合がある。  
※3 ⑧ 起因が特定できない患者… ①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。  
※ 生活習慣病を起因とする疾病は、②⑤⑦とする。

■新規透析導入患者数（令和元年度）



透析に至った起因により医療費の差は多少あるが、患者一人当たりの医療費の平均は年間548万3,427円となっている。特に「糖尿病性腎症 II型糖尿病」の場合、一人当たりの医療費が年間556万2,515円、うち透析関連の医療費が511万2,714円と、全起因疾患の中で最も高額である。

■透析患者の医療費（令和元年度）

| 透析患者の起因                    | 透析患者数<br>(人) | 割合    | 医療費<br>(円)  |            |             | 医療費<br>【一人当たり】<br>(円) |            |           | 医療費<br>【一人当たり1か月当たり】<br>(円) |            |         |
|----------------------------|--------------|-------|-------------|------------|-------------|-----------------------|------------|-----------|-----------------------------|------------|---------|
|                            |              |       | 透析関連        | 透析関連<br>以外 | 合計          | 透析関連                  | 透析関連<br>以外 | 合計        | 透析関連                        | 透析関連<br>以外 | 合計      |
| ① 糖尿病性腎症<br>I型糖尿病          | 1            | 1.5%  | 4,691,630   | 416,200    | 5,107,830   | 4,691,630             | 416,200    | 5,107,830 | 390,969                     | 34,683     | 425,653 |
| ② 糖尿病性腎症<br>II型糖尿病         | 41           | 61.2% | 209,621,260 | 18,441,870 | 228,063,130 | 5,112,714             | 449,802    | 5,562,515 | 426,059                     | 37,483     | 463,543 |
| ③ 糸球体腎炎<br>IgA腎症           | 1            | 1.5%  | 1,471,200   | 2,306,390  | 3,777,590   | 1,471,200             | 2,306,390  | 3,777,590 | 122,600                     | 192,199    | 314,799 |
| ④ 糸球体腎炎<br>その他             | 6            | 9.0%  | 29,082,960  | 1,338,590  | 30,421,550  | 4,847,160             | 223,098    | 5,070,258 | 403,930                     | 18,592     | 422,522 |
| ⑤ 腎硬化症<br>本態性高血圧           | 0            | 0.0%  | -           | -          | -           | -                     | -          | -         | -                           | -          | -       |
| ⑥ 腎硬化症<br>その他              | 0            | 0.0%  | -           | -          | -           | -                     | -          | -         | -                           | -          | -       |
| ⑦ 痛風腎                      | 0            | 0.0%  | -           | -          | -           | -                     | -          | -         | -                           | -          | -       |
| ⑧ 起因が特定<br>できない患者 ※        | 18           | 26.9% | 97,072,270  | 2,947,240  | 100,019,510 | 5,392,904             | 163,736    | 5,556,639 | 449,409                     | 13,645     | 463,053 |
| 透析患者全体                     | 67           |       | 341,939,320 | 25,450,290 | 367,389,610 |                       |            |           |                             |            |         |
| 患者一人当たり<br>医療費平均           |              |       | 5,103,572   | 379,855    | 5,483,427   |                       |            |           |                             |            |         |
| 患者一人当たり<br>1か月当たり<br>医療費平均 |              |       | 425,298     | 31,655     | 456,952     |                       |            |           |                             |            |         |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12か月分）。

データ化範囲（分析対象）期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※ ⑧ 起因が特定できない患者 … ①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

## (6) 受診行動適正化に係る分析

レセプト内容を確認するとやむを得ない治療の結果であることが多いが、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。

多受診（重複受診、頻回受診、重複服薬）の指導対象者数状況は以下のとおりである。

### ■年度別 重複受診者数・頻回受診者数・重複服薬者数

|          | 重複受診者数 | 頻回受診者数 | 重複服薬者数 |
|----------|--------|--------|--------|
| 平成 29 年度 | 83 人   | 134 人  | 184 人  |
| 平成 30 年度 | 89 人   | 143 人  | 266 人  |
| 令和元年度    | 76 人   | 127 人  | 241 人  |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPC を含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月診療分（36 か月分）。

資格確認日 … 各年度末時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 重複受診者数 … 1 か月間で同系の疾病を理由に 3 医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

※ 頻回受診者数 … 1 か月間で 12 回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

※ 重複服薬者数 … 1 か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が 60 日を超える患者を対象とする。



1 か月間に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、1 か月間に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、1 か月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成31年4月～令和2年3月診療分（12 か月分）のレセプトデータを用いて分析した。

### ■ 重複受診者数

|                 | 平成31年<br>4月 | 令和1年<br>5月 | 令和1年<br>6月 | 令和1年<br>7月 | 令和1年<br>8月 | 令和1年<br>9月 | 令和1年<br>10月 | 令和1年<br>11月 | 令和1年<br>12月 | 令和2年<br>1月 | 令和2年<br>2月 | 令和2年<br>3月 |
|-----------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 重複受診者数 ※<br>(人) | 10          | 10         | 11         | 7          | 5          | 7          | 11          | 9           | 10          | 9          | 10         | 11         |
| 12 か月間の延べ人数     |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 110 人      |            |
| 12 か月間の実人数      |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 76 人       |            |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12 か月分）。

資格確認日 … 令和2年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病ごとに点数をグルーピングし算出。

※ 重複受診者数 … 1 か月間で同系の疾病を理由に3 医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### ■ 頻回受診者数

|                 | 平成31年<br>4月 | 令和1年<br>5月 | 令和1年<br>6月 | 令和1年<br>7月 | 令和1年<br>8月 | 令和1年<br>9月 | 令和1年<br>10月 | 令和1年<br>11月 | 令和1年<br>12月 | 令和2年<br>1月 | 令和2年<br>2月 | 令和2年<br>3月 |
|-----------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 頻回受診者数 ※<br>(人) | 36          | 29         | 38         | 42         | 31         | 27         | 37          | 36          | 37          | 37         | 27         | 36         |
| 12 か月間の延べ人数     |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 413 人      |            |
| 12 か月間の実人数      |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 127 人      |            |

データ化範囲（分析対象） … 入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12 か月分）。

資格確認日 … 令和2年3月31日時点。

※ 頻回受診者数 … 1 か月間で12 回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### ■ 重複服薬者数

|                 | 平成31年<br>4月 | 令和1年<br>5月 | 令和1年<br>6月 | 令和1年<br>7月 | 令和1年<br>8月 | 令和1年<br>9月 | 令和1年<br>10月 | 令和1年<br>11月 | 令和1年<br>12月 | 令和2年<br>1月 | 令和2年<br>2月 | 令和2年<br>3月 |
|-----------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 重複服薬者数 ※<br>(人) | 47          | 42         | 43         | 37         | 53         | 41         | 31          | 44          | 44          | 36         | 47         | 50         |
| 12 か月間の延べ人数     |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 515 人      |            |
| 12 か月間の実人数      |             |            |            |            |            |            |             |             |             |            | 241 人      |            |

データ化範囲（分析対象） … 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分（12 か月分）。

資格確認日 … 令和2年3月31日時点。

※ 重複服薬者数 … 1 か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60 日を超える患者を対象とする。

## (7) 後発医薬品普及率に係る分析

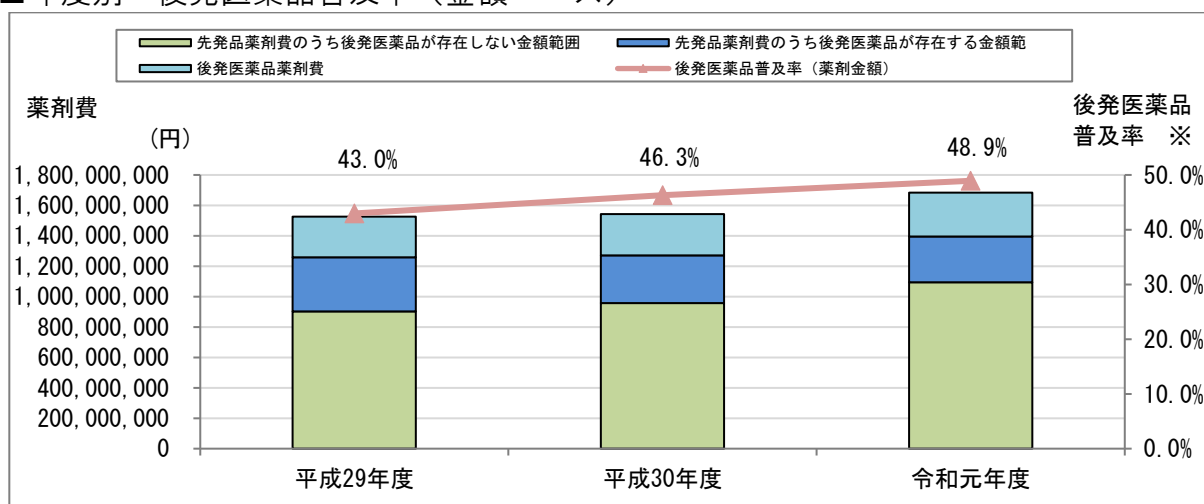
先発医薬品から後発医薬品への切り替えを患者に促し、薬剤費の削減を図る。

後発医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。第2期大田原市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）では、後発医薬品の使用割合について令和5年度目標値を80.0%と設定している。

平成29年度から令和元年度における、後発医薬品普及率（金額ベース・数量ベース）を年度別に示す。

令和元年度後発医薬品普及率（金額ベース）48.9%は、平成29年度43.0%より5.9ポイント上昇しており、令和元年度後発医薬品普及率（数量ベース）75.2%は、平成29年度67.2%より8.0ポイント上昇している。

### ■年度別 後発医薬品普及率（金額ベース）



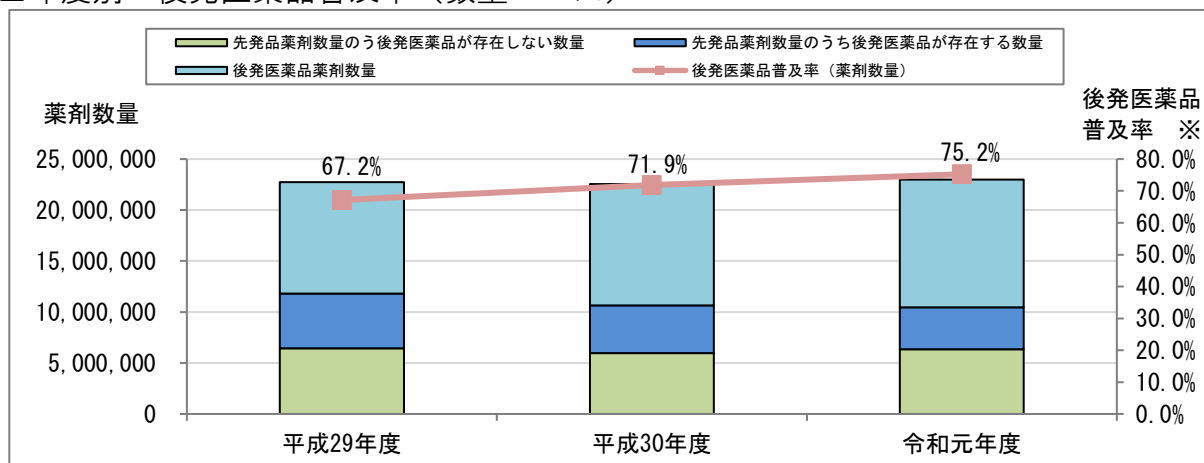
データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分（36か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

※ 後発医薬品普及率… 後発医薬品薬剤費 / (後発医薬品薬剤費 + 先発品薬剤費のうち後発医薬品が存在する金額範囲)

### ■年度別 後発医薬品普及率（数量ベース）



データ化範囲（分析対象）… 入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

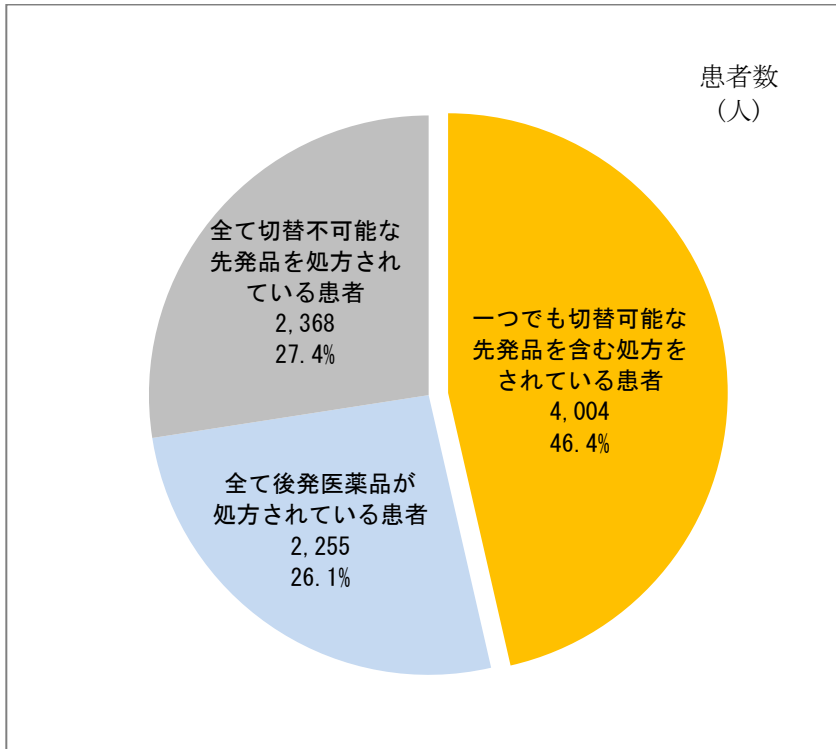
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分（36か月分）。

資格確認日… 1日でも資格があれば分析対象としている。

※ 後発医薬品普及率… 後発医薬品薬剤数量 / (後発医薬品薬剤数量 + 先発品薬剤数量のうち後発医薬品が存在する数量)

次に、令和2年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。  
 患者数は8,627人（入院レセプトのみの患者は除く）で、このうち一つでも後発医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は4,004人で患者数全体の46.4%を占める。

■後発医薬品への切り替えポテンシャル（患者数ベース）



データ化範囲（分析対象） … 入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は令和2年3月診療分（1か月分）。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ 通知対象薬剤を含む処方をされている患者 … データ分析会社通知対象薬剤基準による（後発医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない）。

※ 構成比 … 小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## (8) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下のとおりである。

複数医療機関から内服薬が長期（14日以上）処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の対象者は854人である。

また、21種類以上が処方されている多剤服薬者が2人おり、重複服薬の可能性が考えられる。

### ■薬剤種類数別対象者数

| 年齢階層  | 対象者数（人） |         |         |         |         |         |         |       |        |       |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|-------|
|       | ～39歳    | 40歳～44歳 | 45歳～49歳 | 50歳～54歳 | 55歳～59歳 | 60歳～64歳 | 65歳～69歳 | 70歳～  | 合計     |       |
| 被保険者数 | 3,912   | 921     | 1,024   | 934     | 1,157   | 2,310   | 4,273   | 5,355 | 19,886 |       |
| 薬剤種類数 | 2種類     | 17      | 7       | 8       | 6       | 7       | 18      | 43    | 43     | 149   |
|       | 3種類     | 18      | 9       | 6       | 7       | 13      | 35      | 78    | 80     | 246   |
|       | 4種類     | 14      | 9       | 4       | 12      | 9       | 29      | 98    | 116    | 291   |
|       | 5種類     | 18      | 10      | 9       | 6       | 12      | 35      | 92    | 95     | 277   |
|       | 6種類     | 8       | 7       | 6       | 5       | 13      | 19      | 70    | 96     | 224   |
|       | 7種類     | 6       | 2       | 4       | 3       | 9       | 20      | 54    | 75     | 173   |
|       | 8種類     | 7       | 5       | 3       | 8       | 10      | 24      | 36    | 53     | 146   |
|       | 9種類     | 4       | 2       | 5       | 2       | 4       | 10      | 20    | 39     | 86    |
|       | 10種類    | 2       | 2       | 1       | 4       | 4       | 8       | 24    | 26     | 71    |
|       | 11種類    | 2       | 3       | 2       | 1       | 4       | 11      | 8     | 26     | 57    |
|       | 12種類    | 3       | 3       | 1       | 1       | 0       | 4       | 7     | 6      | 25    |
|       | 13種類    | 2       | 1       | 1       | 0       | 3       | 0       | 3     | 6      | 16    |
|       | 14種類    | 3       | 0       | 0       | 0       | 0       | 2       | 8     | 8      | 21    |
|       | 15種類    | 0       | 1       | 1       | 0       | 1       | 2       | 2     | 5      | 12    |
|       | 16種類    | 1       | 2       | 1       | 0       | 1       | 3       | 1     | 3      | 12    |
|       | 17種類    | 1       | 1       | 0       | 0       | 0       | 1       | 1     | 0      | 4     |
|       | 18種類    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 1     | 0      | 1     |
|       | 19種類    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     | 0      | 0     |
|       | 20種類    | 0       | 0       | 1       | 1       | 0       | 0       | 1     | 1      | 4     |
|       | 21種類以上  | 0       | 0       | 0       | 0       | 1       | 1       | 0     | 0      | 2     |
|       | 合計      | 106     | 64      | 53      | 56      | 91      | 222     | 547   | 678    | 1,817 |



|            |      |
|------------|------|
| 長期多剤服薬者数 ※ | 854人 |
|------------|------|

データ化範囲（分析対象） … 入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分（4か月分）。

長期（14日以上）処方されている内服薬を集計対象とする。

※ 長期多剤服薬者数 … 複数医療機関から内服薬が長期（14日以上）処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

また、長期多剤服薬者 854 人が被保険者全体に占める割合は 4.3%、長期服薬者全体に占める割合は 47.0%で、長期服薬者の半数近くが多剤服薬者に該当している。

かかりつけ薬局やお薬手帳の推進など、医療機関や薬局との連携による対策が必要と考える。

■長期多剤服薬者の状況

|     |                         | ～39 歳 | 40 歳<br>～44 歳 | 45 歳<br>～49 歳 | 50 歳<br>～54 歳 | 55 歳<br>～59 歳 | 60 歳<br>～64 歳 | 65 歳<br>～69 歳 | 70 歳～ | 合計     |
|-----|-------------------------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|--------|
| A   | 被保険者数<br>(人)            | 3,912 | 921           | 1,024         | 934           | 1,157         | 2,310         | 4,273         | 5,355 | 19,886 |
| B   | 長期服薬者数 ※<br>(人)         | 106   | 64            | 53            | 56            | 91            | 222           | 547           | 678   | 1,817  |
| C   | 長期多剤服薬者数 ※<br>(人)       | 39    | 29            | 26            | 25            | 50            | 105           | 236           | 344   | 854    |
| C/A | 被保険者数に占める<br>長期多剤服薬者割合  | 1.0%  | 3.1%          | 2.5%          | 2.7%          | 4.3%          | 4.5%          | 5.5%          | 6.4%  | 4.3%   |
| C/B | 長期服薬者数に占める<br>長期多剤服薬者割合 | 36.8% | 45.3%         | 49.1%         | 44.6%         | 54.9%         | 47.3%         | 43.1%         | 50.7% | 47.0%  |

データ化範囲（分析対象） … 入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和 1 年 12 月～令和 2 年 3 月診療分（4 か月分）。

長期（14 日以上）処方されている内服薬を集計対象とする。

※ 長期服薬者数 … 複数医療機関から内服薬が長期（14 日以上）処方されている人数。

※ 長期多剤服薬者数 … 複数医療機関から内服薬が長期（14 日以上）処方されており、その長期処方の内服薬が 6 種類以上の人数。

## 第3章 中間評価のまとめ

### 1. 分析結果から見た課題と対策

第2期データヘルス計画における保健事業の方向性として、糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患における共通のリスクを改善するため、重症化予防の取組とポピュレーションアプローチを組み合わせることで実施することとし、その取組を推進してきた。

分析結果から把握された課題は、各取組について以下のとおりであった。

課題に対応する保健事業については、過去の取組の考察を踏まえ、継続して実施していく。

#### (1) 重症化予防の取組

##### ① 糖尿病性腎症重症化予防

医療費において、糖尿病は常に上位にあり患者数割合及び金額ベースにおいても増加している。特に生活習慣病の医療費では令和元年度に高血圧性疾患を抜いて1位となっている。

健診の有所見者割合においても、HbA1cの値は受診者の56.5%が有所見となり最も多くなっている。また、特定保健指導の積極的支援の該当者においては血糖と血圧の重なりが最も多く、指導による発症予防が求められる。

また、腎不全は医療費、高額レセプト発生患者の疾病傾向においても上位となり、患者一人当たりの医療費が最も高い疾病であるが、人工透析患者の生活習慣病を起因とする患者のうち61.2%は糖尿病性腎症（Ⅱ型糖尿病）が起因となっている。さらに新規導入者においても透析に至った起因の75%が糖尿病性腎症（Ⅱ型糖尿病）であったことから、対策の強化が必要となっている。

##### ② 虚血性心疾患重症化予防

虚血性心疾患重症化予防対策として取り組んできた脂質異常症に係る医療費は減少しているが、高額レセプト発生患者の疾病傾向における患者数において虚血性心疾患は上位であり、引き続き対策が重要となっている。

また、健診結果における脂質異常は糖代謝異常に次いで多く、LDLコレステロールについては、2人に1人の有所見状況となっている。

虚血性心疾患発症のリスク因子であるメタボリックシンドロームの該当者数は20%程度で推移しており、予備群を合わせると約3人に1人が該当している。また、男性では腹囲の有所見者が50%を超えており、内臓脂肪及び脂質異常と虚血性心疾患に関する課題について、引き続き対策が必要である。

### ③ 脳血管疾患重症化予防

生活習慣病治療者の大血管障害の減少及び脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下を目標としてきた。脳血管疾患の原因となる高血圧性疾患は疾病別医療費における患者数では常に1位となっており、患者数全体の4割を占め年々割合が増加しているが、その費用は年々減少している。

健診結果において血圧値で特定保健指導の該当者となるものは多く、リスクの重なりにおいても血圧と他項目との重なりが多い状況にある。

また、介護認定者の疾病別有病率においても高血圧症は2位と上位にあり、介護認定の原因となる脳血管疾患予防としても引き続き取組が必要である。

## (2) ポピュレーションアプローチ

ポピュレーションアプローチとしては、様々な機会を通して生活習慣病の重症化により医療費や介護費用等の実態を広く周知することとして取り組んできた。自治会長や保健委員、地区組織において健康課題等の情報を提供し、市と協働で健康づくりを推進するために理解を深めている。

また、国民健康保険では保険者努力支援制度として、保険者における医療費の適正化に向けた取組等に対する支援が平成30年度から本格実施となり、がんを含む生活習慣病を中心とした疾病の予防及び合併症予防、介護予防、後発医薬品の使用や適切な受療行動をとることを目指し、健診等の受診率向上に取り組みつ、個人の取組を促すインセンティブのある仕組みの構築が評価されている。

がん対策においては、死因割合が年々増加し、医療費の有病率・一人当たりの医療費・1件当たりの医療費のいずれにおいても増加の状況にあり、高額レセプト発生患者の疾病傾向においても上位となっている。しかし、がん検診の受診率は減少しており、早期発見・早期治療に向け、受診率の向上に向けた取組が喫緊の課題である。

生活習慣病の発症及び重症化予防に関連する喫煙対策、歯科保健事業については、啓発や保健指導を実施しているが、特定健診の質問票回答の結果からは引き続き生活習慣の改善につながる支援について強化する必要がある。

後発医薬品の使用促進の点においては、普及率が増加していることから一定の効果が見られており、適切な受療行動と併せ継続して推進することが求められる。

今後の保険者努力支援制度の評価項目等の設定等について注視し、ライフステージに応じて関係課と連携を図り、市民との協働により対策を継続していく。

## 2. 見直し後の新たな目標と指標

糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患を減らし、健康格差を減少するため、以下の目標を掲げる。

|             | 課題を解決するための指標                        | 現状    | 目標値 | 出典   |
|-------------|-------------------------------------|-------|-----|------|
|             |                                     | R1    | R5  |      |
| 特定保健指導・特定健診 | 特定健診受診率                             | 51.0% | 60% | 法定報告 |
|             | 40～50歳代男性の特定健診受診率                   | 32.5% | 40% | 法定報告 |
|             | 特定保健指導実施率                           | 37.7% | 60% | 法定報告 |
| 短期目標        | メタボ該当・予備群の割合                        | 32.9% | 減少  | KDB  |
|             | 健診受診者の高血圧者の割合<br>(160/100以上)        | 5.6%  | 減少  |      |
|             | 健診受診者の脂質異常者の割合<br>(LDL140以上)        | 22.6% | 減少  |      |
|             | 健診受診者の糖尿病者の割合<br>(HbA1c 6.5%以上)     | 10.2% | 減少  |      |
|             | 糖尿病未治療者を治療に結び付ける割合<br>(HbA1c 7%)    | 38.6% | 増加  |      |
|             | 糖尿病の保健指導を実施した割合                     | 91.8% | 97% |      |
| 中長期目標       | 高額になる疾患(100万円以上レセプト)における脳血管疾患の費用額割合 | 4.3%  | 減少  |      |
|             | 高額になる疾患(200万円以上レセプト)における虚血性心疾患の件数   | 5件    | 減少  |      |
|             | 人工透析新規導入人数 ※1                       | 16人   | 減少  |      |
| 保険者努力支援制度   | 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの平均受診率 ※2     | 27.4% | 増加  |      |
|             | 歯科健診受診率 ※3                          | 5.59% | 増加  |      |
|             | 後発医薬品の使用割合                          | 75.2% | 80% |      |

※1 株式会社データホライズン算出による。

※2 令和3年度保険者努力支援制度(市町村分)共通指標②(1)より平成30年度実績値とする。

使用した受診率は、平成30年度地域保健・健康増進事業報告の概況により公表されている数値を使用。

平均受診率 = (胃がん検診の受診率 + 肺がん検診の受診率 + 大腸がん検診の受診率 + 子宮頸がん検診の受診率 + 乳がん検診の受診率) / 5

※3 保険者努力支援制度において、対象者を国民健康保険被保険者に限定していないため本市受診者総数から算出。



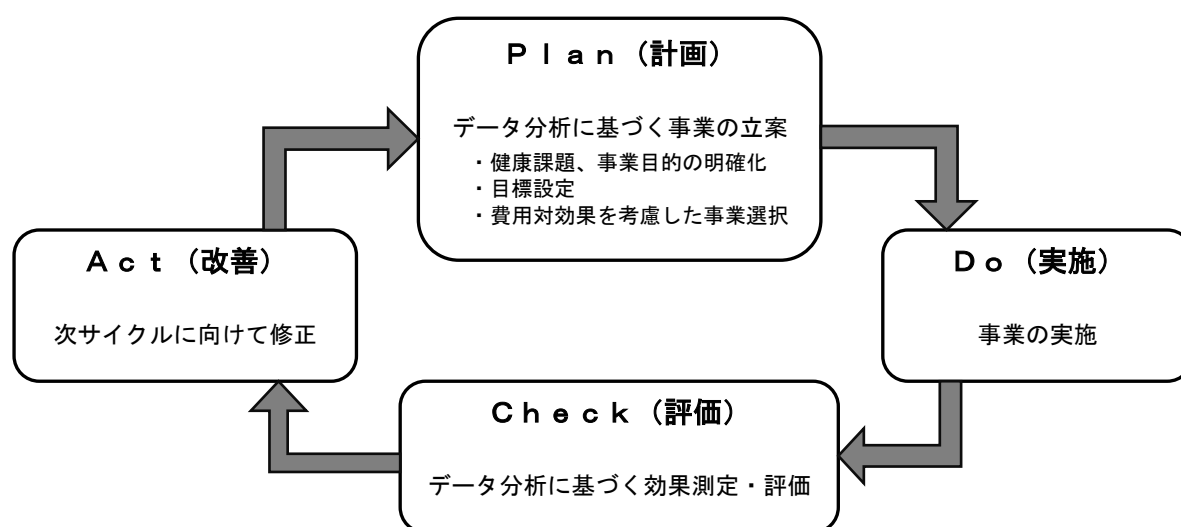
## 第4章 その他

### 1. データヘルス計画の評価・見直し

#### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。

評価・見直しに当たっては、栃木県国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

#### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。また、計画の最終年度の令和5年度においては、次期計画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を行うこととする。

### 2. 中間評価結果の公表・周知

本中間評価では、評価・見直しにより生じた目標の再設定等について、広報紙、ホームページ等で公表する。

なお、公表に当たっては、被保険者、保健医療関係者の理解を促進するため、概要版を作成する等工夫を凝らし周知・啓発を図る。

### **3. 個人情報の取扱い**

---

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

### **4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項**

---

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 参考資料

## 1. 疾病分類表（2013年版）

| コード                       | 疾病分類                     | 主な疾病           |            |                  |
|---------------------------|--------------------------|----------------|------------|------------------|
| I. 感染症及び寄生虫症              |                          |                |            |                  |
| 0101                      | 腸管感染症                    | 下痢症            | 急性胃腸炎      | 感染性胃腸炎           |
| 0102                      | 結核                       | 肺結核            | 結核性胸膜炎     | 潜在性結核感染症         |
| 0103                      | 主として性的伝播様式をとる感染症         | 梅毒             | クラミジア頸管炎   | 淋病               |
| 0104                      | 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患      | 尋常性疣贅          | 帯状疱疹       | 単純ヘルペス           |
| 0105                      | ウイルス性肝炎                  | B型肝炎           | C型肝炎       | C型慢性肝炎           |
| 0106                      | その他のウイルス性疾患              | アデノウイルス感染症     | 流行性角結膜炎    | RSウイルス感染症        |
| 0107                      | 真菌症                      | 足白癬            | 皮膚カンジダ症    | 爪白癬              |
| 0108                      | 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症         | 陳旧性肺結核         | 肺結核後遺症     | 小児麻痺後遺症          |
| 0109                      | その他の感染症及び寄生虫症            | ヘリコバクター・ピロリ感染症 | 溶連菌感染症     | 敗血症              |
| II. 新生物<腫瘍>               |                          |                |            |                  |
| 0201                      | 胃の悪性新生物<腫瘍>              | 胃癌             | 早期胃癌       | 胃体部癌             |
| 0202                      | 結腸の悪性新生物<腫瘍>             | 大腸癌            | S状結腸癌      | 上行結腸癌            |
| 0203                      | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>  | 直腸癌            | 直腸S状部結腸癌   | 直腸癌術後再発          |
| 0204                      | 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>        | 肝癌             | 肝細胞癌       | 原発性肝癌            |
| 0205                      | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>      | 肺癌             | 上葉肺癌       | 下葉肺癌             |
| 0206                      | 乳房の悪性新生物<腫瘍>             | 乳癌             | 乳房上外側部乳癌   | 乳癌再発             |
| 0207                      | 子宮の悪性新生物<腫瘍>             | 子宮体癌           | 子宮頸癌       | 子宮癌              |
| 0208                      | 悪性リンパ腫                   | 悪性リンパ腫         | 非ホジキンリンパ腫  | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 |
| 0209                      | 白血病                      | 成人T細胞白血病リンパ腫   | 白血病        | 慢性骨髄性白血病         |
| 0210                      | その他の悪性新生物<腫瘍>            | 前立腺癌           | 睪癌         | 膀胱癌              |
| 0211                      | 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>   | 子宮筋腫           | 脳腫瘍        | 肺腫瘍              |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 |                          |                |            |                  |
| 0301                      | 貧血                       | 鉄欠乏性貧血         | 貧血         | 巨赤芽球性貧血          |
| 0302                      | その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 播種性血管内凝固       | 血液凝固異常     | 血小板減少症           |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患          |                          |                |            |                  |
| 0401                      | 甲状腺障害                    | 甲状腺機能低下症       | 甲状腺機能亢進症   | 甲状腺腫             |
| 0402                      | 糖尿病                      | 糖尿病            | 2型糖尿病      | 糖尿病網膜症           |
| 0403                      | 脂質異常症                    | 高脂血症           | 高コレステロール血症 | 脂質異常症            |
| 0404                      | その他の内分泌、栄養及び代謝疾患         | 脱水症            | 高尿酸血症      | 卵巣機能不全           |
| V. 精神及び行動の障害              |                          |                |            |                  |
| 0501                      | 血管性及び詳細不明の認知症            | 認知症            | 血管性認知症     | 老年精神病            |
| 0502                      | 精神作用物質使用による精神及び行動の障害     | ニコチン依存症        | アルコール依存症   | 急性アルコール中毒        |
| 0503                      | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害    | 統合失調症          | 統合失調症様状態   | 幻覚妄想状態           |
| 0504                      | 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）        | うつ病            | うつ状態       | 躁うつ病             |
| 0505                      | 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 不安神経症          | 神経症        | 心身症              |
| 0506                      | 知的障害<精神遅滞>               | 知的障害           | 軽度知的障害     | 重度知的障害           |
| 0507                      | その他の精神及び行動の障害            | 摂食障害           | 器質性精神障害    | せん妄              |

| コード              | 疾病分類             | 主な疾病        |             |               |
|------------------|------------------|-------------|-------------|---------------|
| VI. 神経系の疾患       |                  |             |             |               |
| 0601             | パーキンソン病          | パーキンソン症候群   | パーキンソン病     | パーキンソン病Yahr3  |
| 0602             | アルツハイマー病         | アルツハイマー型認知症 | アルツハイマー病    | アルツハイマー型老年認知症 |
| 0603             | てんかん             | てんかん        | 症候性てんかん     | 精神運動発作        |
| 0604             | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 片麻痺         | 脳性麻痺        | 不全麻痺          |
| 0605             | 自律神経系の障害         | 自律神経失調症     | 神経調節性失神     | 自律神経障害        |
| 0606             | その他の神経系の疾患       | 不眠症         | 片頭痛         | 睡眠時無呼吸症候群     |
| VII. 眼及び付属器の疾患   |                  |             |             |               |
| 0701             | 結膜炎              | アレルギー性結膜炎   | 結膜炎         | 慢性結膜炎         |
| 0702             | 白内障              | 白内障         | 加齢性白内障      | 後発白内障         |
| 0703             | 屈折及び調節の障害        | 近視性乱視       | 遠視性乱視       | 老視            |
| 0704             | その他の眼及び付属器の疾患    | ドライアイ       | 緑内障         | 眼精疲労          |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患 |                  |             |             |               |
| 0801             | 外耳炎              | 外耳炎         | 外耳湿疹        | 急性外耳炎         |
| 0802             | その他の外耳疾患         | 耳垢栓塞        | 耳介軟骨膜炎      | 耳瘻孔           |
| 0803             | 中耳炎              | 滲出性中耳炎      | 急性中耳炎       | 中耳炎           |
| 0804             | その他の中耳及び乳様突起の疾患  | 耳管狭窄症       | 耳管機能低下      | 真珠腫性中耳炎       |
| 0805             | メニエール病           | メニエール病      | メニエール症候群    | 内耳性めまい        |
| 0806             | その他の内耳疾患         | 良性発作性頭位めまい症 | 末梢性めまい症     | 耳性めまい         |
| 0807             | その他の耳疾患          | 感音難聴        | 難聴          | 耳鳴症           |
| IX. 循環器系の疾患      |                  |             |             |               |
| 0901             | 高血圧性疾患           | 高血圧症        | 本態性高血圧症     | 高血圧性心疾患       |
| 0902             | 虚血性心疾患           | 狭心症         | 急性心筋梗塞      | 心筋梗塞          |
| 0903             | その他の心疾患          | 心不全         | 不整脈         | 慢性心不全         |
| 0904             | くも膜下出血           | くも膜下出血      | くも膜下出血後遺症   | 脳動脈瘤破裂        |
| 0905             | 脳内出血             | 脳出血         | 脳出血後遺症      | 視床出血          |
| 0906             | 脳梗塞              | 脳梗塞         | 脳梗塞後遺症      | 多発性脳梗塞        |
| 0907             | 脳動脈硬化（症）         | 脳動脈硬化症      | 動脈硬化性脳症     |               |
| 0908             | その他の脳血管疾患        | 内頸動脈狭窄症     | 頸動脈硬化症      | 脳血管障害         |
| 0909             | 動脈硬化（症）          | 閉塞性動脈硬化症    | 動脈硬化症       | 動脈硬化性網膜症      |
| 0911             | 低血圧（症）           | 起立性低血圧症     | 低血圧症        | 起立性調節障害       |
| 0912             | その他の循環器系の疾患      | 深部静脈血栓症     | 末梢循環障害      | 慢性動脈閉塞症       |
| X. 呼吸器系の疾患       |                  |             |             |               |
| 1001             | 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> | 感冒          | 急性鼻炎        | 急性鼻咽頭炎        |
| 1002             | 急性咽頭炎及び急性扁桃炎     | 咽頭炎         | 急性咽頭炎       | 扁桃炎           |
| 1003             | その他の急性上気道感染症     | 急性上気道炎      | 急性咽頭喉頭炎     | 急性副鼻腔炎        |
| 1004             | 肺炎               | 肺炎          | 急性肺炎        | マイコプラズマ肺炎     |
| 1005             | 急性気管支炎及び急性細気管支炎  | 急性気管支炎      | マイコプラズマ気管支炎 | クループ性気管支炎     |

| コード                   | 疾病分類               | 主な疾病      |           |             |
|-----------------------|--------------------|-----------|-----------|-------------|
| 1006                  | アレルギー性鼻炎           | アレルギー性鼻炎  | 花粉症       | 季節性アレルギー性鼻炎 |
| 1007                  | 慢性副鼻腔炎             | 慢性副鼻腔炎    | 副鼻腔炎      | 慢性副鼻腔炎急性増悪  |
| 1008                  | 急性又は慢性と明示されない気管支炎  | 気管支炎      | 気管気管支炎    | びまん性気管支炎    |
| 1009                  | 慢性閉塞性肺疾患           | 慢性気管支炎    | 肺気腫       | 慢性閉塞性肺疾患    |
| 1010                  | 喘息                 | 気管支喘息     | 喘息性気管支炎   | 気管支喘息発作     |
| 1011                  | その他の呼吸器系の疾患        | インフルエンザ   | 呼吸不全      | 誤嚥性肺炎       |
| X I . 消化器系の疾患         |                    |           |           |             |
| 1101                  | う蝕                 | う蝕        | 二次う蝕      | う蝕第2度       |
| 1102                  | 歯肉炎及び歯周疾患          | 歯周炎       | 歯肉炎       | 歯冠周囲炎       |
| 1103                  | その他の歯及び歯の支持組織の障害   | 顎関節症      | 歯痛        | 顎関節炎        |
| 1104                  | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍        | 胃潰瘍       | 十二指腸潰瘍    | 出血性胃潰瘍      |
| 1105                  | 胃炎及び十二指腸炎          | 慢性胃炎      | 胃炎        | 急性胃炎        |
| 1106                  | 痔核                 | 内痔核       | 痔核        | 外痔核         |
| 1107                  | アルコール性肝疾患          | アルコール性肝障害 | アルコール性肝炎  | アルコール性肝硬変   |
| 1108                  | 慢性肝炎（アルコール性のものを除く） | 慢性肝炎      | 活動性慢性肝炎   | 慢性肝炎増悪      |
| 1109                  | 肝硬変（アルコール性のものを除く）  | 肝硬変症      | 原発性胆汁性肝硬変 | 非代償性肝硬変     |
| 1110                  | その他の肝疾患            | 肝機能障害     | 脂肪肝       | 肝障害         |
| 1111                  | 胆石症及び胆のう炎          | 胆のう結石症    | 胆のう炎      | 総胆管結石       |
| 1112                  | 膵疾患                | 膵炎        | 急性膵炎      | 慢性膵炎        |
| 1113                  | その他の消化器系の疾患        | 便秘症       | 逆流性食道炎    | 口内炎         |
| X II . 皮膚及び皮下組織の疾患    |                    |           |           |             |
| 1201                  | 皮膚及び皮下組織の感染症       | 皮膚感染症     | 蜂窩織炎      | 膿痂疹性湿疹      |
| 1202                  | 皮膚炎及び湿疹            | 湿疹        | 皮膚炎       | アトピー性皮膚炎    |
| 1203                  | その他の皮膚及び皮下組織の疾患    | 皮脂欠乏症     | 皮脂欠乏性湿疹   | じんま疹        |
| X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患 |                    |           |           |             |
| 1301                  | 炎症性多発性関節障害         | 関節リウマチ    | 痛風        | 関節炎         |
| 1302                  | 関節症                | 変形性膝関節症   | 変形性関節症    | 変形性股関節症     |
| 1303                  | 脊椎障害（脊椎症を含む）       | 腰部脊柱管狭窄症  | 変形性腰椎症    | 頸椎症         |
| 1304                  | 椎間板障害              | 腰椎椎間板症    | 腰椎椎間板ヘルニア | 頸椎椎間板ヘルニア   |
| 1305                  | 頸腕症候群              | 頸肩腕症候群    | 頸肩腕障害     |             |
| 1306                  | 腰痛症及び坐骨神経痛         | 腰痛症       | 坐骨神経痛     | 筋筋膜性腰痛症     |
| 1307                  | その他の脊柱障害           | 腰椎すべり症    | 背部痛       | 頸部痛         |
| 1308                  | 肩の傷害＜損傷＞           | 肩関節周囲炎    | 肩関節腱板炎    | 肩石灰性腱炎      |
| 1309                  | 骨の密度及び構造の障害        | 骨粗鬆症      | 閉経後骨粗鬆症   | 脊椎骨粗鬆症      |
| 1310                  | その他の筋骨格系及び結合組織の疾患  | 筋肉痛       | 神経痛       | 関節痛         |
| X IV . 腎尿路生殖器系の疾患     |                    |           |           |             |
| 1401                  | 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患   | 腎炎        | 腎盂腎炎      | 水腎症         |
| 1402                  | 腎不全                | 慢性腎不全     | 腎性貧血      | 腎不全         |

| コード                                      | 疾病分類                                | 主な疾病                 |              |            |
|--|-------------------------------------|----------------------|--------------|------------|
| 1403                                     | 尿路結石症                               | 腎結石症                 | 尿管結石症        | 尿路結石症      |
| 1404                                     | その他の腎尿路系の疾患                         | 膀胱炎                  | 腎機能低下        | 尿路感染症      |
| 1405                                     | 前立腺肥大（症）                            | 前立腺肥大症               | 前立腺症         |            |
| 1406                                     | その他の男性生殖器の疾患                        | 慢性前立腺炎               | 前立腺炎         | 亀頭包皮炎      |
| 1407                                     | 月経障害及び閉経周辺期障害                       | 更年期症候群               | 月経困難症        | 萎縮性膣炎      |
| 1408                                     | 乳房及びその他の女性生殖器の疾患                    | 子宮腔部びらん              | 細菌性膣炎        | 膣炎         |
| X V. 妊娠, 分娩及び産じょく                        |                                     |                      |              |            |
| 1501                                     | 流産                                  | 稽留流産                 | 異所性妊娠        | 絨毛性疾患      |
| 1502                                     | 妊娠高血圧症候群                            | 妊娠高血圧症候群             | 重症妊娠高血圧症候群   | 子癇         |
| 1503                                     | 単胎自然分娩                              | 自然頭位分娩               | 自然分娩         | 単胎自然分娩     |
| 1504                                     | その他の妊娠, 分娩及び産じょく                    | 切迫流産                 | 子宮内感染症       | 血液型不適合     |
| X VI. 周産期に発生した病態                         |                                     |                      |              |            |
| 1601                                     | 妊娠及び胎児発育に関連する障害                     | 子宮内胎児発育遅延            | 低出生体重児       | 早産児        |
| 1602                                     | その他の周産期に発生した病態                      | 新生児黄疸                | 胎児ジストレス      | A B O因子不適合 |
| X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常                   |                                     |                      |              |            |
| 1701                                     | 心臓の先天奇形                             | 心房中隔欠損症              | 心室中隔欠損症      | 先天性心疾患     |
| 1702                                     | その他の先天奇形, 変形及び染色体異常                 | 足底角化症                | 角皮症          | 毛孔性苔癬      |
| X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |                                     |                      |              |            |
| 1800                                     | 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの    | 頭痛                   | 嘔吐症          | めまい症       |
| X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響                  |                                     |                      |              |            |
| 1901                                     | 骨折                                  | 腰椎圧迫骨折               | 肋骨骨折         | 大腿骨頸部骨折    |
| 1902                                     | 頭蓋内損傷及び内臓の損傷                        | 脳挫傷                  | 外傷性脳出血       | 硬膜下血腫      |
| 1903                                     | 熱傷及び腐食                              | 熱傷                   | 第2度熱傷        | 手熱傷        |
| 1904                                     | 中毒                                  | 刺虫症                  | 蜂刺症          | 食中毒        |
| 1905                                     | その他の損傷及びその他の外因の影響                   | 打撲傷                  | 結膜異物         | 捻挫         |
| X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用          |                                     |                      |              |            |
| 2101                                     | 検査及び診査のための保健サービスの利用者                | 検診                   | 健康診断         | 胃癌検診       |
| 2102                                     | 予防接種                                | 予防接種                 |              |            |
| 2103                                     | 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画                | 妊娠                   | 正常妊娠         | 多産婦        |
| 2104                                     | 歯の補てつ                               |                      |              |            |
| 2105                                     | 特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者 | 抜釘                   | 気管切開口に対する手当て | 骨髄移植ドナー    |
| 2106                                     | その他の理由による保健サービスの利用者                 | 白内障術後                | ペースメーカ植え込み後  | 人工股関節置換術後  |
| X X II. 特殊目的用コード                         |                                     |                      |              |            |
| 2210                                     | 重症急性呼吸器症候群 [SARS]                   | 重症急性呼吸器症候群           |              |            |
| 2220                                     | その他の特殊目的用コード                        |                      |              |            |
| 分類外                                      |                                     |                      |              |            |
| 9999                                     | 分類外                                 | ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病 |              |            |

## 2. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。(特許第 4312757 号、第 5203481 号、第 5992234 号、第 6409113 号)